

臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄(速記)第十四回

付託議案

臨時租稅增徵法中改正法律案（政府提出）

相所得稅法中改正法律案（政府提出）

登錄稅法中改正法律案（政府提出）

酒造稅法中改正法律案（政府提出）

酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案（政府提出）

麥稅法中改正法律案（政府提出）

大正九年法律第十二號中改正法律案（政府提出）

支那事變特別稅法案（政府提出）

支那事變特別稅法案（政府提出）

臨時利得稅法中改正法律案（政府提出）

臨時租稅措置法案（政府提出）

日滿國稅徵收事務共助法案（政府提出）

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案（支那事變二關スル臨時軍費支辨ノ爲公債發行ニ關スル）

東京府提出

樺太廳、朝鮮總督府、臺灣總督府及各駐別會計ニ於ケル租稅

時軍事費特別會計ニ繰入ルコト

三十三年度一般會計歲出ノ財源

關スル法律案（政府提出）

昭和十二年一般會計歲出ノ財源

充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案（政府提出）

○高橋委員長 開會致シマス——水谷長三郎君

○水谷委員 大臣ガ他日御出デニナリマシタ時ニ明ニシテ置イテ貴ヒタイ點ハ、私ハニカッタノデスガ、其後東京日日新聞ノ記事ニ依リマスト、大藏大臣ハ、今年中ハ公債消化ニ對シテ強制方法ヲ採ラナイト云フコトヲ言ツテ居ラレル、速記ニハドウナッテ居ルカ知リマセヌガ、其點ガ果シテサウカドウカラ、今度ノ機會ニ一ツハッキリサセテ貰ヒタイ、是ハ大キナ問題デスカラ、ソレヲ先ヅ先ニ申シテ置キマス

大矢サンニ御尋致シタイ第一點ハ、此度ノ稅制ニ於キマシテ一部ノ人々カラ非常ニ非難サレマシタノハ、金融資本ニ對シテ產業資本ノ重課ガ非常ニ多ク、不公平デアルト云フ點デアリマシタ、其點ニ關シマシテ賀屋サンハ、自分ノ考デハサウデハナイ、結城稅制ノ時ニモサウ云フ議論ガアッタガ、事實ハ却テ裏切ッテ居ルト云フヤウナ御答辯ガアッタヤウニ聞イテ居リマスガ、私ハ結城稅制ノ時モ増稅委員ノ末席ヲ汚シテ居タノデアリマスガ、其時モ是ハ議論ノ中心ニナッタノデアリマス、所ガ三菱經濟研究所ノ「本邦事業成績分析」ニ依リマスト、本邦會議

零碎ナル財源ヲ漁ル前ニ、產業資金ニ重課マス、試ニ數字ヲ以テ示シマスト、昭和十二年上期ノ「本邦事業成績分析」ニ依リマスト、「支出內容ヲ點檢スルニ、原料費、製造費、販賣費等ヲ包含スル原價ハ前期ニ於テ僅カ一・六%ノ增加ニ過ギナカッタガ、今期ノ增加ハ一七・三%ニ上リ、賣上高ノ增加率、一六・〇%ヨリモ更ニ上廻ルニ至ッタコトハ、經營上ノ最大重荷デアッテ、見逃スコトハ出來ナイ……支出項目申特筆すべきハ稅金額ノ激增デアル、調査會社全體ニ於テハ四三・九%ノ增加デアルガ、各業種別ニ見レバ、瓦斯及ビ電氣業ハ四二・八%、鑄業ハ二五・一%トソレド¹增加ヲ示シテ居ル、製造工業中化學工業ハ七七・一%增加シ、染織工業ハ六二・五%、重工業ハ二三一・五%、ヲソレゾレ增加シテ居ルガ、食料品工業ハ八・九%、窯業ハ五・四%ヲソレド²減少シタト云フヤウナ數字ヲ示シマシテ、租稅重課ノ跡ヲ描寫シテ居ルガ、食料品工業ハ八・九%、窯業ハ五・四%ヲソレド³減少シタト云フヤウナ數字ヲ示シマシテ、租稅重課ノ跡ヲ描寫シテ居ルノデアリマスガ、ソレデハ

「前期比較利益金增加額ハ前期ノ三千九百万ベマシタヤウニソレ程重課サレテ居ルノ」付キマシテ斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル、即チ「前期比較利益金增加額ハ前期ノ三千九百万円カラ當期ノ二千九百万圓ニ減少シ、資本膨脹ノ壓迫ガ作用シ始メテ利益率ハ上半期一割九分三厘カラ下半期ノ一割九分ニ低下シ、其前期比較増減率ハ前期ノ向上八%四ニ當リ、前期ニ於ケル增加五・〇%（一五一百万圓）ニ比シ、著シイ躍進ガ認メラレル」ト云フコトヲ前提トシテ「調査會社ノ純益シテ一六・二%（六九・二二百万圓）ノ增加ヲ示す云フコトヲ前提トシテ「調査會社ノ純益金ハ四億九千七百万圓ニ達シ、前期ニ比較シテ一六・二%（六九・二二百万圓）ノ增加ヲ示す云フコトヲ前提トシテ「調査會社ノ純益化ノ傾向ヲ示シタガ、前期ニ於テ其活況ヲ盛リ返シ、今期ハ更ニ之ニ拍車ヲ加ヘタモノデ、前期及ビ前々期ニ於ケル增加率五・四%及ビ三・五%ニ對比スル時、其増勢ノ如何ニ顯著デアルカガ明瞭デアル」ト言ツテ居ル、是ハ單ニ三菱經濟研究所ノ資料ダケデナク、東京朝日新聞社ノ事業會社業績調査ヲ見テモ大體サウ云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ二月一日附ノ東京朝日新聞社ノ昨年下半期事業會社業績調査ニ依リマスレバ、利益率ハ上期ノ一九・三%カラバ低下シタモノデナイト云フコトヲ示シテ居ルノデゴザイマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテ、之ヲ一方第三種所得稅ノ免稅點ノ引下サレル人ノ數字ト比較致シマスト、例ヘバ第三種所得稅ノ今回ノ免稅點引下ニ依テ影響ヲ蒙ル所ノ俸給生活者ノ統計ヲ見マスルト、昭和十年九月カラ同十一年八月マデノ統計デアリマスガ、假ニ百圓未滿九十收入八十六圓七十六錢ニ對シ支出總額ハド

ウナツテ居ルカト言ヘバ、平均八十四圓六十
錢デ、殆ド餘裕ガ無イヤウニナツテ居ル、更
ニ百圓以上ノ勤勞收入者ヲ調べマスト、勤
勞收入ガ百四圓八十錢ト云フ者ノ支出總額
ガ百三圓二十六錢ト云フコトニナツテ、殆ド
餘裕ガ無イヤウニナツテ居リマス、更ニ生計
調査ニ現レマシタ租稅負擔ノ調査ニ依リマ
スト、俸給生活者ハ、是ハ昭和十年九月カ
ラ同十一年八月マデノ統計デアリマスガ、
百圓以上ノ人ト百圓未満ノ人トノ負擔比ハ
ドウ云フ工合ニナツテ居ルカト申シマスト、
百圓未満ノ人ハ、負擔費全額○・五一ノ内、
公課ノ負擔トシテハ僅ニ○・一七ト云フヤ
ウナ租稅ノ負擔シカシテ居ラナイシ、又出
來ナイヤウナ狀態デアル、百圓以上ノ人ハ
ドノ位アルカト申シマスレバ、ヤハリ負
擔費全額○・七六ノ内、公課ノ負擔ハ○・二
六ト云フヤウナ負擔シカ出來ヌ狀態ニナツ
テ居リマシテ、殆ド其裕リガ無イ狀態デア
ル、之ニ反シマシテ、前ニ三菱經濟研究所
シマシタヤウニ、產業資本ノ方デハ非常ニ
裕リガアルヤウニナツテ居リマシテ、此點私
ハ產業資本ニモウ少シ課稅シテモ差支ナイ
シ、又裕リモアラウト、數字ノ上カラ判断
スルノデゴザイマスガ、此點ニ關シマシ

テ——前ニ大矢サント申シマシタガ、太田
サンガオ出デニナリマシタカラ、太田サン
デモ結構デス、ドチラカラデモ御答辯ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 只今三菱經濟研究所ノ調
査其他ニ依ル詳細ナ數字ヲ擧ゲテノ御尋
ゴザイマスガ、權威アル研究所ノ調査等ニ
依ルモノデゴザイマスカラ、其數字ニハ間
違ヒガナイト存ジマス、近時軍需工業
ヲ中心トシテ、日本ノ產業ガ著シク好況ニ
向ッテ參リマシテ、利益率モ累年向上シテ參
リマシタ、隨テ昨年ノ臨時租稅增徵法ノ實
施、或ハ北支事件特別稅法ノ實施ガアッテ
後モ、是等好況ニ向ッテ居ル事業會社ノ利
益ハ著シク減殺サレルコトナク、寧ロ臨時
利得稅ノ負擔ラシタ上ニ於テ尙ホ多少トモ
利益率ガ向上シテ居ルト云フコトハ、大體
是ハ仰セノ通リダト思フノデゴザイマス、
隨ヒマシテ此度支那事變特別稅法案或ハ臨
時利得稅法改正法律案等ニ於キマシテ、是
等法人ニ對シテ相當程度ノ負擔ノ增加ヲ企
圖シテ居ルノデハアリマスケレドモ、之ニ
度々大臣カラモ御答ガアリマシタノデ、十
分其趣旨ハ御諒解ヲ得テ居ラレルコトト存
ジマスガ、念ノ爲ニ比較的新シイ内閣統計
ノ家計調査ニ依ッテ申上ダマスルト、昭和
十年ノ九月カラ十一八年八月末ノ調査實績デ

カト云フ仰セデゴザイマス、併シ一方ニ於
キマシテハ、時局關係ノ事業ニ於キマシテ
ハ急激ニ其新規設備ノ増加ヲシナケレバナ
ラヌ、新シイ資本ヲ巨額ニ投下シテ行カナ
クテハナラヌ、隨テ事變後ノ經濟界ノ變化
ノ狀況等モ十分考慮シテ行カナケレバナラ
スト云フ聲モ大分高イノデゴザイマス、此
點ニ於キマシテモ十分考慮ヲシテ行カナケ
レバナラヌカト思フノデゴザイマシテ、多少
利益率ノ向上シテ行ク程度ハアッタ方ガ寧
ロ望マシイコトデハナカラウカ、斯ウ考ヘ
テ居リマシテ、此度ノ增稅ニ當リマシテ
モ、產業ノ伸展ヲ阻碍セザル程度ニ於テ、負
擔ノ增加ヲ致サウ、斯ウ考ヘタ次第デゴザ
イマス、尙ホ内閣統計局ノ家計調査等ニ依
リマシテ、小額所得者或ハ給料生活者、勞
働者等ノ生活方面カラ考ヘマシテ、第三
業資本家ニ對スル課稅トノ關係デ、ドウ云
フ風ナ考デ居ルカト云フ御話デゴザイマス、
免稅點引下ノ根本ノ趣旨ニ付キマシテハ、
度々大臣カラモ御答ガアリマシタノデ、十
勿論英吉利ハ日本ヨリモ所得稅中心ノ國デ
ゴザイマスガ、其所得稅ハ六億二千四百万
米弗ニ對シマシテ、超過利得稅ハ略ソレト
同額ノ六億一千一百萬米弗ト云フヤウナ狀
態ニナツテ居リマス、今度ノ稅デモ喧シク
ナツテ居ル臨時利得稅ト云フモノハ、此超過

アリマシテ、是ハ昨年九月ニ發表セラレテ
居ルノデアリマスガ、百圓以上ノ給料生活
者ニ於キマシテハ、收入カラ支出ヲ差引マ
シテ月ニ十四圓何ガシカノ殘ガ出テ居ルヤ
ウデゴザイマス、又勞働者ノ方ニ於キマシテ
ハ十六圓何ガシカノ殘ガ出テ居ルヤウデア
リマシテ、斯ウ云フ方面ノ調査ニ依リマシテ
モ、大體此度免稅點引下デ新シク課稅範圍
ニ入ッテ來ル程度ノ所ニ於テモ多少ノ負擔
ノ餘力——ト申シテハ或ハ言過ギルカ知レ
マセヌケレドモ、此事變下ニ於テ此程度ノ
負擔ヲシテ戴ク餘地ハ殘サレテ居ルデハナ
カラウカ、斯ウ存ズル次第デゴザイマス
○水谷委員 外國ノ例ヲ引クト何ダカ氣障
デゴザイマスガ、例ヘバ戰爭當時ノ千九百
十五年カラ、戰爭ガ濟ミマシタ千九百二十
年ニ至リ、英吉利デ行ハレタ超過利得稅ト
云フモノハ、大體稅率ハ四〇%カラ八〇%
ト云フ工合ニ聞イテ居ルノデアリマス、例
へバ千九百十八年カラ十九年ニ於ケル——
勿論英吉利ハ日本ヨリモ所得稅中心ノ國デ
ゴザイマスガ、其所得稅ハ六億二千四百万
米弗ニ對シマシテ、超過利得稅ハ略ソレト
同額ノ六億一千一百萬米弗ト云フヤウナ狀
態ニナツテ居リマス、今度ノ稅デモ喧シク
ナツテ居ル臨時利得稅ト云フモノハ、此超過

利得稅、即チ大戰當時獨逸、英吉利デ行ハ
レマシタ戰時利得稅ノ如キモノト同一ノモ
ノト思ヒマスガ、ソレ等ヲ見マシテモ殆ド
所得稅ト同ジ工合ニナリマシテ、是等ノ點
カラ考ヘマシテモ、モウ少シ裕リガアラウ
ト私ハ思フノデアリマス、唯此際此點ハ太
田サンニ御聽キシタイノデアリマスガ、產
業資本ノ重課ハ生產力ノ擴充ニ影響ヲ與ヘ
ルカラト云フコトガ決リ文句ノ言葉デアリマ
ス、所ガ此際大藏當局トシテ考ヘテ戴カナクテ
ハナラヌノハ、現在ノ國防經濟ノ段階ニ於
キマシテ、產業發展ノ原動力ト云フモノ
ハ、果シテ蓄積サレタ新シイ資本デアルカ、
ソレトモ厖大ナル政府ノ財政デアルカト云
フ點ガ、財政ノ根本ノ岐レ路ダト思フノデア
リマス、色々學者ニ於キマシテモ、今日ノ事
變下國防經濟ノ段階ニ於テハ、國家ガ莫大ナ
ル資本ヲ民間ニバラ撒ク場合ニ於テ、果シ
カト云フ所ニ大キナ疑問ガアラウト思フ、
私ハ少クトモ現在ノ國防經濟ノ段階ニ於テ
ハ、寧ロ國家ノバラ撒ク所ノ所謂財政デナ
カラウカ、此點ニ關シマシテモ、私ハモウ
ノデアリマスルガ、此點ニ關シマシテ太田

○太田政府委員 水谷サンノ御示シノ通り、
昨年ノ初メ頃マデノ所ハ、蓄積ノ關係デ出
來タ所ノ生產資本ガ能ク働キ掛ケテ居ツタ
ト思ヒマス、併シ昨年ノ初メ頃カラ後ニ掛
ケテハ、仰セノ通り國家ノ財政ノ方ガ其原
動力ニナツテ居ルカト思ヒマス、併ナガラ、
產業資本ニ課稅スルニ付キマシテハ、先程
主稅局長モ申上げマシタ通り、實ハ隨分今
度ノ稅モ各方面カライタメルト申シマスカ、
獨ツテ居リマシテ、學理的ニ言ッタラ、何處
ガ限界デアルカ、中々機微ニ瓦ルヤウナ考
ヲシナケレバ分ラヌヤウナ所マデ、各種ノ
稅目デ責メテ居ル譯デゴザイマシテ、此程
度以上ニ責メテ行クト云フコトハ、主稅局
長モ言ハレマシタ通り、是カラノ國防產業
ヲヤツテ行ク上ニ於テハ却テ妨ゲガアルノデ
ハナイカ、マア此邊ノ程度ニ於テ稅ノ上
カラ負擔ヲ願フヨリ外ナイ、是レ以上ニハ
少シ無理デアラウト考ヘテ居ル次第デアリ
マス、唯生產資本ノ動キ方ニ付キマシテハ
同ジヤウニ考ヘテ居リマス

○水谷委員 其點ニ關シマシテハ、太田政
務次官ハオ聽キナカツクノデスガ、私ハ前ニ
賀屋サントノ問答デ、汐見三郎君ノ著書ヲ
引キマシテ、日本ノ稅ト云フモノガ國民所
得ニ比ベテ亞米利加ヲ除イテハ一番低イト
云フコトヲ言ッテ居リマス、併シ低イカラト
言ヒマシテ、サウ云フヤウナ大衆課稅ヲ課
スルト云フ理由ニヘナラナイノデアリマシ
テ、低イカラコソモット取レル所カラ取レト
云フノガ私ノ意見デアリマスカラ、其點ヲ

サンノ御意見ヲ聽キタインデアリマス
○太田政府委員 水谷サンノ御示シノ通り、
此一二年ノ傾向ハ大變違ツテ參リマシタガ、
昨年ノ初メ頃マデノ所ハ、蓄積ノ關係デ出
來タ所ノ生產資本ガ能ク働キ掛ケテ居ツタ
ト思ヒマス、併シ昨年ノ初メ頃カラ後ニ掛
ケテハ、仰セノ通り國家ノ財政ノ方ガ其原
動力ニナツテ居ルカト思ヒマス、併ナガラ、
產業資本ニ課稅スルニ付キマシテハ、先程
主稅局長モ申上げマシタ通り、實ハ隨分今
度ノ稅モ各方面カライタメルト申シマスカ、
獨ツテ居リマシテ、學理的ニ言ッタラ、何處
ガ限界デアルカ、中々機微ニ瓦ルヤウナ考
ヲシナケレバ分ラヌヤウナ所マデ、各種ノ
稅目デ責メテ居ル譯デゴザイマシテ、此程
度以上ニ責メテ行クト云フコトハ、主稅局
長モ言ハレマシタ通り、是カラノ國防產業
ヲヤツテ行ク上ニ於テハ却テ妨ゲガアルノデ
ハナイカ、マア此邊ノ程度ニ於テ稅ノ上
カラ負擔ヲ願フヨリ外ナイ、是レ以上ニハ
少シ無理デアラウト考ヘテ居ル次第デアリ
マス、唯生產資本ノ動キ方ニ付キマシテハ
同ジヤウニ考ヘテ居リマス

○水谷委員 此產業資本ノ動キ方ニ於キマ
シテ、大藏當局ノ考ガソレナラバ宜イノデ
ス、結論ハ違ツテ居リマシテモ、ソレハ已ム

ヲ得ナイ、唯私等トシテハ、其前提ガ同ジ
デアルカラ、私等ノ立場トシテハサウ云フ
ヤウナ零碎ナル財源ヲバ、所謂大衆課稅デ
イタメ付ケルヨリモ、其方ニ行クベキダト
リマシテ、其點デ結構デアラウト思ヒマス
○太田政府委員 モウ一ツ申上ゲテ置キタ
云フ點ヲ私ハ結論トシテ出セバ宜イノデア
リマシテ、其點デ結構デアラウト思ヒマス
ケテハ、仰セノ通り國家ノ財政ノ方ガ其原
動力ニナツテ居ルカト思ヒマス、併ナガラ、
產業資本ニ課稅スルニ付キマシテハ、先程
主稅局長モ申上げマシタ通り、實ハ隨分今
度ノ稅モ各方面カライタメルト申シマスカ、
獨ツテ居リマシテ、學理的ニ言ッタラ、何處
ガ限界デアルカ、中々機微ニ瓦ルヤウナ考
ヲシナケレバ分ラヌヤウナ所マデ、各種ノ
稅目デ責メテ居ル譯デゴザイマシテ、此程
度以上ニ責メテ行クト云フコトハ、主稅局
長モ言ハレマシタ通り、是カラノ國防產業
ヲヤツテ行ク上ニ於テハ却テ妨ゲガアルノデ
ハナイカ、マア此邊ノ程度ニ於テ稅ノ上
カラ負擔ヲ願フヨリ外ナイ、是レ以上ニハ
少シ無理デアラウト考ヘテ居ル次第デアリ
マス、唯生產資本ノ動キ方ニ付キマシテハ
同ジヤウニ考ヘテ居リマス

○太田政府委員 私不勉強デ、實ハ御話ノ
營業費ノ調べヲシテ居リマセヌガ、ソレニ

致シマシテモ今回斯ウ云フ増税ニ依ッテ、ヤ
ハリ税ハ多クナル、ソレガ勤勞階級ノ方
ニ押サレテ行クノデハナイカト云フコト
ニ付キマシテモ、私共モ此税法ヲ考ヘマ
シタ時ニ非常ニ心配ヲ致シタノデゴザイマ
スガ、此税ヲ課ケマシテモ、企業自體ト
シテハ御示シノ通り收益率ガ減ルトカ、
配當率ヲ減ラスト云フコトハナカラウト思
ヒマス、サウ云フコトガナイ程度ニ於テ課
ヒマス、サウ云フコトガナイ程度ニ於テ課
ケラレルモノト思ヒマス、併シ然ラバト言ツ
テ其收益率ヲ維持シ、配當率ヲ維持スル爲
ニ、賃銀ノ値下ト云フ上ニ強力ヲ加ヘテ行
クカト言ヘバ、私ハ其程度ニ行カズシテ行
キ得ベキモノデハナイカト思フ、曩ニ水谷
サンノ御示シニナツタ三菱研究所ノ營業費
ノ關係ハ勉強シテ居リマセヌデ御返事出
來兼ネマスガ、今ノ税ト、勤勞階級ニ對ス
ル、或ハ労働者階級ニ對スル賃銀トノ關係
ニ付キマシテハ、左様ニ見透シシテ居ル
次第デゴザイマス

産業資本ノ重課ヲ合理化スルコトガ出來ルト思フ、更ニ又先ニ太田サンハ、日本ノ稅額ハ國民ノ所得ニ比シテ少イコトモ御示シニナツテ居リマス、此際是ト共ニ考ヘナケレバナラヌコトハ物價騰貴ノ問題デアリマス、ルモノデアリマシテ、而モ頭數ノ多イ大衆ガ物價騰貴ノ犠牲ニナラナケレバナラヌト云フコトハ火ヲ睹ルヨリモ明カデアル、サウ云フ點カラ申シマシテモ、モウ少シ産業資本ニ私ハ重課スベキデアラウト思フ、況シテ今日此頃産業資本ノ儲ケテ居ル根本ハ何デアルカト云ヘバ、前ニ私ガ三菱ノ經濟研究所ノ資料ニ依ツテ申シマシタヤウニ、殆ド軍需工業ガ其根本ヲ爲シテ居ル、澤山ノ子弟ガ戰爭ニ行ツテ命ヲ的ニ戰ツテ居ル、ソレヲ一方ハウント儲ケテ居ルト云フヤウナ不合理ナ事ハ、私等ハ許サレナイト思フ、サウ云フヤウナ高イ觀點カラモ、吾々ハソレヲ考ヘルコトガ出來ルノデアリマス、私ハ今日太田サンヲ前ニ致シマシテ、重要產業ノ國營化ト云フヤウナ所マデ問題ヲ發展サセテ論ジヨウトハ思ハナイノデアリマスガ、以上ノ點カラ言ツテモ、私ハ産業資本ニモット重課出來ルト思ヒマスガ、是レ以上ハ御互ニ議論ニナリマスカラ、其點ハ是デ打止

メテ置キタイト思ヒマス
其次ニ私ハ大藏當局ニ御伺ヲ致シタイト
思フノハ、所謂大衆課稅ノ問題デアリマス
ガ、今日モ調査表ヲ戴イタノデアリマスガ、
私ノ方ノ集メタ調査ニ間違ガナケレバ、結
城サンガ増稅ヲ行ヘレマシタ以後ハ直接
一・三一%、間接稅ハ五八・六九%、ソレガ
結城サンガ増稅ヲ行ヘレマシタ以後ハ直接
稅ガ四七・七四%、間接稅ガ五二・五三%、
所ガ十三年度ノ普通豫算ノ場合ニ現ハレマ
シタ所ニ依レバ、直接稅ガ從來ト變リマシ
テ半分ヨリ殖エテ五一・二九%、間接稅ガ
四八・七一%、今度ノ賀屋サンガ増稅サレ
タ以後ニ於テハドウナルカト申シマスレバ、
直接稅ハ五三・二八%、間接稅ガ四六・七
二%、以上ハ印紙稅ノ收入ハ除外シテ居リ
マスガ、斯ウ云フ狀態デアリマシテ、唯形式
的ニ、表面ニ現ハレマシタ所カラ申シマス
レバ、直接稅ト云フモノガ段々殖エテ來ル
ト云フコトハ非常ニ喜バシイ點デアルノデ
ゴザイマスガ、併ナガラ是ハ單ニ稅金ノ率
ダケデアリマシテ、國民生活ト云フ建前カ
ラ見マスレバ、此「パーセンテージ」ハ非常
ニ變ツテ來ルト思フ、ソレハ何デアルカト申
シマスレバ、前ニ申シマシタ産業資本ノ轉
嫁デアルトカ、或ハ物價騰貴デアルトカ、

更ニ消費稅ナドハ、昨日モ吉野サント言ツタノデアリマスガ、稅額ヲ上廻ツテウント掛
寸デモ酒デモサウナツテ來ルノデ、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、國民生活ト云フコトヲ
基準ニ致シマスレバ、此「パーセンテージ」ト云フモノハ非常ニ變ツテ來ルノデアリマ
シテ、此點大藏當局トシテハ、直接稅ガヨンナニ殖エタカラ、是デ大衆ノ生活ハソ
レゾレ良クナツテ行クト云フヤウニ御考ニマレバ、非常ニ間違ツテ居ルノデアリマシテ、此
點特ニ御考慮ヲ願ヒタイト思フ次第デゴザイマス、堵テ此處デ一ツ御尋シタイノハ、
煙草ノ値上ニ關シテデアリマスガ、是モ大衆課稅ノ一ツトシテ言ハレテ居リマス、是
ハ値上シタノガ良イトカ惡イトカ云フコトハ茲デハ問題ニセズニ、將來煙草ノ値上ハ、
一方ニ於テ酒ノ値上、或ハ麥酒ノ値上等ハ、一々議會ノ協贊ヲ經ナケレバナラヌノニ、
唯煙草ハ專賣事業ダカラト云ツテ、暗打的ニ斯ウ云フヤウナ大幅ナ値上ニ依ッテ、實質
的ナ大衆課稅ガ課セラレルト云フコトハ非常ニ不公平デアルト思ヒマスガ、大藏當局ハ
將來之ヲ議會ノ協贊ヲ經テヤラナクテハナラヌト云フ工合ニ、制度ヲ御改正ニナル意
思アリヤ否ヤ、是ハ非常ニ方々カラ論議ノ

的トナツテ居リマシテ、實質上ノ斯ウ云フ大
業課稅ガ、唯煙草ダケガ籠棒ニ斯ウ云フ手
段デ行ハレルト云フコトハ、是ハ以テノ外
デアルト云フヤウナ意見ガ高イヤウデアリ
マスガ、一ツ太田サンノ御意見ヲ御伺シタ
イト思ヒマス、附加ヘテ申シマスガ、太田
サンハ前ノ結城サンノ時ノ一般質問ニ當リ
マシテモ、壇上カラ此煙草ノ値上ヲバ攻撃
サレテ居タクト云フコトヲ附加ヘテ置キマ
ス

置シテ置キマスルト、ソコニ起リマスコトハ申上ゲル迄モナク買占、賣惜ト云フヤウナ事實デゴザイマス、稅ノ性質ヘ第二ニ置キマシテ、專賣ヲドウ考ヘルカト云フコトニ付キマシテハ、買手ノ方ノコトモナルカト云フコトモ財政ノ大キナ問題デアッテ、買占賣惜ヲ致シマス結果ハドウナルカト云フト、需要者側ニ於キマシテハ買ヒタクテモ買ヘナイト云フヤウナ、需給ノ不圓滑ガ茲ニ起ルコトハ、專賣ト云フ賣ルコトヲ條件トシテ考ヘテ居ル實體ニ付キマシテ、深ク考ヘナケレバナラヌコト思フノデアリマス、而シテ之ヲ買占、賣惜シテ居ル結果ハ、又申ス迄モナク國庫ノ收入ヘ期待シタ程入ルコトハ出來ナイ、要スルニ實際ノ方面カラ見マシテ、理論的ノヤウニ副ヒ難イ點ハ何處ニ在ルカト云ヘバ、需給ノ不圓滑或ハ國庫收入ノ減少、斯ウ云フヤウナ點カラ見マシテ、初メ專賣法ヲ施行スル時ニ於テモサウ云フ議論ガアツタコトヲ記憶シテ居リマスルガ、其結果ト致シマシテハ、ノデアリマスガ、實際的ニハ專賣法ニ「アジャスト」シテ行クニハ、ドウシテモスウスルヨリ外ナカラウ、斯ウ云フ立前ノ下ニヤツテ

居ルノデゴザイマスガ、實ハ私自身モ水谷
サンノ御指摘ニナル迄モナク、理論ヲ通ス
ヤウナ實際ノ方法ハナイカト、色々實際家
ニ就テモ研究シタノ方法ハゴザイマスガ、只今
ノ所ドウモ値上ヲ發表シテ、ソレカラ其間ニド
ニ議論ヲシテ、其協贊ヲ仰イデ居ル間ニド
ウ云フ事件ガ起ルカト云フコトヲ、ドウモ
防グ方法ガアリマセヌ、無論斯ウ云フコト
ハ關稅ニ付テモ似タヤウナ問題モ起リマス
ガ、物ヲ賣ル買フト云フ政府ノ手ヲ通ツテ行
ク此品物ニ付キマシテハ、特ニ其點ガ關稅
ナドヨリ酷ウゴザイマスノデ、現在ニ於キ
マシテハ專賣法ノ立前ヲヤツテ行クヨリ外ナ
イデハナイカ、ソレトモ又之ヲ防グ方法ガ
アリマスナラバ、理論ヲ通シテ行クノガ然
ルベキコトト思ッテ居リマス、只今ノ所ドウ
モ之ヲ發見スルコトガ出來ナイノデ、已ム
ヲ得ズ專賣法ノ立前ハ續ケラレテ居ル譯デ
ゴザイマス、左様御諒承ヲ願ヒマス
○水谷委員 一寸御尋致シマスガ、坂サン
ハ御急ギデスカ、御急ギナラバ坂サンニ先
ニ御質問致シマスガ……
○高橋委員長 御急ギデス
○水谷委員 午後ハ參ラレマセヌカ
○坂政府委員 午後ハ豫定ノ用事ガゴザイ
マスガ……

○水谷委員 ソレデハ工藤サンハ午後モ御出席ガ、私ハ大分前カラ、厚生省ノ根本問題ニ關スル質問ノタメ、大臣ノ出席ヲ求メテ居ツタノデスガ、大臣ハ御出席ハアリマセヌカガ、折角ノ御質問ガアルヤウデスカラ私が參ッタノデアリマス

○水谷委員 ソレデハ工藤サンハ午後モ御出席ガ出来マスカ

○工藤政府委員 宜シウゴザイマス

○高橋委員長 サウスルト水谷君ニ申上ゲマスガ、厚生省關係ノコトハ午後ニナサル御積リデスカ

○水谷委員 モウ十二時二十五分前デスカラ午後デナイトヤレマセヌ

○高橋委員長 ソレデハ内務省ニ關スル質問ヲ此際進メラレマスルカ

○水谷委員 大藏省ノガ残ツテ居リマスガサウ致シマス、先づ細カイコトデスガ坂サシニ御尋致シマス、此度自作田畠ノ地租トカ、或ハ營業収益税ニ對シマシテ、臨時措置ノ減税ガ規定サレテ居ルコトハ申スマデモナイコトデアリマスガ、ソレト密接ナ關係アル所ノ自作小農ニ對スル地方稅トシテノ特別地稅、ソレカラ營業収益稅ノ免除者等ニ課セラレル營業稅、是等ノ納稅者ニ對シ

村問題ノ大キナ問題ニナシテ居リマシテ、是非一ツ是等ハ解決シテ戴キタイト思ヒマス、此點内務當局ハ一層ノ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、御研究ト同時ニ御決心ヲ御願シタイト思ヒマス

次ニ、是ハ交付金ニ關聯シテノ問題デゴ

ザイマスガ、將來地方財政ノ傾向ト致シマシテ、獨立稅主義ト申シマスカ、ソレデ行カレル積リカ、或ハ附加稅主義ト申シマスカ、サウ云フ方向デ行カレル豫定デスカ、ソレヲ一寸御聽キシタイト思ヒマス

○坂政府委員 大變大キナ問題デアリマシ

テ、一口ニ私カラ申上ガルコトハドウカト思フノデアリマスガ、御承知デアリマスヤウニ、獨立稅ト附加稅トハソレノ利弊ガアル譯デアリマシテ、獨立稅ヲ取リマスレバ地方自治體ガ自主的ナ立場ヲ取ル、自治ト云フヤウナモノニ結付ケテ非常ニ考へ易イ點ガアリマスガ、又附加稅ニハ課稅ノ便利其他ノコトガアリマシテ、此點ハ十分御承知ト思フノデアリマス、ドチラヲ採ルカト申シマシテモ、現在ノ情勢ハ之ヲチヤンボンニ致シマシテ、獨立稅モ附加稅モアッテ、組合セテヤッテ居ルヤウデアリマス、之ニ將來交付金制度ト云フモノガ加ハリマスト、ソレト三者ガ混同サレタヤウナ稅制ニ

ナル譯デアリマス、愈、稅制ヲ立案致シテ見マセヌト、豫メ獨立稅主義デヤルトカ、或ハ附加稅主義デヤルト云フ風ニ決メテ掛リマスコトハ困難ガアルノデハナカラウカト思ヒマス

○水谷委員 若シ附加稅主義ヲサウ云フヤ

ウニシテ活カサナクテハナラヌト云フ御考デアリマスナラバ、此際第二種所得稅ノ附加稅ト云フヤウナモノヲ御考ニナル必要ガアルノデヤナイデスカ、此點ヲ一寸伺ヒタイト思ヒマス

○坂政府委員 是ハ或ハ大藏省カラ御答

願ツタ方ガ宜イカ知レマセヌガ、從來取ッテ居リマセヌ、課稅技術ノ關係デ源泉課稅ヲヤッテ居リマスカラ、偶、利子ノ支拂ヲ受クル者ノ居ル團體デ附加稅ヲ取ルト云フコトハ困難デアルト思ヒマス、酒稅ノ附加稅、消費稅ノ附加稅ヲ取リニクイト同ジヤウナ理由デハナイカト思ヒマスガ、是ハ大藏省カラ重ネテ御答辯ヲ願ツタ方ガ宜イカト思ヒマス

拂ヲ受クル者ガ農村ニアツテモ、預金ハ都會ノ銀行ニシテ居ルト致シマスト、附加稅ハマセヌトニ拘ラズ地方ニハ獨立稅ト云フモノハ殆ド許サレル餘地ガナクナルノデハナカルト云フコトニナルノデハナカラウカト思ヒマス、ソレガ第二種所得稅ニ付テ、附加稅ヲ地方デ賦課出來ナイ課稅技術上ノ問題デアルト思ヒマス

○水谷委員 サウ云フ點モアラウト思ヒマ

スガ、例ヘバ馬場サンノ時ニモ問題ニナツタノデゴザイマスガ、所謂動產不動產ノ不均衡ト云フ問題ガ大キクナツタノデアリマス、例ヘバ昭和十一年度ノ場合ニ考へマシテモ、地租附加稅ナドヲ見マスト、本税一圓ニ對シテ道府縣ナドノ平均ガ一圓

三十一錢七厘、市ノ平均ガ七十九錢一厘、町村ノ平均ガ七十九錢二厘ト云フ箇捧ナ額ニ達シテ居リマシテ、若シ地方デ尙ホ附加稅ヲ現存サレルト云フ計畫ナラバ、私ハ多少ノ技術上ノ問題ヲ乘越エテサウ云フ點モ御考ニナラナケレバ、動產不動產ノ不均衡

状態ト云フモノハ益々大キクナルノデハナイカト思フノデアリマス、尙ホ此點ニ關シマシタ通リデゴザイマシテ、第二種所得稅マシタ通リデゴザイマシテ、第一種所得稅ガ、私ノ考ヲ以上ノヤウニ述べテ置キタイト思ヒマス

○水谷委員 ソレデハ大藏當局ノ大矢サンカラ御答辯ヲ願ヒマス

○大矢政府委員 只今地方局長カラ御答シ

御考ニナラナケレバ、動產不動產ノ不均衡

根本的ノ改革ヲスル時ニハ、其點ハ是非考

慮シナケレバナラヌト云フ御答辯ヲ戴イタ

ノデアリマスガ、之ニ對スル内務當局ノ御

意見ハドウデゴザイマセウカ、重ネテ御聽

キ致シマス

○坂政府委員 補給金ハ只今ノ所デハ全ク
臨時のモノニナッテ居リマス、馬場サンノ
立テラレマシタ案ガ不幸ニシテ實行セラレ
マセヌ、税制ガ變リマシタノデ、其埋合セ
ヲ付ケルト云フ意味デ、補給金ガ御承知ノ
ヤウニ本年度カラ相當多クナッテ居リマス、
昨年度ハ二千万圓シカナカッタノデアリマ
ス、是方又明年度ニ於キマシテ増額トカ云
フ問題ガアルヤウデアリマシテ、一年々々
臨時的ニ、何ト申シマスカ、食ヒ繫ギヲシ
テ參ルヤウナ恰好ニナッテ居リマシテ、非常
ニ其點ハ私共モ殘念ニ思ツテ居リマス、隨ヒ
マシチ恒久的ナ税制改革ヲ致シマス場合ニ
ハ、必ズ是ハ恒久的ナ制度ヲ考ヘナケレバ
ナラヌコトハ當然デアリマスガ、恒久的ナ
制度ハ何時出來マスカ、是モ十分見透シガ
付キ兼ネル譯デアリマスノデ、ソレ迄ノ經
過的ナ措置ト致シマシテモ、色々實行上ニ
困難ナ點ガ生ジテ來ルノデアリマシテ、何
トカ是ハ考ヘナケレバナラヌト云フコトハ
全ク御同感デアリマス、先づ其程度ニ申上
ゲテ置キタイト思ヒマス

ト云フ制度ヲ御考ヘニナル時ニ、現在ノ立前ノヤウニ地方財政ヲ救濟スルト云フ立前ナシニ、寧ロ現在ノ經濟組織ノ下ニ於テ、非常ニ窮乏ノドン底ニ突落サレテ居ル所ノ地方ノ農民ノ生活安定、向上ト云フ社會政交付金制度ト云フコトヲ我黨デハ多年主張制度ヲヤルベキデナカラウカ、例ヘバ社會シテ居ルノデアリマシテ、少クトモ一年五億圓ナラ五億圓ト云フヤウナ所ニ目安ヲ置キマシテ、單ナル地方財政ノ救濟ト云フコトデナシニ、地方ノ農民ノ生活安定ト云フ點ニ目安ヲ置イタ、社會政策的ナ社會交付金制度ト申シマスカ、サウ云フ方法ガ私ハハ寧ロ重要チヤナカラウカト思フノデアリマス、此點ニ關シマシテ坂サンノ御意見ヲ御伺シタイト思ヒマス

乏致シマス、其結果農村ガ非常ニ苦シンデ
參リマヌノデ、其經濟組織カラ來ル不合理
性ヲ是正スルト云フ所ニ、アノ調整交付金
制度ノ大キナ狙ヒガアツクノデハナカラウ
カト思フノデアリマス、其大キナ狙ヒハ、
今日ノ補給金デハ十分ニ達シテ居リマセヌ、
非常ニ影ノ薄イモノニナツテ居リマスノデ、
其點ハ非常ニ遺憾ニ思ツテ居ル次第デアリ
マス、只今仰セニナリマシタ社會交付金ト
云フコトニナリマスト、マダ具體的ノ内容
ヲ十分ニ伺ツテ居リマセヌノデ、直チニ何ト
モ私ノロカラ申上げ兼ネルノデアリマスル
ガ、補給金デナク所謂調整交付金ニ付キマ
シテハ、唯負擔ノ過重ヲ輕減スルト云フモ
ノデハナクチ、隨テ是ハ一種ノ租稅ト全然
同ジ性質ノモノデ、國ガ地方カラ徵スルノ
デナクシテ、國ガ地方ニ交付スル租稅ト云
フヤウナ意味ニ於キマシテ、經濟組織上ノ
不合理性ヲ是正スルト云フ所ニ狙ヒガアル
モノヲ作リタイ、斯ウ云フ考ヘデアリマス
○水谷委員 私ノ申ス社會交付金ニ對スル
満足スペキ御答辯ハ得ラレナカツクノデス
ガ、少クトモ現在行ハレテ居ルヤウナ消極
的ナモノデナシニ、モット積極的ナ點ニ狙ヒ
ヲ置カナクテハナラスト云フ御答辯ヲ得マ
シタカラ、今日ハ是レ以上ノ答辯ハ地方局

長ニ要求シヨウト思ヒマセヌ、大體以上ヲ
以チマシテ、坂サンニ對スル私ノ質問ハ一
先ヅ終ルコトニ致シマス

ソレカラ是ハ前ニ内務當局ニ聞キマシテ、
内務當局ノ方ハマダサウ云フ相談ニ乘ッテ
居ラヌト云フノデアリマスガ、東京市ノ
特別所得稅ノ問題デゴザイマスガ、大藏省
ニハ東京市カラ何カ言ツテ來タノデスカ、
新聞ニハ大分前ニ主務當局ニ交渉中デアル
ト云フヤウナコトヲ書イテアリマシタガ、
其點ヲ一寸伺ヒタイト存ズルノデアリマ
ス

○大矢政府委員 特別所得稅ノコトニ付テ
ハ未ダ何モ申出ハアリマセヌ

○水谷委員 新聞ニ出タノハ大分前ノコト
デス、其新聞ノ記事ハ、東京市ガ今度免稅
點引下ニ依リマシテ、約二十萬圓カ穴ガ開
クノデ、此度ノ新稅ニ對シテハ原則トシテ
附加稅ハ許サナイガ、特ニ許シテ貰ヒタイ
ト云フヤウナコトヲ、主務當局ニ交渉シタ
ト云フノデアリマスガ、内務省モ大藏省モ
知ラナイト言ハレルノデスカ、新聞記事ハ
一月位前ニ出テ居タノデスガ……

○水谷委員 ソレデハ御尋致シマスガ、東京市カラハ何等申出ノナイコトハ事實デアリマス
大藏當局ハ御許シニナルノデスカ
○大矢政府委員 是ハ其場合ニナッテ内務省ト協議ノ上、十分實情ヲ調査シテ許否ヲ
決シタイト思ヒマス
○水谷委員 是ハ東京市ダケノ問題デナシニ、他ノ十二程ノ市ニモ行ハレテ居ル問題デゴザイマシテ、若シ東京市ニ許セバ、結局他ニモ許サナケレバナラナイ點デアラウト思ヒマス、サウスレバ結局大藏省ハ、此度所得稅ノ免稅點ヲ千二百圓カラ千圓ニ引下ゲタ、併シ其千二百圓ト千圓ノ間ニハ附加稅ヲ許サナイト云フヤウナコトヲ諷ハレテ居リナガラ、若シサウ云フコトヲ御許シニナルト、結局羊頭ヲ懸ケテ狗肉ヲ賣ルモノデアリマシテ、是ハ非常ニ影響スル所ガ多イト思ヒマス、只今ハ其市ノ事情ヲ能ク聽イテ色々内務當局ト相談スルト云フ御答デゴザイマシタガ、大藏當局ハソレ等ノ點ヲバ能ク考慮セラレマシテ、吾々トシテモ合理的ナ解決ヲサレルコトヲ特ニ希望シテ置ク次第デアリマス、ソレデ是ダケヲ聞キタイト思フノデス、内務大臣カラハ、東京市ノ現在ノ色々ノ事情等

思フガ、色々ノ特別事情モアルカラ能ク考ヘ
テ見ヨウト云フ御答辯ヲ得タノデアリマスガ、
大藏省ノ原則的ノ肚ハ、斯ウ云フヤウナコ
トヲ言ウテ來タ場合ニ於テ、此度ノ所得免
稅點ノ引下ノ立前カラ申シマシテモ——突
發的ノ色々ノ特別事情ガアル場合モアルカ
ラ、其時ニナラナイト分ラナイト云ヘバサ
ウデアルガ、少クトモ原則的ニハ許スベキ
モノデアルカ、許シテハナラナイモノデア
ルカドウカ、此點ヲハッキリ御答辯ヲ願ヒタ
イ

強制手段トシテ如何ナルコトヲ考ベキ力
ト云フヤウナ問題モ亦考ヘナクテハナリマ
セヌシ、ナゼ今年中ダケハ強制的ナ手段ニ
ゲテ考ヘテ見ナクテハナラヌノデ、其點ニ
關スル大藏大臣ニ對スル私ノ質問ヲ留保致
シマシテ、一先ヅ是デ打切りタイト思フ次
第デアリマス

○高橋委員長 午前中ノ會議ハ此程度デ閉
デマシテ、午後一時半カラ開會致シマス

午後零時二分休憩

午後二時十七分開議

○高橋委員長 開會致シマス

○東條委員 議事進行ニ付テ——本會議、
委員會デ同僚諸君ノ御質疑ヲ拜聴シマシテ、
今度ノ改正ニ付キマシテハ、其影響ヲ受ケ
テ産業ノ發達、殊ニ政府ニ於テ企圖サレテ
結果トシテ、企業心ヲ萎靡セシメルヤウニ
ナリハシナイカト云フ懸念ヲ持ッテ居ル方
ガ大分多イノデアリマス、一面マダ餘裕ガ
アルト思ハレルカラ、大衆課稅ノ方ヲ廢メ
テ、モット産業資本ニ課稅スルコトガ當然デ
ヤナイカト云フ御意見モアルヤウデアリマ
ス、此問題ハ今度ノ增稅案ヲ審議致シマス

ルノニ一番重要ナ點ト思ヒマス、私ノ頭ガ
悪イ譯デアリマス、具體的ニ、相當ナ團體デ資
本金幾ラノモノガドレダケノ利益ヲ上ゲタ
ナラバ、其結果ハドウナルト云フヤウナ計
算ヲ幾通リカ御拵ヘ願ツテ、ソレヲ參考資料
トシテ御出シ戴キマスト、大變分リ易イノ
デナナイカト思フノデアリマス、尙ホ本會
議デモ委員會デモ、實例ヲ擧ゲテ斯ウナル
ト云フヤウナ御話モ伺ヒマシタガ、是ハ其
會社ノ株式ヲ全部一人ガ持ツテ居ル場合ヲ
豫想サレタヤウニモ思ハレマスガ、サウ云
フコトハ事實トシテハ餘リナイコトト思ヒ
マスル、例ヘバ單純設立ノヤウナ形デ少數
ノ人ガ持ツテ居ルトシマシテモ、七人位ノモ
ノガ持ツテ居ルト云フヤウナ豫想ガ宜イノ
デヤナイカト思ヒマスガ、其邊ハ適當ニ御
裁量下スッテ、資本ガ幾ラデドレダケノ利益
ヲ上ゲタ場合ニ、最後マデノ稅ノ負擔ヲシ
テドウ云フコトニナルト云フ具體的ノモノ
ヲ七通リ位御拵ヘ願ツテ、ソレヲ参考ニシ
テ御説明ヲ願ヒマスルト非常ニ分リ易イト
思ヒマス、サウ云フモノヲ御出シ願ヘマセ
ヌデセウカ

ト存ジマス、森田サンノ御要求ノ資料ノ中

デ税第四十五號ト云フノニ、七種類ハアリ

マセヌガ、個人ノ租税デ、五千圓、一万圓、五万圓、十万圓、五十萬圓ノ場合ヲ示シテ

居リマス、ソレカラ法人ノ場合ニ資本金ガ百万圓デ、普通所得ガ十万圓ノ場合、同ジ

ク資本金ガ百万圓デ普通所得ガ二十萬圓ノ場合、同様ニ三十萬圓ノ場合、五十萬圓ノ

場合、七十萬圓ノ場合、百万圓デ百万圓ノ場合、コチラノ方ハ六通リバカリアリマスガ、大體ソレデハドウデゴザイマセウカ

○東條委員 ソレデ株主ノ第三種所得稅ガ入ッテ居リマスカ

○太田政府委員 個人ノ方モ大體此邊デ御檢討ヲ願ヘルノデハナイカト思ッテ居リマスガ、内容ヲ細分シタ場合ガ必要デゴザイマシタラ、至急作ラスヤウニ致シマス

○東條委員 是ハ所得稅ダケデスネ、個人ノ各種ノ租税負擔ニ付テハドウデスカ

○太田政府委員 各種ニ互ツテハ出來テ居リマセヌ

○東條委員 各種ノ稅ヲ全部見テ、法人ノ場合、個人ノ場合、サウンテ結局ドウナルカト云フモノヲ出シテ戴キタイ

○太田政府委員 一寸此表ノ内容ニ付キマシテ主税局長カラ御説明申上ゲルコトニ致

シマセウ

○大矢政府委員 森田委員ノ要求デ税第四

十五號ト云フ資料ヲ提出シタノニアリマスガ、其ノ法人ノ租税負擔額調ト云フ只今政務次官カラ申上ゲタノハ、是ハ法人ガ負擔スル所得税、北支事件特別税、所得税附加税、

營業収益税、同附加税、法人資本税、臨時利得税、北支事件特別税ト云フ、是等ノ各

稅種ヲ總テ網羅シテ居ル計算デゴザイマス、ソレカラ個人ノ場合ハドウモ所得ノ内容ハ千差萬別デゴザイマシテ、或ハ勤勞所得デアル場合、或ハ不動產所得デアル場合、營業ノ純益カラナル場合デ、ソレドウ税負擔ガ異ナツテ行キマスノデ、法人ノヤウニ一目瞭然ト各稅ノ負擔ヲ綜合シテドウ云フ風ニナルカト云フコトヲ見ル譯ニハ參リマセヌ、表ノ調製ト云フコトハ頗ル困難デアリマスノデ、此處ニハ唯第三種所得稅ダケニ付キマシテ、五千圓、一万圓、五万圓、十万圓、五十萬圓トソレドウ五ツノ階級ニ分ケテ、現行法ノ下ニ於テドウナツテ居ルカ、増徴後ハ、ドウナルカト云フコトヲ示シテ居リマシテ、是ハ所得稅ニ付キマシテハ附

○高橋委員長 東條君、宜シウゴザイマス御願スルコトニシマセウ

○東條委員 ソレデハ一ツ能ク調べテ見テ

参考ニナル資料ヲモウ少シ詳シイモノガアレバ御出シテ願ツテ置キタイト思ヒマス、尙

スカラ、サウ云フ意味合ニ於テ私ハ質問シ

○大矢政府委員 ソレハ計算シテ居リマセ

ヌガ、例ヘバ百万圓ノ資本デ年ノ利益ガ五十萬圓アル場合ニ如何程配當スルカ、サウト思フヤウナモノガアリマシタラ、ドウカシテ株主ハ何人デアルカ、又各株主ガドレダケヅ、株ヲ持ツテ居ルカ、尙ホ其株主ガ他

ノ所得ヲドレダケ持ツテ居ルカト云フコトニ依ツテ色々ナ場合ガアリマスノデ、ドウモ非常ニ複雜シテ來マスノデ、例ニ舉ゲルニ

一寸困ルノデアリマス、ソレデ或ル假定ノ下ニ、例ヘバ其株式以外ノ資産ハ何ニモ持ツテ居ナイ、勤勞所得モ無イ、サウシテ株主ガ何人デ、平等ニドレダケノ株ヲ持ツテ、配當ヲドレダケシタ場合ニドウ云フ風ナ課稅ニナルカ、斯ウ云フ一つノ假定ヲ置イテ計算致セバ出來ルノデアリマスノデ、一表ニシテ御示シスルニハ非常ニ困難ヲ感ズル次第

イト色々ナ場合ガアリマスノデ、サウデナ

ト思ヒマス、今日ノ國際情勢、國內情勢、

ニ依ル所謂國家ノ財政計畫、稅制ノ方針、

是等ノ點ニ對シマシテ大體私ハ賀屋サンノ執ラレタ方向ニ期待スルモノデアリマス、

今日諸般ノ情勢ガ非常ニ難局ニ立テバ立ツ程、吾々ハ玄人好キノスル所謂一ツノ飛躍的ナ形ニナツテモ、實質ノ伴ウタ手段ニ依ツテ行ク、形ハ飛躍的ノ形ニ現レテ居ツテモ、

内容ハ極メテ實質的ニ考ヘテ行クト云フコトガ本當デハナイカト考ヘルノデアリマス

カラ、其御苦心ニ對シマシテハ敬意ヲ表シ

トガ本當デハナイカト考ヘルノデアリマス、吾々モ財政當局ト共ニ難局ニ當ラナ

ケレバナラヌト云フ氣持デ居ル譯デアリマスカラ、サウ云フ意味合ニ於テ私ハ質問シ

モ知レマセヌガ、御氣付キノ、斯ウ云フモ

ノガアツタナラバ了解スルニ都合好カラウト思フヤウナモノガアリマシタラ、ドウカ作製ヲシテ戴キタイト思ヒマス、實例ガア

ルト大變分リ宜イノデアリマス

○大矢政府委員 二三ノ假設ノ例ヲ用ヒマシテ御参考ニ供シタイト思ヒマス

○高橋委員長 ドウゾ御願シマス

○愛野委員 私ハ實ハ十分ニ承リタイト

思ツテ委員ニナツタノデアリマスガ、今迄ノ

質疑ニ依リマシテ大體分ツタヤウデアリマスシ、極ク結論ノ方カラ質疑シテ置キタイ

ト思ヒマス、今日ノ國際情勢、國內情勢、

ニ依ル所謂國家ノ財政計畫、稅制ノ方針、

是等ノ點ニ對シマシテ大體私ハ賀屋サンノ執ラレタ方向ニ期待スルモノデアリマス、

今日諸般ノ情勢ガ非常ニ難局ニ立テバ立ツ

程、吾々ハ玄人好キノスル所謂一ツノ飛躍

的ナ形ニナツテモ、實質ノ伴ウタ手段ニ依ツ

テ行ク、形ハ飛躍的ノ形ニ現レテ居ツテモ、

内容ハ極メテ實質的ニ考ヘテ行クト云フコ

トガ本當デハナイカト考ヘルノデアリマス

カラ、其御苦心ニ對シマシテハ敬意ヲ表シ

トガ本當デハナイカト考ヘルノデアリマスカラ、サウ云フ意味合ニ於テ私ハ質問シ

ハ見テナイ譯デスネ

本東條君モ御調ベニナツテ御請求ニナルカ

タイト思ヒマス、特ニ大衆課税ニ付テノ方
法モ、遠慮深ク取ラレテアルヤウナ點モ見
エマシテ、其點ニ於テモ私ハ大體満足スル
ノデアリマスガ、此財政計畫ガサウ云フ風
ナ意味合ニ於テ立テラレマシタ、隨テ之ヲ
遂行スル點ニ付テハ、私ハ國民全體ガ之ニ
協力スルト云フコトガ第一義デアルト思ヒ
マスガ、ソレト同時ニ事務的ニ大藏省關係
ノ方々モ、ヤハリ大體其氣持ニ依ツテオヤリ
ニナツテ居リマセウケレドモ、稅制ノ立テ方
ガ極メテ複雜デアリ、非常ニ難カシイ日本
ノ租稅ノ形式デアル爲カ知リマセヌガ、現
在ノ大藏省ノ行キ方ニ聊カ違フヤウナ點ガ
現レテ居ナイカ、サウ云フ點カラ先ヅ承ツ
ト申シマスカ、意義ト申シマスカ、ソレハ
課稅ノ負擔ノ均衡ガ極メテ分リ易ク現レテ
居ラナケレバナラナイト思フノデアリマス、
然ルニ現在ノ課稅方法、即チ稅制ハ、ドウ
モ外形課稅ノ弊ニ陥ツテ居リヘセヌカ、徒ニ
外形ニ囚ハレテ居リマス爲ニ、課稅物件ヲ
隠匿スル者、或ハ脫稅スル者ハ割合免レテ、
正直ニ所得ヲ申告スルヤウナ者ハ非常ニ苦
シムト云フ結果ヲ招來シツ、アル虞ガアリ
ハセヌカ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘルノデア

リマスガ、其方法トシテ、現在稅務員ノ増
加ト共ニ調査ヲ徹底セシムル、斯ウ云フ意
味合ノコトガ必要ダト思フノデアリマス、
其見地ニ立チマシテ私ハ先づ第一ニ御伺シ
テ見タイト思ヒマスノハ、當初申額ト調
査稅額、ソレカラ其増差稅額、是ガ前年度ア
タリニハ、ドウ云フ比率ニナッテ居リマス
カ、ソレヲ一寸御伺シテ見タイト思フノデ
アリマス、法人ト個人ニ分ケテ戴ケバ結構
ダト思ヒマス

コトモ保ツタ原因デハナイカト思フノニアマス、所ガ今日ヘドウモ亞米利加ノ財政
状況ヘ、サウデナイヤウニ考ヘラレルヤウニナツテ來タノデスガ、サウ云フ點ニ對スル
見透シヘドウ御考ニナツテ居リマスカ、其點ヲツ政務次官ニ御伺シタイト思ヒマス
○太田政府委員 愛野サンノ御尋ノ悪性「インフレーション」ガ起ラナイヤウニスル
經濟政策ニ付キマシテ、亞米利加ノ經濟政策ガドウ云フ風ニ反映シタカ、斯ウ云フ御
意味ノヤウニ承リマシタ、申上ゲル迄モナク、惡性「インフレーション」ノ起ル狀況トカ
云フノハ、物ナリ金ナリガナダラカニ動カナイ、其流レガ激化スルトカ、順調デナイ
トカ、無理ガアル時ニ惡性「インフレーション」ガ起ルモノト思ヒマス

利加ハ悪ウゴザイマシテ、失業者モ殖工トカ、色々ナ結果ガ現レテ參リマシタ、ソレデ「ルーズベルト」政權モ此意味ニ於キマシテモ、或ハ物價ノ點ニ於キマシテモ、色々ナ手當ヲ加ヘ出シマシタ、本年ニナリマシテカラハ特ニ或ハ海軍ノ擴張デアルトカ、或ハ農業調整法ノ強化デアルトカ、色々ナ手當ガ、或ル意味ノ「インフレーション」ヲ起サセナイヤウニト云フ意味デヤラレテ居ルノデアリマス、株ノ値段ナドモ昨年ハ大變惡クナツテ參リマシテ、本年ニナリマシテモ色々挺入レラシタヤウデアリマスガ、ドウモ動キハ好クナイ、此結果國際物價ト云フ意味ニ於キマシテ、我國ノ物價ガ或ル生絲、或ハ綿、其他ヲ通シテ動イテ居ルコトハ事實デゴザイマスガ、亞米利加ノ今ノ動キガ日本ニドウ云フヤウニ物價ナリ其他ノ情勢ニ現レテ居ルカト云フ意味ニ於キマシテハ、吾々ガ期待シタ程ニ亞米利加ノ景氣ヲ作ルコトガ出來ズシテ、一寸シタキウナ形ハ見エルガ、何ト申シマスカ餘り晴レヤカナ、非常ニ美ハシイヤウナ形ニハナツテ居ラナイ、我國ニ及ボシタ關係ト致シマシテハ、我國自體ニ動イテ居ル經濟政策ニ非常ナ影響ガアルトハ私ハ見テ居リマセ

ヌ、唯併シ亞米利加ガ興ヘタ影響ガ好カッタ
カ、惡カッタカト云フト、サウ酷イ關係デハ
ナイヤウニ私ハ見テ居ルノデゴザイマス、
ケレドモ或ハ私ノ見方ガ非常ニ狭ウゴザイ
マシテ、間違ツタ點ガアルカモ知レマセヌ
ガ、大體ノ筋ハサウ云フ風ニ亞米利加ノ景
氣ヲ見テ居ルノデゴザイマス

○愛野委員 今迄ハサウデアッタカモ知レ
マセヌガ、將來ノ亞米利加ノ動キガドウ云
フ風ニ起リ、ソレガドウ云フ風ニ關係スル
カト云フコトヲ一つ伺ヒタイ

○太田政府委員 大變難シイ課題デゴザイ
マシテ、私ノ力モ足リマセヌガ、私ノ見タ
範圍ニ於テ申上ゲマスト、「ルーズベル
ト」自身トシテハ此際ニ景氣ヲ起シテ行カ
ウト考ヘテ居ル、ソコデ昨年ノ暮ニヘ、豫
算ニ付キマシテモ均衡策ヲ執ラウ、豫算ノ
「バランス」ヲ得テ行カウト云フヤウナコトヲ
言ツテ居タノデゴザイマスガ、二月ニナリマ
スト、直グ様、舌ノ根ノ乾カヌ内ト申シマ
スカ、其考ヲ引繰返スヤウナ、「インフレー
ション」政策ニ出ル傾向モアルノデゴザイ
マス、「ウォール・ストリート」ノ關係モア
リマスシ、私ハ相當向フノ景氣ヲ出スヤウ
ナ策ヲ執ツテ吳レナケレバイケナイノデヤ
ナイカ、或ル意味ノ「インフレーション」策

ヲ執ツテ來ルノデヤナイカ、是ハ本當ニ狭イ
範圍デ、又斷言的ニ申上ゲルコトハ出來マ
セヌガ、サウ云フ私ハ感ジヲ持ッテ居リマ
ス

○愛野委員 其點ニ付テハ私トシテモ、又
考モアリマスケレドモ、ソレダケニシテ置
キマス、要スルニ前ニモ申上ゲマシタヤウ
ニ、色々ナ點デ現在ノヤウナ所謂玄人好キ
ノスル立前デヤツテ貴ヒタイト云フノガ、根
本ノ所論デアリマス、先程モ一寸御願致シ
テ置キマシタノデスガ、特ニ斯ウ云フ風ナ
時代デアリマスレバアリマスル程、財務
當局デ仰シヤツテ居リマスヤウニ、負擔ノ均衡
トカ、或ハ稅ヲ特ニ好シデ、自發的ニ國民
ガ負擔スルト云ツタヤウナコトガ、申ス迄モ
ナク根本デアラネバナラヌト思ヒマス、詰
ラヌ質問ノヤウデアリマスガ、サウ云フ風
ナ立前カラ此稅制ヲ勿論立テラレタコトデ
アラウト思ヒマスガ、如何デアリマスカ
テハ困ルケレドモ、ヤハリ小出シニ稅ヲ取ッ
テ行クト云フ手段ニ對シテハ、大體其方ガ
本當ダラウト思フノデアリマス、隨テソコ
ニ吾々ガ考ヘナケレバナラヌコトハ、小出
シニ、部分的ニ、斯ウ云フ風ニ吾々ガ何回
ニドウスウシヨウト云フノデナク、地道ニ
リ、今回ノ稅制ヲ動カシタ考へ方ハ、派手
ニドウスウシヨウト云フノデナク、地道ニ
リ、餘程公正ニ考ヘナケレバナラヌト私
ハ感ジタノデアリマス、特ニ此稅デ一人ノ
トノ負擔ガ、最初ノ個人ノ場合ニ於テハ全
然違フ、是ハ左ニ行ケバ餘計取ラレ、右ニ
行ケバ少ク取ラレルト云フ風ナ結果ニナル

カト云フヤウナ——例ヘバ最初ニ御非難ナ
サレマシタヤウニ非常ニ分リニクイシ、之
ヲ一本ニシタラドウカト云フヤウナコトニ
付テ、或ハ見方ニ依ツテハ私共ハ少シ卑怯デ
アルト言ハレルカモ知レマセヌガ、是ハ私
ハ見方ガ違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、今ノ
經濟社會ガ一本デ行ケナイヤウナ、產業ニ
面ニ於テモ、サウ云ツタ非常ニ混然雜然タル
形ニ在ルノダカラ、是ハ一本デ行ケナイノ
デヤナイカ、隨テ課稅スルニ當リマシテモ、
大變此委員會デ流行ツタ言葉デアリマスガ、
アノ手、此手ト云フヤウニ、地味ノ地味ヲ
行キ過ギタヤウニモ思フ程、堅實ナヤリ方
ヲ考ヘマシタノデアリマス

○愛野委員 私ハ分リニクイト云フ點ニ於
テハ困ルケレドモ、ヤハリ小出シニ稅ヲ取ッ
テ行クト云フ手段ニ對シテハ、大體其方ガ
本當ダラウト思フノデアリマス、隨テソコ
ニ吾々ガ考ヘナケレバナラヌコトハ、小出
シニ、部分的ニ、斯ウ云フ風ニ吾々ガ何回
ニドウスウシヨウト云フノデナク、地道ニ
リ、餘程公正ニ考ヘナケレバナラヌト私
ハ感ジタノデアリマス、特ニ此稅デ一人ノ
トノ負擔ガ、最初ノ個人ノ場合ニ於テハ全
然違フ、是ハ左ニ行ケバ餘計取ラレ、右ニ
行ケバ少ク取ラレルト云フ風ナ結果ニナル

シ、ソレカラ今日ノ時勢カラ考ヘテ見マス
ト、先程私ガ全面的ニ漠然ト申上ガマンタ
ヤウニ、生産ノ擴充ト云フモノハ重要ナ問
題デアル、生産ノ擴充ト云フコトハ、個人
ト法人組織ト云フ問題カラ言フト、法人組
織ノ方ガヤリ宜イ、特ニ個人ノ場合ハ帳簿
ノ整理トカ、何トカ云フ風ナコトモ出來兼
ネルヤウナ狀況デアリマス、ソレデ特ニ今
中小工業者ハヤツテ居リマスガ、之ヲ法人
組織ニスルト云フノハ、或ル意味カラ言フ
ト、生産擴充ノ投資ト見テ差支ナイト考ヘ
マスガ、此場合ニ於テ組織ヲ變更シタモノダ
ケガ餘計ニ税ヲ取ラレルヤウナ形ニサレタ
ノハ、ドウ云フ意味デゴザイマスカ、其點
ヲ一應伺ツテ置キタイ

二於キマシテハ、法ノ精神ニ背クヤウニナ
リマスノデ此意味ニ於キマシテ、斯様ナ規
定ヲ設ケタ譯デゴザイマス、寧ロ之ニ依ツテ
均衡ヲ得タイ、斯ウ云フヤウニ考ヘタ次第
デアリマス

ツ伺ヒタイ

○大矢政府委員　此規定ヲ設ケマシタ趣旨
ヲ御説明申上ガタイト思ヒマス、是ハ決シ
テ個人企業ヲヤツテ居タモノガ法人企業ニ
直スト云フ場合ニ、脱税ノ爲ニヤルモノナ
リト云フ色眼鏡ヲ以テ、總テヲ是デ追求シ
テ行カウト云フ趣旨デヘゴザイマセヌ、御
承知ノ通り營業収益税ハ、原則トシテ前年
ノ實績ニ基キマシテ其年分ヲ決定シテ居ル
ノデゴザイマス、長ク是ガ營業ヲ繼續シテ
居ル場合ニハ、毎年々々一年後レニ實績デ
課稅シテ行カレルカラ、其間ニ毫モ負擔ノ
増減ト云フコトナク、自然ニナダラカニ行
クノデゴザイマスガ、最近經濟界ガ好況ニ
ナルト共ニ、或年ニ非常ニ利益ガ增加スル、
又其翌年モ利益ガ增加スルト云フヤウナ例
ガ多ク出テ來タノデゴザイマス、サウ云フ
モノノ中ニ、或年ノ所得決定後、翌年所得
決定前ニ個人ノ營業ヲ廢メマシテ法人組織
ニ致シマスト、其年ニ於テハ個人トシテハ
營業ノ實體ガナイト云フノデ、營業収益稅
ノ課稅ヲ受ケマセヌト同時ニ、法人ニナリ
マスルト實績課稅ニナリマスルカラ、其第
一次ノ事業年度ノ終了シタ後デナケレバ營
業収益稅ノ課稅ガ出來ナイ、斯ウ云フ事ニ
ナリマス、尙ホ具體的ニ例ヲ擧ガマスルト、

昭和十二年分ノ營業ノ純益ガ、前年ハ一萬圓ノ實績ガアツタ爲ニ一万圓トシテノ決定ヲ
受ケタ、然ルニ十二年中非常ニ利益ガ多カッタ爲ニ三万圓ニナツタ、其儘營業ヲ繼續シテ
行ケバ十三年度分トシテハ三万圓ノ利益ノ課税ヲ受クベキモノヲ、十二年ノ十二月ニ
個人ノ營業ヲ廢メテ法人ニナルト、十三年ニハ課税ヲ全然受ケナイノデアリマス、營
業ノ實體ハ、個人ハ營業ヲシテ居リマセヌカラ、營業収益稅ノ課税ハ受ケナイ、法人
ハドウナルカト言ヘバ十二月ニ事業ヲ開始シタカラ、年二期ノ事業年度ナラバ翌十三
年ノ五月、年一回ノ事業年度ナラバ十三年ノ十一月ヲ經過シタ時デナケレバ、營業収益
稅ノ課税ヲ受ケナイ、即チ十二年ニ付キマシテ三万圓ノ利益ガアツタニ拘ラズ、一万圓
ダケニ付テ個人トシテノ決定ヲ受ケテソレデ濟マシ、アトノ二万圓ハ全然課税ヲ受ケ
ナイデ濟マス、斯ウ云フ結果ヲ來スノデゴザイマス、是ハコ、數年來ノ實績ヲ見マス
ルト、之ニ該當スルヤウナ場合ガ度々起ツテ來ルノデゴザイマシテ、一般ノ個人ノ營業
ヲ續ケテ行ク者トノ關係上、負擔ガ著シク不均衡ニナルノデゴザイマスカラ、或ル程
度以上利益ガ增加致シマシテ、サウシテ今申上ゲタ狀態ニ當嵌マルヤウナ場合ニハ、

云フ趣旨デゴザイマシテ、是ハ零碎ノ一割
二割位ノ増ガアル場合ニマデモ追求シヨウ
組デハ、其年分ノ決定實績ニ對シテ、少クタ
トモ五割以上ノ増差益ガアル、場合ニソレ
ヲ法人組織ニ變更シタガ爲ニマル／＼利益
ニ對スル課稅ヲ逃レテシマフト云フ者ニ對
シテハ、個人トシテ引續キ營業ヲ繼續シテ
居リマス者トノ權衡上、其増差額ニ課稅ヲ
シヨウ、斯ウ云フ積リデゴザイマス、敢テ
脱稅トハ申シマセヌガ、負擔ノ不均衡ヲ是
正スル意味デゴザイマス

モ知ラヌガ、遅レルノハ成程個人ヨリ遅レルカモ知レヌガ、見逃ス所ハ一箇所モナイ、今ノ前年度ノ純益ニ若シ政府ガ斯ウヤッテ居ル、今迄デモ一月、二月三月頃ニ營業ヲ開始スレバ、豫算課税ダト——吾々ハ現ニヤラレタコトガアルガ、豫算課說ダト言ッテ居ル、ソレカラ今度、前年度ノ實績ニ依ッテ營業収益稅、所得稅ハ取ルノデアルカラ——ソレハ單ニ參考ニ供スルト言ウテ居ルノデアルガ、今ノヤウニ昨年マデ個人デヤツテ、本年ノ一月カラ法人ニ變ヘタ場合ニハ、ヤハリ法人ノ始マリカラ終ヒマデノ總收入金カラ總支出金ヲ控除シテ課稅ヲスルカラ、今年ノ分モ稅ヲ免レルト云フ意味ニチラズ、前年度ノ分ハ稅ヲ免レルカト云フト、前年度ハ既ニ前年度ニ納メテ居ル、サウスルト、ツモ免レル所ハナイ、アナタノ言ハレルノハスウデヤナイカ、何カ法人ノヤウナ考ヲ持ツテオヤリニナッテ居ルノデヤナイカ、法人ナラバ一期モ免レテハイカヌガ、個人ハ今年ノ稅金ハ今年納メル、納メル稅ノ基本ハ前年ノ實績ニ依ッテ納メル、去年ノヲ取ルノデヤナイ、今年ノヲ取ル、今年ハ今年デ個人カラ取ツテ居ル、法人ニ變レバ法人ハ一月一日カラ取ルノダカラ、今ノ御説明デ

○大矢政府委員 營業収益稅ハ原則トシテ、
前年ノ實績ニ依ツテ其年分ヲ課稅シテ居ル
ト云フノハ全ク御説ノ通リゴザイマス、
是ハ法律デサウナツテ居リマス、但シ一方ニ
於テ、從來モ減損更訂ノ規定ガアリマシテ、
其年分ノ所得ガ一年經ツテ著シク減ツタ場合、
半分以上減ツタ場合ニハ更訂シテ減ラシテ
ヤツテ居ルノデス、今度ノハ其逆ダト御考下
サツテ宜イト思ヒマス、今御話ヲ伺ツテ居リ
マスト、十三年分ニ付テハ法人ガ納メルノ
ダ、ダカラ個人ハ何モ十三年分納メナイカ
ラト云ツテ、決シテ逃レルコトハナイヂヤナ
イカ、ソレナノニ十三年分トシテ取ルノハ
寧ロ二重ニ課稅スルノヂヤナイカト云フ風
ニ一寸伺ヒマシタガ、此規定ハ十三年分ト
シテ個人ニ課稅スルノデハナクテ、十二年
分トシテ其増差額ヲ追加シテ課稅シヨウ、
斯ウ云フ趣旨デゴザイマス、十三年度デヤ
アリマセヌ、丁度減損更訂ノ場合ト逆ナ課
稅ヲショウ、斯ウ云フ積リデゴザイマス
○森田委員 モウ一つ能ク分ルヤウニ言ヘ
バ、逆ニト云フコトハ私ノ頭ニ入り兼ネテ
居ルノデスガ、減損更訂ヲヤツテ貰フカ貰ハ
ヌカト云フコトハ、今年決メラレタモノヲ

利益ガ減レバ減損更訂ヲヤル、所ガ今ノ話
ハスウヂヤアリマセヌカ、昭和十二年度ニ
個人トシテ營業シテ儲ケテ居ル、然ルニ十
三年ニナレバ法人ニ變ヘタ、ソレナラバ十
二年ノ分ノ儲ケニ對スル課稅ガ出來ヌカラ
此條文ヲ設ケタノダ、斯ウ言ハレルヤウニ
私ハ聽イタ、ソレナラバ違フ、十二年度ハ
十二年度デ稅ヲ納メテ居ルガ、唯課稅標準
ノ目的ハ前年度ノ實績ニ、所得稅デモ營業
收益稅デモ依ルノデアル、ソレハ前年度ノ
實績ニ依ルケレドモ、十二年度ノ稅金デア
ル、十二年度ノ稅金ヲ十二年度ニ取ルノデ
ハナイ、是ハ誤解ノナイヤウニシテ戴キタ
イ、今ノアナタノ御考ノヤウニヤルト二重
ニナリハシマセヌカ、十二年度ニ個人ハ課
稅シ、又法人ハ一月一日ヨリ六月三十日カ
十二月三十一日カノ決算期ニ又溯^ツテ課稅シ
テ行クコトニナルト思フガ、是ガ二重ニナ
ラナケレバ、ナル方法ハナイト思フカラ御
尋シタノデス

キハ其ノ超過額ハ之ヲ所得金額ノ決定ニ付

脱漏アリタルモノト看做シ云々」斯ウアリ

マシテ、今ノ御説ニ依リマスレバ、十二年
度ノ所得決定ニ脱漏アリタルモノト見ル、私ハ之
決シテ十三年度分ノ課税トシテヤルノデヤ

ナイノデアリマス、十二年度分ノ所得決定
ガ足リナカッタト見テ、其増差額ヲ十二年度
分ニ加ヘテ課税スル、斯ウ云フ趣旨デゴザ
イマス

○森田委員 サウスルトスウデスカ、今ノ
御説明デ一寸分リ掛ケタノデアリマスガ、
營業収益税ナラ營業収益税ガ——十二年度
ニ於テ一万圓ノ収益額デアッタ、然ルニ實績
ヲ調べテ見タ所、一万二千圓アル、仍テ此
二千圓ニ課税ヲ加ヘル、サウ云フノデアリ
マスカ

○大矢政府委員 左様デゴザイマス

○森田委員 分リマシタ

○愛野委員 私ハマダ此税ノコトハ能ク分
リマセヌガ、私方暇ニ計算シタモノヲ一ツ
聞イテ戴キマス、甲ナラ甲ノ營業所得デス
ガ、是ハ収益税法ノ第六條ニ依リ、十二年
度ヲ二万圓ナラ二万圓ノ所得デ決定サレ
テ、十三年度ニ行ツテ法人ヲ組織シタル場
合、十二年度ノ實績ハサウ云フヤウナ場合
ハドウ云フ風ニナリマセウカ、一寸伺ヒタ

イト思ヒマス

○大矢政府委員 十二年ニ二万圓ト云フ決

定ヲ受ケマシテ、實績モ亦二万圓ニナル場
合ニハ、何等此規定ノ適用ヲ受ケルコトハ

ゴザイマセヌ、先程申上ゲタ通り、其ノ二
万圓ニ對シ實績ガ大體五割以上モ增加シタ
場合ニ適用シヨウ、斯ウ考ヘテ居リマスノ
デ、十二年度分トシテ二万圓ノ決定ヲ受ケ
タガ、實際ハ三万圓以上五万圓ト云フ利益
ガ學ツタ、翌年ニナツテ五万圓ノ課税ヲ受ケ
ルノハ困ルカラト言ツテ十二月ニ法人ニ變
ヘルト云フ例ガ實際アル、サウスルト増産
額ハマルヽヽ課税ヲ逃レテシマフ、ソレハ
個人トシテ引續キヤツテ居レバ、翌年デハ五
万圓デ課税ヲ受ケテ居ルノデアリマス、ソ
レトノ權衡上、ドウモソレデハ面白クナイ
ト云フノデ是ダケ課税シヨウ、斯ウ云フノ
デアリマス

○愛野委員 其點ヲ實ハ聽キタイト思ツテ
居タノデアリマシテ、是デ私ノ質問ハ打切

リタイト思ヒマス、併シ此點ハ尙ホ一ツ研
究シマシテ、若シ疑問デシタラ御伺シタイ
ト思ヒマスガ、是デ一先ヅ打切りマス

○西村委員 只今ノ愛野君ノ御質問ニ牽聯
シテ一ツ御尋致シタイト思ヒマス、只今愛

野君カラ物價騰貴ノ問題デ米國トノ關係ノ
コトヲ御尋ニナツテ居リマシテ、最モ其點ニ
造詣ノ深イ太田次官カラ御答ニナツタノデ
アリマス、其際ニドウモ政府ハ洵ニ卑怯デ
アルト云フコトヲ御漏ラシニナツタ、私ハ之
ゴザイマセヌ、十二年度分トシテ二万圓ノ決定
ニ關聯シテ一ツ御尋致シタイト思ヒマス、
只今我國ノ物價騰貴ハ相當深刻ニ進ンデ居
ルヤウニ思フ、殊ニ昨今又物價騰貴ノ鉢先
ヲ示シテ來タヤウニ思ヒマス、本來私ハ、
本會デモ一寸御尋シテ置イタノデスガ、今
日ノ我國ノ物價騰貴ハ、景氣ガ非常ニ好ク
テ騰貴シテ居ルノデナイト云フコトハ御認
メデアラウト思ヒマス、御認メデナケレバ
思フノデアリマス、是ガ對策トシテ、或ハ
市場ノ通貨ノ膨脹工合ヲ能ク御覽ニナツテ、
收縮シテ居レバ——通貨ガ缺乏シテ居レバ
通貨ヲ注ギ込ム、或ハ多少膨レテ來レバ小
口債券或ハ大藏證券ナドデ、吸上ゲル、ソ
料ノ不足カラ來テ居ルモノダト考ヘルノデ
アリマス、ドウモ原料ノ不足カラ來ル物價騰
貴ハ惡性ノモノデアルト云フコトハ御認メ
デアラウト思ヒマス、ソコニ近頃ノ增稅ガ
多少響キ、又更ニ大キナル所ノ公債ガ響イ、
非常ニ惧レル、現在ノ大藏省ノ御方ハ、大
臣ニシテモ次官ニシテモ、何レモ、其烟ニ
テ來タノデアラウト思ヒマス、私ハ將來ヲ
斯ウ云フコトニナツテ居レバ、ドウシテモ生
産力ヲ微發シテ行クヨリ外途ガナイノデア
リマス、大藏大臣ガ二百億宜シイ、三百億
宜シイト言ハレテモ、斯ノ如ク有ルモノヲ
當ニシテ賄ウテ行クト云フコトニナレバ、
遂ニ足ラナクナツテシマッテ困ル、ソコデ行
詰ル、是ハ當然ノコトデアル、日本ノ國ハ

コトヲ御尋ニナツテ居リマシテ、最モ其點ニ

行ガ之ヲ引受ケルトナレバ之ニ對シテ通貨

ガ膨脹シテ、ドウシテモ惡性ノ「インフレー
ション」ガ起ラザルヲ得ナイト私ハ思ヒマス

ル物價騰貴ノ所ヘ、其鉢先ノ閃キガ少シク
來タ爲ニ、モウ既ニ騰ッテ居ル、本當ニ通貨
ノ膨脹シタコトガ實質的ニソコニ示サレル
ナラバ、非常ニ大キナコトニナリハセヌカト
テ騰貴シテ居ルノデナイト云フコトハ御認
メデアラウト思ヒマス、御認メデナケレバ
思フノデアリマス、是ガ對策トシテ、或ハ
市場ノ通貨ノ膨脹工合ヲ能ク御覽ニナツテ、
收縮シテ居レバ——通貨ガ缺乏シテ居レバ
通貨ヲ注ギ込ム、或ハ多少膨レテ來レバ小
口債券或ハ大藏證券ナドデ、吸上ゲル、ソ
コニ種々ノ巧妙ナル策ヲ用ヒテ、遂ニ長期
ノ公債ニ乘移ラサレルデアラウ、斯ウ信ジ
テ居リマス、儲アドレニシタ所デ、今ノ日
本ノ戰爭ノ財源ト云フモノハ公債ト增稅、
斯ウ云フコトニナツテ居レバ、ドウシテモ生
産力ヲ微發シテ行クヨリ外途ガナイノデア
リマス、大藏大臣ガ二百億宜シイ、三百億
宜シイト言ハレテモ、斯ノ如ク有ルモノヲ
當ニシテ賄ウテ行クト云フコトニナレバ、
遂ニ足ラナクナツテシマッテ困ル、ソコデ行
詰ル、是ハ當然ノコトデアル、日本ノ國ハ

對外的ニハ決シテ行詰ラナイト吾々斷言シ

置キタイト思ヒマス

得マスガ、若シ行詰ラナイトシテモ、ソコニ休養ヲ十分ニ與ヘナケレバナラヌト思フ

ノデアリマス、少クトモ財源ヲ涵養スル必

要ガアラウト思フノデアリマス、之ニハドウシテモ我國トシテハ輸出ノ振興ト云フコトヲヤルヨリ途ガナイ、此處ニ止メヲ刺ス

ノデハアルマイカ、然ニ卑怯デアルト只今仰セニナルガ、餘リ輸入ヲスル上ニ於テ

卑怯過ギハシナイカト思フノデアリマス、

求償主義ノ貿易、國際貿易ノ狀況カラ考ヘ

テ見ルト、ドウモ此處ニ我國ノ行詰リガ生

ズルノデハナイカト思ヒマス、ソレデ此處

ノ卑怯ト云フ意味ハ非常ニ手堅イト云フ意

味ニ於テ吾々敬服スルノデアリマスガ、ド

タノガ私ノ趣意デアリマス、物價問題ニ關

聯シ、且ツ爲替對策等ガ原料ノ輸入ナドニ付テ

合セマシテ、政府ガ輸出ヲ獎勵スベキニ拘

ラズ、爲替對策等ガ原料ノ輸入ナドニ付テ

卑怯デハナイカ、斯ウ云フ御言葉デゴザイ

タノデアリマスガ、惡性「インフレ」ガ起ル

ト云フコトハ物ト金トノナダラカナ流レガ

私ハ下手ナ醫者ニ注射ヲシテ貰フヨリハ、注

射ヲシテ貰ハナイ方ガ宜カラウト思ヒマス、

斯ウ云フ場合ニハ寧ロ注射ヲシテ貰フヨリハ、

人ノ生命ガ全ウスルノデハアルマイカ、斯

ノ如ク極端ニ考ヘルノデアリマス、尤モ名

手ノ注射デアレバ其限リデハアリマセヌガ、

此邊ニ對スル名手ノ御見透シヲ一ツ承ッテ

ノ御示シノ通り、對外價値即チ爲替相場ノ關係カラ言ヒマスレバ、茲ニ爲替ノ一志ニ

キマシテ、愛野サンノ御質問ニ對シテ、思

切ツテバラリズントヤルヤウナ稅制改革デ

モスレバ宜イガ、サウ行クダケノ勇氣ヲ持

タヌト云フヤウナ意味ニ於テ、稅制ニ付テ

卑怯ト云フ言葉ヲ使ヒマシタガ、言葉ガソ

モ申シマシタ通り、經濟社會ノ實體ニ「アジャ

ラモ申シマシタ通り、昨年ノ下季アタリ迄

ハマダソレ程デモアリマセヌデシタガ、十

三年ニナリマシテカラハ、軍需品ト言ハズ、

民需品ト言ハズ、個々ノ品物ニ付キマシテ一

定ノ計畫ノ下ニ是ダケヲ輸入シヨウ、又は

ダケ「クレヂット」ノ餘地ガアレバソレモ考

ヘ行カウ、サウ云フ立前ノ下ニ作ッテ居ル

ノデゴザイマスガ、隨テ作ラレタモノハ、

第一義ニ軍需品ヲ見ル、又輸出ニ必要ナ原料

ト云フモノヲ見ルト申シマシテモ、ドウ致シ

マシテモソチラノ方ニ壓迫ト申シマスカ、

輸入ノ許可ガ少シクキツク參ッテ居ルコトガ、

御指摘ナサレタ點デハナイカト思ヒマス、勿

論、求償主義ノ關係モ御言葉通リデゴザイ

マスガ、爲替ノ關係ニ付キマシテハ、今申シ

タ計畫ニ行クコトハ、色々ナ場合ニ於テ事業家

ナリ各方面ノ方々ニ御迷惑ヲ掛ケテ居ルコト

ト思ヒマスガ、其考へ方ハ勿論輸出ヲ進メテ

行クト云フコトデ、爲替ノ決済力ヲ強メルコト

デゴザイマス、併ナガラ茲ニ一定ノ計畫ノ

下ニ買ヒ得ル力ト云フモノヲ考ヘマス時ニ

於キマシテハ、ドウシテモ軍需品ト民需品

トノ關係ニ於テ一ツノ限界ガ作ラレルコト

ニナルノデアリマス、唯其限界ノ作ラレ方

ガ、平和產業ニ關係ノアル御方ニ強ク響ク

ノデハナカラウカ、個々ノ問題ニ付キマシ

テハ西村サン御指摘ノ通り、私共御同情ニ

堪ヘナイ點ガゴザイマスガ、全體トシテド

レダケ買ヒ得ル力ガアルカ、斯ウ云フ立前

ノ下ニ作ラレマシタ計畫經濟ト申シマスカ、

計畫的ナ「プラン」ニ對シマシテハ、私共ハ決

シテ輸出貿易ト云フモノヲ輕ク見ルトカ、

又原料ニナル物ガ少クテ宜イトカ、此點ニ

付テハ決シテ卑怯ナ考ヲ持ッテ居ラナイノ

デアリマス、私ノ説明ノ仕方ガ拙カッタノデ

アリマスガ、ドウゾ左様ナ意味ニ於テ御諒

解ヲ願ヒタイト存ジマス

○西村委員 決シテアナタノ言葉尻ヲ捉ヘ

テ、アナタヲ卑怯ト申シタノデハアリマセ

ヌカラ御諒承願ヒマス、ドウモ今ノ我國

家財政ノ上カラ、軍需品ニ主トシテ取ラレ

ル結果、苦シイ立場ニ居ラレルト云フコト

此處デハ深ク申上げマセヌガ、或ル國ノ如

キハ一對四位ノ割合——此三月ノ末マデハ

一對三ト云フヤウナ工合ニ日本カラ輸出ス

ル品物ガ減ル、例ヘバ「イラク」ナドニ對シテ

モ、向フノモノヲ輸入スルコトヲ許サナイ、

是デ行止ツテ居ル、斯ウ云フノガアル、コン

ナ例ヲ私ハ相當知ツテ居リマスガ、ドウシテ

モスウ云フ立場ニナツテ來レバ、大藏省ト商

工省トガ「コンビ」ニナツテ、此經濟界ヲ突

破シナケレバナラヌモノト考ヘテ居リマス、

只今私ガ申シマシタコトニ付テ、此處デ決

シテ議論ヲスル考デハアリマセヌカラ、ド

ウカ大藏省ト商工省トガ能ク「コンビ」ニ

ナツテ、此財政上ノ危機ヲ突破サレルヤウ

ニ、今一層ノ御力添ヲ戴クヤウニ希望致シ

マシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○太田政府委員 大變御鄭重ナ御忠告、有

難ウゴザイマシタ、今ノ時局ト云フモノハ

役人ノ一人決メデ行クモノデハゴザイマセ

ズ、各位ノ色々御注意ヲ戴キマシテ足ラザ

ル所ヲ補ツテ、時局ヲ凌イデ行カナケレバナ

ラスト思ヒマス、ドウゾ個々ノ問題ニ付キ

マシテモ御遠慮ナク御忠告ヲ願ヒタイト思

ヒマス、申ス迄モナク貿易ノ實體ニ付テハ

商工省ニナツテ居リマスガ、金ノ關係ニ付テ

ハヤハリ爲替ト云フ立前ニ於テ大藏省ガ管

理シテ居ル、雙方ガ心ヲ協セテ御趣意ニ副

フヤウニ進ミタイト考ヘテ居ルノデアリマ

ス
○愛野委員 先程ノ問題ニ付テモウ一遍繰

返スノデハアリマセヌガ、要スルニ個人ノ

場合ト、個人カラ法人ニナツタ場合トヲ比

較致シマシテ、極端ニ言へバ個人ノ方ガ儲

カル——税ヲ少シ出シテ宜イト云フ風ナコ

トニ結論ハナル譯デアリマス、サウナツテ來

レバ現在ノ大藏省トシテハ、結局個人ノ方

ヲ獎勵スルヤウニ考ヘテオ居デニナルト承

知シテモ宜イ譯デスカ、更ニ私ハ大體斯ウ

云フ風ナ時局デハ、成程擔稅力ガアレバ取ッ

テモ宜イト取ラケレバイケナイト云フ譯

デスケレドモ、根本ハ法人ニ直スヤウナ人

ハ企業家デアツテ、更ニ企業ヲ擴充セネバナ

ラストカ、法人ニ直ス爲ニ個人ノ使用人其

他ニ手當ヲセネバナラスト云フヤウナ場合

ガ起キテ來ル譯デアリマシテ、ドウモ特ニ

此點ダケヲ遡及サセテ、法律ノ原則ヲ破ッテ

マデ進メテ行クト云フコトハドウカト私ハ

考ヘルノデアリマス、此點ヲ一つ御伺シタ

考ヘルノデアリマス、此點ヲ一つ御伺シタ

イト思ヒマス

○大矢政府委員 個人企業ヲ法人企業ニ改

メル、組織ヲ變更スル理由ハ色々アルダラ

ウト思フノデゴザイマシテ、之ヲ稅制ノ上

デ阻止シヨウ、或ハ又獎勵シヨウト云フ考

ハ毛頭ゴザイマセヌ、唯租稅行政ヲ執行ス

ル上ニ於テヘ、一般ノモノトノ均衡ヲ取ル

ト云フコトガ一番大事デゴザイマス、此見

地ニ立チマシテ最近數年ノ狀況ヲ見マスル

ト、今度提案ヲ致シマシタヤウナ規定ヲ

必要トル事例ガ割合ニ多イノデゴザイマ

ス、決シテ之ヲ以テ個人企業ヲ法人企業ニ

スルノヲ阻止スルト云フ考ハ毛頭ゴザイマ

スルノヲ阻止スルト云フ考ハ毛頭ゴザイマ

セヌ

○愛野委員 阻止スルト云フノデナク、結

局個人ノ場合ガ好イト云フ 結論ニナツテ來

ル譯デスネ、同ジヤウナ利益ヲ十三年度ニ

舉ゲテ行ケバ、個人ノ場合ノ方ガ稅金ガ安

イ、サウ云フ風ニヘナラヌノデスカ

○大矢政府委員 個人ノ企業ヲ其儘ニ繼續

シテ行キマスレバ、前年ノ實績ニ依ツテ其年

ノ分ノ課稅ヲ受ケマス、先程來例ヲ設ケテ

説明致シテ置キマシタ通り、十二年分一万

圓ノ決定ヲ受ケタガ、一年經過シテ見タラ

三万圓ノ利益ガアルト云フ場合ニハ、個人

ノ企業其儘ヲ繼續シテ行ケバ、十三年ニハ

三万圓ノ決定ヲ受クベキデアリマス、然ル

ニ途中デ組織ヲ變更シタガ爲ニ一万圓デ濟

シヨウ、是ダケノ越旨デアリマシテ、引續

角砂糖等デアリマシテ、百斤ニ付キ十一圓、

ス

○高橋委員長 愛野君宜シイデスカ

○愛野委員 宜シウゴザイマス

○東條委員 私ハ極ク細カイコトバカリ、

少シ御伺シタイト思ヒマス、砂糖消費稅ノ

増徵ノ歩合ガドンナコトハナツテ居リマセウ

カ、ソレヲ承リタイ

○松隈政府委員 砂糖消費稅ノ增徵ハ、支

那事變特別稅法案ノ第九條ニ規定シテ居リ

マスガ、第一種甲、樽入黑糖及ビ樽入白下

糖デゴザイマスガ、是ハ百斤ニ付キ一圓三

十錢トナツテ居リマシテ、其增徵金額ハ三十

錢デ、割合ニ致シマシテ三割程デゴザイマス、

ソレカラ第一種ノ乙ハ其他ノモノデアリマ

シテ、百斤ニ付キ三圓四十錢、其增徵稅額

ハ七十錢、增徵割合ハ二割五分九厘程ニナッ

テ居リマス、第二種、砂糖色相和蘭標本第

二十二號未滿ノ砂糖デアリマスガ、是ハ百

斤ニ付キ七圓二十錢デ、增徵稅額ハ七十錢、

其增徵割合ハ一割八厘程デアリマス、第三種、

即チ砂糖色相和蘭標本第二十二號以上ノ砂

糖、是ハ百斤ニ付キ八圓七十錢ト云フ稅

率デ、增徵稅額ハ七十錢、增徵割合ハ八分

八厘程ニナツテ居リマス、第四種ハ冰砂糖、

増徴税額ハ一圓デ、増徴割合ハ一割デゴザ
イマス

○東條委員 糖蜜、糖水ナント云フノガア
リマスガ、ソレハドウデスカ

○松隈政府委員 先般改正税率一覽表ト云
フノヲ印刷シテ差上ゲマシタ、ソレニ増徴
割合ガ、其表ノ九頁ニ載ッテ居リマスカラ、
ソレデ御覽ヲ願ヒマス

○東條委員 私ハ砂糖ノコトハ素人デゴザ
イマスガ、サウ致シマスト増徴ノ割合ハ比
較的ニ惡イモノニ對シテ多ク掛ッテ居ルヤ
ウニ思フガ、サウ云フ風ニナリマスカ

○大矢政府委員 此現行税率ニ對スル割合
ヲ見レバ、仰セノ通り、第一種ノ甲ノモノ、
及ビ第一種ノ乙ノ方ニ少シ強クナッテ居リ
マス、併シ是ハ別ニ第一種ノ砂糖ニ重ク課
稅シヨウト云フ趣旨デハゴザイマセヌ、大
體此砂糖ノ中樞ヲ成スモノハ第二種、第三
種ノ砂糖デゴザイマシテ、此邊デ七十錢程
度ヲ上ゲヨウ、ソレカラ第一種ノ乙モ、相
場ノ開キカラ云ヅテ大體同ジヤウナ程度ニ
上ゲタラ宜カラウト云フノデ七十錢上ゲタ
次第デゴザイマス、第一種ノ甲ノ黒糖及ビ
白下糖ハ、從來ノ實績ニ微シテ見マスル
ト、ヤハリ此第一種糖、第三種糖ト云フ方
面ノ砂糖ノ相場ト牽聯シテ相場ガ動イテ來

テ居リマシテ、過去十箇年程度ヲ平均シテ
見マスルト、此第二種糖ノ相場ニ對シマシ
テ六割八分内外ノ價格ヲ維持シテ居ルノデ
ゴザイマシテ、隨テ此第二種糖ガ今回七十
フルト、四十八錢程度値ガ上ル譯デハアリ
マスガ、下級ノ砂糖デモゴザイマスシ、地
方ノ農民ノ多ク使用スルモノデゴザイマス
カラ、是等ノ點モ考慮致シマシテ、三十錢
引上ニ致シテ居リマス、ソレデ稅ニ對スル
モ、其市場價格ノ點カラ致シマスト、幾分
負擔ノ引上ノ程度ハ緩和サレテ居ル次第デ
アリマス

○東條委員 ソレカラ入場稅ノコトデ一寸
伺ヒタイト思ヒマスガ、此入場料ニ免稅點ヲ
設ケラレタ御趣旨ハ、是ハ何ト申シマスカ、
大衆ノ娛樂ニハ課稅ヲシナイト云フ立前ダ
ラウト思ヒマスガ、入場稅ニ免稅點ガ設ケラ
レルコトハ、入場稅ガ課セラレルト云フコ
トヲ聞イテ、是ハ何デモ大阪ノ實例ラシイ
ノデスガ、入場稅ガ愈々實施サレルヤウニ
ナッテカラ入場料ヲ下ゲタノデハ餘リニ見エ
趣旨カラデゴザイマス、大阪方面ニ於テハ此
法案ノ議會ニ提出サレタ後ニ於テ、入場料ノ
引下ヲヤツテ免稅點以下ニ引下ゲ、其爲ニ入

十五錢ニシテ營業ヲ始メタ、所ガソレガ人氣
ヲ呼ンデ非常ニ客ガ澤山入ルト云フコトデア
スルト、結局假ニ十九錢取ルト云フコトニ
ナルト稅ヲ掛ケラレナイン、二十錢以上ノモ
ノガ稅ガ掛ルト云フコトデ、今迄二十錢見
當デヤツテ居ッタモノハ皆十五錢ニ下ゲテシ
マフ、サウスルト四分ノ一モ下ゲカラ營業
ガ成立タナイカト云フニ、既ニ値段ガ下ル
カ、或ハ映畫ノ數ヲ減ストカ、或ハ主ニナ
ルモノダケ相當ノモノヲ入レテ、アトハ時
間繫ギナ非常ニ安イモノヲ使フト云フヤウ
ナコトヲシテモ、觀覽スル者ノ方ハ安クナッ
タノダカラ仕方ガナイト云フテ我慢スル、
サウスルト豫定シテ居ルヤウナ稅額ガ擧フ
ナクナッテ、免稅點以下デヤルモノバカリガ
非常ニ多クナルト云フコトニナリハシナイ
カト思ヒマスガ、サウ云フ點ヲ如何様ニ見
テ居ラレマスカ

○大矢政府委員 入場稅ニ付キマシテ免稅
ス

場料ヲ引下ゲタ所ニ對シテハ入場者ガ非常
ニ多クナッタト云フ御話デゴザイマスルガ、
是ハ實ハサウ云フ噂モ一二聽キマシタノ
デ、目下大阪稅務監督局ノ方ニ照會シテ居
リマスガ、マダ回答ハ來テ居リマセヌ、ソ
レカラ東京市内ヲ調査シテ見マシタガ、東
京市ニ於テハサウ云フ事實ハゴザイマセ
ヌ、ソレデ現在劇場、活動寫眞館等ニ對シ
覽稅ト云フモノガ課稅サレテ居ル所ガ多イ
ノデゴザイマスガ、此觀覽稅ハ大體免稅點
ヲ設ケマシテ、五錢程度ニ致シテ居ルヤウ
デゴザイマス、隨テ國稅トシテ課稅スル場
合ニ、餘リ免稅點ヲ低クスルノモ如何カト
存ジマシテ、大體二十錢程度ヲ目標ニ致サ
ウ、斯ウ考ヘテ提案シタ次第デゴザイマシ
テ、是ガ爲ニ免稅點前後ノ入場料ノ引下ヲ
ヤル、其爲ニ當初見積ツテ居タ入場稅ノ收
入ニ著シク影響ガ來ルト云フコトハ先づ心
配ハナイデヤナカラウカト考ヘテ居リマ
ス

○東條委員 尚ホ地方稅ニハ——私共ノ知ッ
テ居リマス地方デハ、一人分ノ最高ノ料金ト申
シマスカ、木戸錢トカ、中錢トカ、座席ト云
フヤウナモノヲ全部合計シタ最高何人分ト云
フヤウナ課稅ヲシテ居ル所モアリマスシ、又御

話ノヤウニ入場料ニ對シテ何割ト云フヤウニ課稅シテ居ル所モアルヤウデアリマスガ、ソレヲ若シ御調べニナッテ居リマスレコトノ表ヲ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ今一ツ伺ヒタインハ、一々徵稅ヲスル人ガ木戸番ヲスル譯ニハ行キマセヌシ、申告稅ニナッテ居リマスガ、是ハ結局現在地方稅ヲ取ヅテ居リマス遊興稅ノヤウニ、是ハ徵稅ヲシマス者ガ徵稅ヲシナケレバナラヌ義務ガナイノデ、非常ニ難カシイ關係モアリマスガ、結局妥協稅ニナッテシマフ、實際ノ入場者ニ課スルト云フコトデナクテ、妥協稅ミタイナコトニナッテシマフノヂヤナイカト思ヒマスガ、此點ニ付テ正確ニ入場稅ヲ徵收シ得ルト云フ御見込デアリマスルナラバ、ソレヲドウ云フ手段デ正確ニ取ルノカト云フコトヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

妥協ト申シマスカ、サウ云フ風ニシテ徵牧シテ居ル向モアルヤニ聞イテ居リマスルガ、此度國稅トシテ入場稅ヲ起シマシタ上ハ、斯カル請負制度ト云フヤウナコトハ取ラヌ積リデゴザイマス、監督ノ方法モ、帳簿作製ノ義務モ命ジテアリマスルシ、帳簿検査ノ權限モ稅務官吏ニ與ヘラレテ居リマスルシ、或ハ切符ノ取締ヲ適切ニヤッテモ、或ル程度マデハ取締ガ出來ルヂヤナイカト思ヒマス、施行ニ當リマシテハ十分周到ナル用意ヲ以チマシテ、遺憾ナキヲ期シタイト存ジテ居ル次第アリマス

○東條委員 餘リ細カイコトハ申上ゲタクナイノデスガ、正確ニ取ルト云フ方針デオ居デニナリマスルト、是ハ非常ニ難カシイノデ、興行ノ種類ニ依リマシテハ、實際ニ素人デハ計算ノ分ラナイヤウナモノモアル、ソレハナゼカト申シマスルト、入場券ト言ヒマスカ、木戸札ト言ヒマスカ、五十枚ヲ一ツノ標準トシテ、五十人通レバソレヲ一杯ト勘定シテ、何杯入ッタ云フゴトヲ言フノデスガ、之ニ其興行々々ニ依ッテ「ノセ」ト云フモノガ入ッテ來ル、是ハ五十枚ニ付テ六枚トカ七枚トカ、十何枚入ッテ來ル、假リニ七枚トスレバ五十枚ノ木戸札ガ來ル上ニ、七枚載セテ五十七枚ト云フモノヲ以テ

計算ヲシテ、建元ト云フヤウナ者ト其興行ヲ持ツテ居ル者トノ間ノ計算ヲスル、「ノセ」ト云フモノガ何ニナルカト云フト、地廻リノ者ノ所得ニナルトカ、何ノ所得ニナルト云フヤウナ風デ、興行經營者ノ計算ニハ加ハラナイモノニナル、斯ウ云フ工合ニナリマスルト、興行ヲ經營シタ者ニ對シテ課稅致シマスルナラバ、ソレハ其計算ニ入ラヌノデアリマスルカラ、何モ嚴密ニ調べル必要ハナイノダガ、入場者カラ取ルノダト云フ立前ノ入場稅ト云フコトニナリマスルト、ヤハリソレニハ入場料ヲ拂ツテ居ルノデアリマスルカラ、ソコカラ取ラナケレバナラヌ、スルト假ニ一枚モ胡麻化サズニ經營者ガ自分等ノ收支計算ノ上ニ載ッタ入場者ノ數ヲ正直ニ記帳シ、申告ヲ致シマシテモ、尙且ツ少クテモ一割何分ト云フモノノ入場稅ハ不當利得サレル、斯ウ云フコトニナル、サウ云フ風ナモノナドガアリマシテ、之ヲ正確ニ取ル積リダト仰セラレテモ、ソレハ中々ニ困難ダト思ヒマスルガ、ソレ等ノ點ニ付テ、實施サレルニ付テ餘程御注意ガ必要ダト思フノデアリマス、ソレカラ二十九條デアリマスガ、入場料ヲ免除スル場合ニ「入場料又ハ収益ノ總額ヲ慈善事業其ノ他命令ヲ以テ定ムル」云々トアリマスガ、入

場料ノ總額ト云フコトデアレバ能ク分リマスガ、収益ノ總額ト云フコトニナリマスト、是ハドウ云フ意味ニナリマスカ、入場料ノ全額デナイ、収益ト云フコトニナルト、大體一通リノ經費ヲ控除シタ殘リト云フ意味ニナリマスガ、其點ヲ一ツ伺ヒタイマス

○大矢政府委員 収益ノ總額ト云フノハ入場料ノ總額ト達ヒマシテ、例ヘバ場所ノ借賃、其他諸經費ヲ引イタ残ノコトデゴザイマス

○東條委員 是モ私ハ餘程嚴重ニ御取締ニナケレバナラナイト思フ、東京ノヤウナ都會デハドウカ知リマセヌケレドモ、地方ナドニ参リマスト、非常ニ不景氣デ中々商賣ガ旨ク行カヌト云フヤウナ場合ニ、色々ノ慈善團體ニ寄附スルトカナントカト云フヤウナ、其時ノ際物ノ旨イ名稱ヲ捉ヘテ、サウシテ寄附ト云フコトヲ看板ニシテ營業ヲヤリマス、普通ナラバ僅カシカ入ラナイモノガ、ソレガ爲ニ前賣券ナドヲヤッテ非常ニ多ク入ル、サウスルト計算ハ、普通ナラバ非常ニ安イ貨銀デ働クベキ者ヲ相當ナ貨銀ヲ拂ツタヤウナ形ニシタリ、色々致シマシテ、サウシテ慈善ヲ看板ニシテ、普通ノヤリ方デ營業スルヨリ餘計ノ收入ガ擧ルト云フヤウナ結果ニナルノデアリマスカラ、サウ云

ト、慈善ノ看板デ以テ免稅ヲ受ケル者ガ澤山出來ルト思ヒマス、此興行ナンカノコトハ普通ノ商賣ト違ヒマシテ、餘程色々ナ策ヲ以テ人ヲ集メル場合ガ多イノデアリマスハ收益ノ總額ヲ慈善事業其ノ他命令ヲ以テ定ムル目的ニ充ツル場合ニ於テハ入場稅ヲ免除ス」ト云フノハ、營業者ニ依ッテ悪用スル場合ガ多イノデハナカラウカト云フ御話デゴザイマスルガ、演劇興行等ニ付キマシテハ、警察ノ取締モ相當ニゴザイマスルシ、又此規定ノ適用ヲ受クル場合ニハ、法文ニアリマス通リ「命令ノ定ムル所ニ依リ」トアリマシテ、事前ニ所轄ノ稅務署ニ届出シメテ、果シテサウ云フ目的ノ爲ニヤルカドウカ、十分稅務署ニ於テモ注意シテ、其點手落チノナイヤウニ致シタイ、斯ウ存ジテ居ル次第アリマス

的デアルヤウニ伺ッテ居ルノデアリマス、斯
ウ云フ方法ヲ執リマシタナラバ、睡眠致シテ
居リマス砂鑛區ガ、果シテ目ヲ覺マシテ來
ルヤウナコトニナリ得ルト御考ニナリマセ
ウカドウカ、鑛山局長ノ御意見ヲ伺ヒタイ

斯様ニ考ヘテ居リマシテ、此法案提出ノ時
唯権利ヲ持ツテ居ルト云フ形式ノミヲ備ヘ
テ居ル砂礫區ノ整理ヲモ同時ニ致シタイ、
區ノ覺醒ヲ促スト同時ニ、斯ウ云フヤウナ

○小金政府委員 第二十條ノ規定ヲ設ケマ シタ所以ハ、正ニ御説ノ通リデアリマス、 砂鑛區ノ大體ノ狀況ヲ申上ゲマスト、砂金 ノ砂鑛區ニ付キマシテハ、現ニ是ト同ジ鑛 區稅ヲ課ケテ居リマス、鑛區稅トシテハ全 ク同ジ率デアリマス、ソレ以外ノ砂鑛區ト 申シマスト、大體砂鐵、砂錫、砂白金ト云 フヤウナモノガ主デアリマス、要スルニ是 等ガ沖積鑛床ヲ形成シテ居ルモノヲ砂鑛區、 ソレヲ採ル權利ヲ砂鑛權ト申シテ居ルノデ アリマス、此金以外ノ砂鑛區ノ約九五%ヘ、 砂鐵ノ鑛區ニナッテ居リマス、砂鐵ノ鑛區ノ 作業中ノモノハ、僅ニ全鑛區ノ六%位ニシカ 當ッテ居リマセヌ、此外ノ砂鑛區ハ、殆ド全 部事業ニ著手シテ居ラナイカ、又ハ休業中 ノモノニアリマス、中ニハ砂鑛權ヲ設定致 シマシテ數十年來、何モ著手モシナケレバ、 當アルヤウニ、鑛山監督局ノ方カラ報告シ タル所以ハ、正ニ御説ノ通リデアリマス、 砂鑛區ハ、一遍登錄ヲシテ置ケバ、無制限ニ 何時マデモ權利ガ存續スルコトニナッテ居ル 所デハ、砂鐵ハ最近マデ經濟的ニ之ヲ利用 スル途ガ開ケテ居ナクテ、何トカシテ之ヲ 物ニシタイト云フノデ、砂鑛區ノ鑛主ガ非 常ニ努力ヲシテモ、ドウシテモ經濟價値ガ ナカダタト云フヤウニ承知ヲ致シテ居リマス、 最近ニ於テ何カ製鍊方法ガ新ニ發見サレタ トカ、或ハズット以前歐洲戰爭ノ當時デ アリマシタガ、鐵ノ値段ガ非常ニ上リマ シタ爲ニ、輪西ノ製鐵所アタリデアレヲ 何カデ固メテ製鍊シタリシテ、ドウカス ウカ手一パイニ行クノダト云フヤウナ話 ヲ聞イタコトガアリマス、最近非常ニ鐵 ガ少クテ鐵ノ値段ガ上タト云フノデアリマ スカラ、今日ナラバ或ハ砂鐵ガ經濟的ニ價
○東條委員 私ハ鑛山ヤ鑛區ノコトハ餘リ 能ク分ラヌノデアリマスガ、砂金以外ノ砂 鑛區ハ、一遍登錄ヲシテ置ケバ、無制限ニ 鑛區ハ、一遍登錄ヲシテ置ケバ、無制限ニ 何時マデモ權利ガ存續スルコトニナッテ居ル ノデアリマスカ、ソレカラ數十年其儘ニナ テ居ルト云フ話デシタガ、私共ノ承知スル 所デハ、砂鐵ハ最近マデ經濟的ニ之ヲ利用 スル途ガ開ケテ居ナクテ、何トカシテ之ヲ 物ニシタイト云フノデ、砂鑛區ノ鑛主ガ非 常ニ努力ヲシテモ、ドウシテモ經濟價値ガ ナカダタト云フヤウニ承知ヲ致シテ居リマス、 アリマシタガ、鐵ノ値段ガ非常ニ上リマ シタ爲ニ、輪西ノ製鐵所アタリデアレヲ 何カデ固メテ製鍊シタリシテ、ドウカス ウカ手一パイニ行クノダト云フヤウナ話 ヲ聞イタコトガアリマス、最近非常ニ鐵 ガ少クテ鐵ノ値段ガ上タト云フノデアリマ スカラ、今日ナラバ或ハ砂鐵ガ經濟的ニ價

サウダトシテモ最近ノ問題デ、マダソレコ
ソ何年モ經タナイ位ダト思フノデアリマス、
サウ云フ狀態ニアッタモノヲ、長年睡眠シ
テ居ツタカラト云ッテ、此處デ利用價値ヲ生
ゼシメルヤウニスルト云フ上カラ行ケバ、
勿論結構ナコトモ考ヘラレマスケレドモ、
砂鐵ヲ發見シテ長時間持ッテ居ツテ、假ニ
大シタ稅金ヲ納メテ居ル譯デモ何デモナイトイ
致シマシテモ、今マデ利用ノ途ガナカツタ
ノヲ睡眠サセテ居ツタ、如何ニモ鑛主ガ打チ
ヤッテ置イタノダト云フヤウナ扱ヒヲスル
コトハ、大變面白クナイコトダト思フノデ
アリマス、之ニイキナリ稅ヲ課ケテ、稅ヲ
納メナケレバ取ヅテシマフノダゾト云フ行
キ方ハ、少シ無情冷酷デハナイカトノ私共
ハ考ヘテ居ル、ソレヨリモ他ノ鑛區ノヤウ
ニ、例ヘバ一箇年トカ二箇年トカ云フ期限
ヲ定メテ、其間ニ相當ナ或ル程度ノ登錄稅
デモ設定ラシテ、サウシテ新ニ更新ヲシ登錄
ヲシナケレバ權利ヲ喪フゾト云フ行キ方ガ
本當デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、
御所見如何デゴザイマセウカ

ニ、鑛區稅ヲ課ケテ居ラナカツタヤウデアリ
マスガ、是ハ今日鐵ガ高クナツテ居ルカラ引
合フグラウト云フ見解バカリデハアリマセ
ヌノデ、今日ノ技術上ノ點カラ申シマスト、
砂鐵ノ利用ハ略、目度ガ付イタト申シテモ差
支ナイノデアリマス、ソコデ此砂鐵ノ鑛區
ヲドウ云フ風ニ扱ッタラ宜シイカト云フ點
ニ付キマシテハ、技術上ノ方面カラモ色々
研究致シタノデアリマスガ、兎ニ角今日ノ
狀況ニ於キマシテハ、砂鐵ノ砂鑛區ニ付キ
マシテ權利者ノ不明ナモノアリマスルシ、
又之ニ此法律ノ規定スル程度ノ稅ヲ課スル
ト云フコトハ酷デハナイカ、經濟的ニ見マ
シテモ、技術的ニ見マシテモ酷デハナイカ
ト云フ見解ヲ立テタノデアリマス、然ラバ
此法律ニ於キマシテ新ニ設定スルモノニ付
テ、砂鑛區稅ヲ課ケタラドウカ、從來ノモ
ノガ目ラ覺マスノニハ唯經過的ノモノニ宜
シイデハナイカ、斯ウ云フ御意見ノヤウデ
アリマスケレドモ、サウ云フ見解モ一應立
ト思ヒマス、鑛區稅ヲ納メテ砂鐵ノ採掘ニ
著手スルヤウニ致シタイノデアリマス、元
來砂鑛區稅ヲ設定スル時ノ立法ノ趣旨カラ、
砂鐵ハマダ何トモ利用出來ルカ出來ナイカ
分ラヌト云フヤウナ趣旨デ、免除ニナツテ
居タヤウニ承知シテ居リマスノデ、今略利

用ノ目度ガ付イテ居リマス關係ト、ソレカ
ラ砂鐵ノ鑛區ニ付キマシテハ亂雜極マル狀
態ニアリマシテ、徒ニ名義權利者ガアル爲
ニ、其權利者ガ失踪シテ居リマスモノモア
リマスシ、又稅ヲ納メナイ爲ニ何處ニ轉居
シタヤラ分ラヌモノモアリマシテ、砂鐵鑛
區ノ開發上非常ナ不便ガアリマスカラ、是
等ノ稅ヲ課ケルト同時ニ、ソレ等ノ權利者
ノ整理ヲモシテ戴キタイト云フノガ、鑛山
局關係ノ斯ウ云フ法案ヲ出シテ戴ク趣旨デ
アリマス

○東條委員 現在砂鐵ノ製鍊ヲ實際ニヤッ
テ居リマスノガ何箇所位アリマセウカ、ソ
レカラ其一日ニ消費致シマスル砂鑛ノ量ハ
ドレ位ナモノヲ使ツテ居リマセウカ
○小金政府委員 現在工業トシテ砂鐵ヲ製
鍊シテ居ル分量ハ極ク僅カデアリマス、寧
ロ工業的ナ試驗ノ時代ノ後半ニ屬シテ居ル
ト申上ゲタ方ガ的確カト思ツテ居リマス、日
本製鐵ニ於テ相當大規模ナ工業的試驗ヲ終
リマシテ、相當ナ砂鐵ノ數量ヲ使ヒ得ル見
込ガ立ツテ居リマス、尙ホ其他ノ會社ニ於テ
ハ議論ニナルヤウナ話デアリマスルカラ申
上ゲマセヌケレドモ、稅ヲ取ルト云フコト
ハ實際ニ需要ガ生ジテカラ取ルト云フコト
ニシテ、權利者ヲハツキリサセ、而モ無制限
存續スルト云フノデハナク、今ノ鑛業法ノ
試掘ノヤウニ二箇年ナラ二箇年ト云フ位ノ

用ヒテ居ルカト云フコトハ、一寸申上ゲル
コトヲ御容赦御願致シマス
○東條委員 試驗ノ後半期ニ入ツタ狀態デ
アルト云フコトデアリマスルガ、試驗ノ時
代ノ後半期ニ入ツタ、是カラ各所デ色々計畫
ヲシテ居ルト云フ場合ニ、直グニ此四月一
日カラ稅金ヲ取ラウト云フコトハ、非常ニ
茲ニ無理ガアラウト考ヘマス、需要アッテコ
ソ初メテ採掘モ採取モ出來ル、現ニ需要ガ
ナクテ——アッテモソレハ試驗材料ニ供ス
ルニ過ギナクテ、是カラ實際ニ需要スル計
畫ガ始マラウト云フニ過ギナイ時ニ、之ニ
課稅ヲスルト云フコトハ非常ニ無理ガアル、
是ハ結局此法律ガ成立シマシテ實施サレル
コトニナリマスルト、少數ノモノハ今マデ
ノ權利者其他ガ持ツテ居リマセウガ、大部分
ハ稅ニ追倒サレテ結局ハ投ゲテシマッテ、大
キナ少數ノ人ガ擴ンデシマフト云フ結果ニ
レバドン——利用サレルト云フ時機ニナッ
テ、ソレデモ手ヲ著ケナイデ投ゲテ置クナ
ラバ、睡眠シテ居ルト云フコトガ言ヘルノ
デアリマスケレドモ、今當局ノ御説明ノ通
リニマダ試驗ノ後半期ニアル、是カラ實際
ノ需要ガ起ルノダト云フ時ニハ、睡眠モ睡
眠デナイモナイト思ヒマス、同ジ課稅スル
ニ致シマシテモ、權利登録ノ爲ニ僅カナ登
錄稅ヲ拂ツテ、自分ノ所有ト云フコトヲ登録
シテ置クト云フコトデアレバ、成程ト納得
ガ出來マスケレドモ、利用價値ノナイモノ

○小金政府委員 砂鑛區ガ普通ノ鑛業權ト異ル關係ニゴザイマスノハ、東條君御承知得ナケレバ、砂鑛區ハ採掘出來ナイノデアリマス、ソコデ土地所有者ノ承諾ヲ得マシテ、砂鑛區ヲ設定致シマシタ曉ニ於テ、今此砂鑛區ヲ如何ニ利用スルカト云フコトハ、斯様ニ考ヘマヌ、殊ニ砂鐵ノ利用ニ付キマシテハ、試験ノ後半期ト申シマシタガ、是ハ既ニ工業的利用ノ第一期ニ入ッテ居ルノヲ左様ニ申シタ譯デアリマス、砂鐵ノ利用ノ途ハ非常ニ今開ケントシツ、アリ、又開ケツ、アル譯デアリマスガ、唯單ニ砂鑛區ヲ獨占シテ居リマス關係上、其砂鐵ヲ利用シテ相當ナ大規模ノ工業的試験ヲ行ハントシテモ、權利者ガ承諾シナイ場合モアリマス、此方ガ寧ロ弊害在不明ノ場合モアリマス、此方ガシマシテ、ガ大キイノデアリマシテ、權利者ガハッキリ致シマスレバ、昨日衆議院ヲ通過致シマシテ重要鑛物增產法等ノ活用ニ依リマシテ、

現在ノ砂鑛權者ニ決シテ酷デナイヤウナ取扱方ガ出來ル譯デアリマス、詰リ砂鐵ノ鑛區カラ採取サレル砂鐵ヲ利用セントスルモノガ、或ハ其砂鐵ヲ採取セントスルモノガ、現在ノ砂鑛權者ト協議ヲ致シマシテ、協議ガ調ハナカッタ場合ニハ政府ガ裁定ヲ致シマス、サウシテ今持ツテ居ル所ノ砂鑛權者ヲ酷ニ取扱フト云フヤウナコトガナイヤウニ仕組ンデアリマス、此法律ハ單ニ臨時租稅措置法ニ依ツテノミ課稅スルノデハナクシテ、重要鑛物增產法ノ運用トカ、其他ノ施設ニ依リマシテ、現在ノ砂鑛權者ニ酷ナ扱ハ出來ナイヤウニナツテ居ル次第デアリマス、御意見モアルカト思ヒマスケレドモ、唯此法規ダケニ依ツテ稅ヲ課スルノダト云フ觀方ヲ、吾々ハ致シテ居リマセヌカラ、其點ヲ十分御諒承願ヒタイト思ヒマス○東條委員 其問題ハソレダケニシテ置キマス、ドウモ私ハ頭ガ惡イカラ分ラナイノデアリマスガ、十九條ノ所ハドウ云フ意味ニナルノデアリマセウカ、御説明願ヒタイト思ヒマス、詳シク言ヒマスレバ十九條ノ第二項デス

ヲ合併シ製鍊スル場合ニ於テ其ノ取得鑛物トヨリ產出シタル鑛產物ノ數量ハ前項ノ鑛產物ノ產出數量ニ之ヲ算入セズ」トアリマスノハ、現在ノ鑛業法第八十一條第三項ノ規定ノ趣旨ト同様ノ方針ヲ採リ入レタノデアリマス、即チ鑛業法第八十一條第三項ハ、他人ヨリ取得致シマシタ鑛物ニ付キマシテハ、產出者ノ方ニ於テ鑛產稅ヲ一度負擔シテ居ル譯デアリマスルカラ、此分ニ付キマシテハ重複ヲ避ケル爲ニ、課稅此部分カラ產出サレマシタ數量ニハ鑛產稅ヲ免除スルト云ノ但書ニ於キマシテハ、其取得鑛物ノ數量ガ自己ノ掘採シタル鑛物ノ數量ヲ超過スル場合ニ於キマシテハ、其ノ超過部分ヨリ製出シルタ鑛產物ニハ例外トシテ課稅シテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ自己ノ掘採シタ鑛物ガ極メテ少クシテ、寧ロ他人ノ掘採シマシタ鑛物ヲ買ッテ來タ數量ノ方ガ多イヤウナ製鍊業者ニ付キマシテハ——鑛業權者ニハ鑛產稅ガ課カルガ故ニ、營業收益稅ヲ課シテ居ラナイト云フ現在ノ扱ヒ上——此部分ニ課稅ヲ致シマセヌト、一方ニ於テ營業收益稅モ免稅サレシテ居ルト云フ關係上、不均衡ヲ來シマスノデ、自分ノ產出鑛產物ノ

○東條委員 鑛業法ノ方デヘ其取得シタル
鑛物ヨリ「製出ス」トアリマスガ、茲ニハ「算出
スト」算盤ノ「算」フ字ガ使ッテアリマスガ……

○松隈政府委員 只今御指摘ノゴザイマシ
タ第十九條ノ第二項ノ、「其ノ取得鑛物ヨリ
算出シタル」ト云フ字ガ「算」フ字ニナッテ居ル
マスガ、是ハ其他ノ場合ニ於ケル「産出」ノ「產
ノ字ト同様デアルベキデアリマシテ、此點
ニ付キマシテハ既ニ正誤表が出サレテ居ル
筈デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○東條委員 鑛業法ノ方ハ八十一條ニアル
ノデスガ、是ト同ジ場合ニ「製出」トナッテ居
リマスガ……

○松隈政府委員 ソレハ製出ト同様ノ意味
ニ書イテアル次第アリマス

○東條委員 意味ハ同ジデ字ハ「產」デスカ
テ、「物產」ノ產ノ字ガ正シイノデアリマス

○東條委員 ソレデハ鑛山局長ニ對スル質問ハ是デ打切りマス

ニナツテ居ルト思ヒマス、ソレデ其納期ニ納
稅ヲ怠ッタ場合ノ處置ガ、場合ニ依リマスト

業權者ニ出來ルダケノ御注意ヲ申上ゲルヤ
ウニ致シタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

々、是ハ上局ノ御趣旨デハナイノデアツテ、下級ノ稅務官吏ガ誤解シテ斯様ナ苛酷ナ取

○高橋委員長 此際一寸私カラ鑛山局長ニ

苛酷な結果ナルコトガアルカモ知レマセ

○高橋委員長 大藏當局ニ御尋スルノデス

ノ廣葉種ノ獲得ヲ吹くレハ、税務官直^ダテ致シテ居ルノデハナイカ、其間ニハ他

同ツテ置キタイト思ヒマスガ、今東條君カラノ御質問ノ中ニモアリマシタガ、新シク特別砂鑛區稅ヲ設ケルト云フヤウナ時分ニ、眠ッテ居ル砂金以外ノ砂鑛區ニ苛酷ノ取扱ヲスルヤウニナルデハナイカ、斯ウ云フヤウナ御尋ニ對シテ、ソレハ重要鑛物増産ノ法律等ヲ運用ヲ致シテ、サウ云フコトノナイヤウニスル方針ダト云フコトデアリマスガ、鑛區稅ノ取扱ハ近來非常ニ苛酷ニナッテ、諸方面ノ鑛山業者カラ苦情ガ絶エナイノデアリマシテ、吾吾ノ手許ニハ時々サウ云フコトノ陳情的ナ意味ノコトヲ言ッテ來ラレルコトガアルノデアリマス、近來特ニ鑛區稅ノ滯納ニ對シテハ、他ノ國稅ノ取扱ト異ッテ非常ニ嚴格ナ處置ヲサレルサウデアリマスガ、中小鑛業者ニ取ツテハ非常ナ脅威トナッテ居リマス、鑛山關係ノ御當局ニ於テハ左様ナコトハ耳ニサレナインデアリマスカ、此場合重要ナコトデアルト思ヒマカラ、御尋シテ置イタ方ガ都合ガ宜カラウト思ヒマス、御答辯ガ得ラレレバ結構デアリマス

又ガ、是ハ實ハ徵稅官廳トノ色々ナ連絡其
他ノ取扱ノ例ガアリマシテ、成ベク此鑛區
税局ニヤラセタイト考ヘテ居リマス、ソレ
ハ重要鑛物増産法ヲ施行致シマスト、中小
鑛山業者ガ、或ハ中小ノ鑛業權者ガ壓迫サ
レルノデハナイカト云フ御懸念モ多分ニア
リマシタガ、是ハ寧ロ壓迫サレルノデハナ
クテ、鑛業權ヲ直チニ讓渡セシメル、或ハ
他人ニ合併セシメルト云フヤウナ意味デハ
アリマセヌ、尤モサウ云フ場合モアリマス
ガ、金ガ無イ、或ハ資金ガ無イ、或ハ資金
ニ乏シイト云フヤウナモノニ對シテハ、政
府ハ常ニ讓渡ヲ目標トシテ措置ヲ執ルモノ
デハアリマセヌノデ、共同鑛業權者ト云フ
ヤウナ立前ヲ取ッテ貰ッテ、鑛業權其モノヲ
失ハズニ進ンデ行ケル、大體斯ウ云フ方針
ヲ取リタイト考ヘテ居リマス、只今御注意
ノアリマシタ唯納期ニナツテ納稅ヲ怠ッタガ
爲ニ、鑛業權其モノヲ取上ゲテシマフト云
起ルカモ知レマセヌカラ、新シイ法律ノ施
行ニ際シマシテハ納期等ニ付キマシテ、鑛

ル措置ヲナサル御見込ノ旨ヲ申サレマシタ
ガ、實際今日ニ於テハ非常ニ苛酷ナ取扱ヲ、
鑛區稅ノ滯納等ニ對シテハナサレテ居ルノ
デアリマス、十二年度ノ終ニ翌十三年度ノ
一年分ノ稅金ヲ——、詰リ實例デ言ツテ居ル
ノデスガ、前年ノ十二月末日限ヲ納期トシ
テ、翌年一年分ノ徵稅ヲシテ居ルノデアリ
マス、ソレヲ怠ルト、短イノハ一週間、長
イノハ十日間位ノ間に催告ヲ致シマス、サ
ウシテ催告ヲスルト同時ニ鑛業權ヲ差押
ヘルノデアリマス、サウシテ其差押ト同時
ニ約一週間或ハ十日間ノ期間ヲ以テ公賣處
分ノ通知ヲ出スノデス、サウシテ、公賣ガ
可能ナ場合ニハ、即チ入札者ノアル場合ニ
ハ公賣サレル危險ガ非常ニアルト申シテ居
ルノデアリマス、斯様ナ取扱方ハ、他ノ稅
種ノ取扱ニハ見ザル苛酷ナ實例ト吾々ハ考
ヘルノデアリマス、今日鑛山業ヲ獎勵シ
テ、サウシテ鑛產物ヲ増加スルト云フ場合
ニ、斯ノ如キ苛酷ナ取扱ト云フモノハ、私ハ
其趣旨ニ背イテ居ルノダラウト思フ、恐ラ

間ガ極度ニ迫シテ居ル、ソレデ税金ノ納入ニ
違ナカラシムルト云フヤウナコトヲヤッタ
實例ハ渺クナイト其道ノ者ハ言ツテ居リマ
ス、而シテ其公賣ノ處分ノ期日ノ通知ハ、
普通ノ葉書ニ依ツテ、書留郵便ニ依ラザルモ
アルヤウニ聞イテ居リマヌ、斯ウ云フコト
ノ、之ニ依ツテ通知ヲ致シテ居ルノガ普通デ
アルヤウニ聞イテ居リマヌ、斯ウ云フコト
ハ、非常ニ斯業獎勵ノ上ニ支障ヲ生ジ、殊
ニ中小鑛業權者ヲ擁護スル途デナカラウト
思ヒマス、是等ニ付テ、御當局ノ御意見ヲ
此場合拜聽スルノガ適當ト思ヒマズ
○大矢政府委員 只今委員長カラ縷々御話
ガアリマシタガ、從來鑛區稅ノ滯納ハ、他
ノ稅ニ比べマシテ比較的ニ多カッタノデハ
依リマシテハ、稅務署ニ於テ其整理ヲ急グ
結果、或ハ今御話ニナリマシタヤウナ事例
ナカラウカト思ヒマス、隨ヒマシテ地方ニ
モ無キニシモアラズカト思ヒマス、尤モ競
賣處分ヲスル前ニ餘リ猶餘期間ヲ置カズ、
何カ其間ニ或ル面白カラヌヤウナ動機モ全
マレテト云フヤウナ——或ハ聽達ヒカモ知

レマセヌケレドモ、サウ云フヤウナ御話ガアリマシタ、萬一サウ云フコトガアリトスレバ以テノ外ト思ヒマス、將來ハ十分サウ云フ疑ヲ受ケマセヌヤウ注意ヲ致シタイト思ヒマス、申ス迄モナク現下ノ非常時局ニ際シマシテ、各種重要鑛物ノ產出ト云フコトハ、國策トシテ最モ重要ナルモノノツニナツテ居リマシテ、政府ニ於テモ各種ノ方策ヲ講ジテ、是ガ獎勵ヲ圖ッテ居ル際デアリマスカラ、稅務官廳ニ於キマシテモ、特ニ現下ノ狀況ニ鑑ミマシテ、殊ニ中小ノ鑛業者ニ對シマシテハ、更ニ格段ノ注意ヲ以テ臨マナケレバナラヌト存ジマス、委員長ノ仰セノ御趣旨ハ十分ニ尊重致シマシテ、今後適當ニ善處シテ行キタイト存ジテ居リマス、尙ホ先程鑛山局長カラ御話ノアリマシタ通リニ、地方ノ鑛山監督局ト稅務官廳トノ連絡モ緊密ニシテ、其邊ノ手落モナイヤウニ致シタイト存ジマス

○東條委員 此物品稅ノ一種、二種、甲類、乙類ト御區分ニナリマシタ標準ニ付キマステ、ドウ云フ目安デ區分サレマシタカ、私共之ヲ見マスルト、稅率ナドモ違ヒマスシ、取扱ノ方法モ違フ點ガアルノデハナイカと思ヒマスガ、ハッキリト是ダケニ段階ヲ付ケルノガ當然ダト思ハレルヤウナ區別ヲ、發

見スルニ苦シニ居ルノデアリマスガ、之ヲ一ツ承リタイト思ヒマス

○大矢政府委員 此物品稅ニ付キマシテハ、成ベク消費ニ接近シテ課稅シテ行ク、即チ小賣ノ場合ニ、其小賣價格ニ付テ課稅ヲシテ行クト云フノガ理想的カト存ジマス、併ナガラ單ニ之ノミニ依ルト、又課稅技術ノ上ニ於テ色々煩雜ナ點モアリ、官民相互ノ手數モ少カラモノガアルノデゴザイマシテ、斯ウ云フ見地カラ致シマスレバ、相當大規模ノ下ニ製造サレル物品ノ如キハ、寧ロ其製造元ニ於テ課稅ヲスルト云フノガ、課稅ノ實際カラ云ツテ望マシイコト思フノデゴザイマス、隨テ此物品稅ノ課稅方法ヲ定ムルニ當リマシテ、物品ノ性質、生産取引ノ狀況、其他他種物品トノ權衡ヲ考ヘマシテ、ソレドヽ適當ニ區分シタ次第ゴザイマシテ、大體カウ申シマスレバ、比較的少數ノ製造者ニ依ツテ、大規模組織デ生産セラレルト云フヤウナモノニ付キマシテハ、之ヲ第一種トシテ取扱ッテ居ル次第ゴザイマス

○東條委員 此第一種ガ需要者ノ手ニ渡ル時ニ課稅サレルト云フコトニ依リマシテ、實際ニ課稅ヲ負擔致シマス需要者ト云フ立場カラ行キマスト、非常ナ達ヒガアル、ソレカラ更ニ保稅地區カラ引取ラレル場合ニハ、一種二種ニ拘ラズ、引取人カラ徵稅スルト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、是等モ大變ナ達ヒガ生ジテ來ル、品物ニ依リマシテハ小賣値段ト保稅地區力ラ——詰リ原價ニ運賃ヲ加算シタモノニ課數モ少カラモノガアルノデゴザイマシテ、斯ウ云フ見地カラ致シマスレバ、相當大規模ノ下ニ製造サレル物品ノ如キハ、寧ロ其製造元ニ於テ課稅ヲスルト云フノガ、課稅ノ實際カラ云ツテ望マシイコト思フノデゴザイマス、隨テ此物品稅ノ課稅方法ヲ定ムルニ當リマシテ、第一種物品ノ販賣者又便利デアツテモ、此稅ノ性質カラ言ヒマシテ、トニナル、徵稅技術ノ上カラ行ケバ非常ニ税サレル場合トハ、大變ナ達ヒガ出來ルコトニナル、徵稅技術ノ上カラ行ケバ非常ニ税率ガ同ジデハアルケレドモ、實際カラ行ケバ一方ハ殆ド倍ニ近イ負擔ヲスルト云フヤウナ形ニナリマスルコトハ如何カト思ヒマス

○大矢政府委員 第一種ノ物品ハ小賣價格ニ依ツテ課稅セラレ、第二種ノ物品ハ製造所ヲ出ル時ノ價格ニ依ツテ課稅セラレル、隨テ税率ガ一割五分或ハ一割ト致シマシテモ、ハ製造者ガ保稅地域ヨリ引取ル時ニハ課稅シナイト云フコトヲ命令デ規定シテ居リマスカラ、隨テ御話ノヤウナ不均衡ハ防止セラレル次第ゴザイマス

○東條委員 第一種ノ乙類デスガ、毛皮製品、羽毛製品ト云フノガアリマスガ、毛皮製品モ羽毛製品モ免稅點ガ五圓ニナツテ居リマス、其通リデゴザイマス、併シ此第一種ノ甲類ハ、此物品稅ノ課稅ヲ受クル物ノ中ニ於キマシテモ奢侈的ト申シマセウカ、

最モ負擔力ノアル方面ノ消費スルモノデゴ

見スルニ苦シニ居ルノデアリマスガ、之ヲ一ツ承リタイト思ヒマス

○大矢政府委員 此物品稅ニ付キマシテハ、成ベク消費ニ接近シテ課稅シテ行ク、即チ小賣ノ場合ニ、其小賣價格ニ付テ課稅ヲシテ行クト云フノガ理想的カト存ジテ居リマス、第一種ノ甲類ノ方ハ實際ニ於テ第一種ノ甲類ヨリモ負擔ノ程度ガ低イデアリマスガ、是ハ寧ロ此ヤウニシタ方ガ適當カト存ジテ居リマス、第一種ノ乙類及ビ第二種ノ乙類ニ付テモ大體同様ナ關係ニナツテ居リマス、ソレカラ保稅地區カラ引取ル場合ノ御話ガゴザイマシタガ、是ハ四十一條ニ但書ガゴザイマシテ「但シ保稅地區ヨリ引取ラル物品ニ付テハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外」云々ト言ツテ居リマシテ、ソレデ命令ニ於キマシテハ、第一種物品ノ販賣者又ハ製造者ガ保稅地區ヨリ引取ル時ニハ課稅シナイト云フコトヲ命令デ規定シテ居リマスカラ、隨テ御話ノヤウナ不均衡ハ防止セラレル次第ゴザイマス

○東條委員 第一種ノ乙類デスガ、毛皮製品モ羽毛製品モ免稅點ガ五圓ト云フノリマス、其通リデゴザイマス、併シ此第一種ノ甲類ハ、此物品稅ノ課稅ヲ受クル物ノ中ニ於キマシテモ奢侈的ト申シマセウカ、

氣ガ致シマスガ、是ハドウ云フ爲ニ斯ウ云

フ低イ所ニアルノデスカ

○田中政府委員 毛皮製品ハ五圓デゴザイ

マスガ、大體斯ウ云フ品物ハ相當程度課稅シ

テ宜イト云フヤウナ見解カラ、多少低クナツ

テ居リマス、ソレカラ其内容ハ茲ニ舉ゲマ

シタヤウナ品物デゴザイマシテ、此程度デ

適當デアラウト存ジテ居リマス

○東條委員 賛澤品デアルカラシテ、全部

ニ課稅シテ宜イノダト云フ立前デ低クサレ

タト云フ譯デスカ

○田中政府委員 極ク安イモノハ除外スル、

斯ウ云フ立前デ此程度ニ致シマシタノデア

リマス

○東條委員 ソレカラ一種ノ二十四類、窓

掛、卓子掛、敷物、斯ウ云フモノモ免稅點

リマス

○東條委員 ソレカラ一圓ノ二十四類、窓

掛、卓子掛、敷物、斯ウ云フモノモ免稅點

リマス

○東條委員 ソレカラ一圓ノ二十四類、窓

掛、卓子掛、敷物、斯ウ云フモノモ免稅點

リマス

○東條委員 ソレカラ一圓ノ二十四類、窓

掛、卓子掛、敷物、斯ウ云フモノモ免稅點

リマス

○東條委員 ソレカラ一圓ノ二十四類、窓

掛、卓子掛、敷物、斯ウ云フモノモ免稅點

リマス

○田中大藏書記官 是ハ全部ノモノデアリ

マセヌノデ、「メリヤス」「レース」「フェル

ト」ノ類ヲ窓掛ニシタモノ、是ハ材料ハ主

トシテ「レース」デアリマスガ、「レース」カ

ラ出来テ居ルモノニ課稅スルノデ、普通ノ

織物ハ此中ニ入リマセヌ、「レース」ハ相當

贊澤ナモノトシテ三圓以上、斯ウ云フ風ニ

定メテ居ル次第デアリマス

○東條委員 ソレカラ「ラヂオ」デスガ、「ラ

ヂオ」ニモ色々アリマスガ、無論高級ナモ

ノハ相當贊澤ナモノト見テ宜イノデアリマ

ス、併シ普通ノモノハ決シテ贊澤品グトハ

思ハナイノデアリマス、所ガ此「ラヂオ」ナ

ド、ソレカラ又冷藏器デスガ、此冷藏器モ

普通ノ家庭デハ、殊ニ田舎ナンカデハ備ヘ

居ルコトガ出來ナイ、現在アリマスル冷藏庫

ヲ持ッテ居ル人ハ都會ヲ除キマシテハ、ドチ

ラカト言ヘバ中流以上ノ人デナケレバ持ッ

テ居ナイト云フコトニナリマセウケレドモ、

謂常識デ言ッテ「カーテン」卓子掛、敷物ト

云フヤウナモノハ、斯ウ云フ低イ免稅點デハ

殆ド全部ニ課ケラレルト同ジ結果ニナルト

思ヒマスガ、是等モ同ジヤウニ「カーテン」

卓子掛、敷物ト云フヤウナモノハ、言ハバ贊

澤ナモノデアリマスカラ、全部ニ課稅スル

ト云フヤウナ意味デ御定メニナツタノデア

リマスカ

○大矢政府委員 「ラヂオ」ハ通信上ニ於テ

ルト言ヘバ部分品ニ違ナイノデアリマスガ、

コンナモノ迄課稅ノ中ニ入レマスコトハド

トモ考ヘラレルノデアリマスルガ、今我國

ノ現狀ニ於キマシテ、冷藏器ヲ備ヘ付ケル

ト云フコトハ、ヤハリ或ル程度ノ負擔力ノ

アルコトヲ示シテ居ルノデハナカラウカ、

ウカト思ヒマスガ、御見解ヲ伺ヒタイト思

ヒマス

○大矢政府委員 「ラヂオ」ハ通信上ニ於テ

モ重要ナ役目ヲ持ッテ居リマスル、殊ニ此時

局下ニ於キマシテ非常ニ大キナ役割ヲシテ

ノ課稅ヲシテモ差支ハナカラウトスウ存ジタ

次第デゴサイマス、蓄音器ノ針、撞球ノ「チョー

ク」ト云フヤウナ部分品ハ、沟ニ細カイモ

レドモ、一面「ラヂオ」ノ購入者ニハ、幾ラ

カト存ジマス、此度ノヤウニ物品稅ヲ相當

擴張致シ、或ハ演劇トカ、寄席、「スポーツ」

ヲ觀覽スル者ニ對シテモ一般的ニ入場稅ヲ

課スルヤウナ場合デゴザイマスカラ、「ラヂ

オ」聽取機ニモ課稅シテモ先づ他トノ權衡

上宜イノデハナカラウカ、斯ウ存ズル次第

デゴザイマス、唯前ニモ申上げマシタ通り、

「ラヂオ」ハ一面重要ナル使命ヲ持ッテ居ル點

モ考慮致シマシテ、其稅率ハ物品稅ト致シ

マシテ一番低イ稅率ニ依ルコトニ致シマシ

テ供セラレルモノ、竝ニ或ル種ノ標準的

ノ物ニ付テハ、免稅方ヲ考慮スル積リデゴ

シタ、保健衛生ノ見地カラ致シマスレバ、

ザイマス、次ニ冷藏器ニ付テ御話ガアリマ

スルガ、是ハチト酷デヘナイカト思ヒマス、

ソレカラ……

○高橋委員長 東條君ニ御相談致シマス、只今厚生大臣ガ御出席ニナリマシタガ、豫算總會等ニ御出席ノ都合ガアルノデ御急ギノヤウデアリマスカラ、一時アナタノ質疑ヲ御中止下サッテ厚生大臣ニ對スル質疑ヲ先ニ致シタイト思ヒマス

○東條委員 宜シウゴザイマス

○水谷委員 簡単ニ此度ノ増稅ニ關聯シテ、厚生大臣ニ對シマシテ數點御尋シタイト思フノデアリマス、第一點ハ厚生大臣モ是マデ本會議、或ハ豫算總會ニ於キマシテ御聽キニナッテ御案内デアラウト思ヒマスガ、此度ノ増稅ニ依リマシテ、或ル程度ノ重稅ガ産業資本家ニ課セラレルヤウニナッテ居リマス、ソレハ此處デ時間ノ都合上詳シク數字ナンカハ申サナイノデアリマスガ、一部人々ハ之ニ關シマシテ、金融資本ニ對比シテ産業資本ガ非常ニ澤山重稅ヲ課セラレルト云フヤウナコトヲ言ツテ居リマス、私ハ必シモ産業資本家ニ對シテ、忍ビ難キ重稅デハナイト思フノデアリマスガ、兎ニ角或ル程度莫大ナル資本課稅ガサレルコトハ事實デアリマス、斯ウ云フ時ニイツモ起リマスノハ、産業資本家ニ對スル增稅ノ勞働者階級、竝ニ「サラリーマン」階級ニ對スル轉嫁問題デアリマス、昔ノ時代ナラバ斯ウ

云フヤウナ轉嫁問題ハナイト云フヤウナコトヲ議會デモ言ハレタノデアリマスガ、此頃ハ政府當局ニ於キマシテモ、産業資本課稅ノ轉嫁ト云フコトヲ認メテ居ラレルノデアリマス、例ヘバノ藤井大藏大臣ノ時ニ、僅カ三千万圓ノ臨時利得稅ガ行ハレタ時ニ於キマシテモ、非常ナ勢ヒデ「ストライキ」ガ起ッタ、其事實カラ申シマシテモ、轉嫁ト云フコトハ明々白々ナル事實ニナッテ居ルノデゴザイマス、何時モナラバ此轉嫁ニ對シマシテハ、勞働者ハ勞働組合、或ハ其他ノ團結組織ノ力ニ依リマシテ對抗出來ルノデゴザイマスガ、御存ジノ如ク現在ノ時局ノ下ニ於キマシテ、舉國一致ノ立前ノ線ニ沿ヒマシテ、勞働者側ノ方ハ日本デ一番大キナ組織デアル日本勞働總同盟ナンカハ、事變中ハ「ストライキ」ヲヤラナイト云フコトヲ聲明シテ居ルヤウナ狀態デゴザイマス、或ハ農民組合ノ方ニ於キマシテモ、是等ノ點ヲバ聲明シテ實行シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、此勞働者ノ無防備ニ對シマシテ、動モスレバ資本家階級ガ此度ノ重稅ヲバ勞働者階級ニ轉嫁スルヤウナ場合ニ由々シキ大キナ問題デアラウト思ヒマス、隨テ此時局下ニ於キマシテ、若シ此度ノ資本重

稅ヲバ産業資本家ガ効ク階級ニ轉嫁シタ場合、或ハ勞働賃銀ノ引下或ハ其他ノ勞働條件ノ惡化ニ使フト云フヤウナ場合ニ於キマニアリマス、例ヘバノ藤井大藏大臣ノ時ニ、僅カ三千万圓ノ臨時利得稅ガ行ハレタ時ニシテ、厚生省ハソレ等ノ資本家階級ニ對シテ如何ナル對策ヲ御持チニナッテ居ルカ、或ハ又現在此時局下ニ於キマシテ、產業協力、シテ、厚生省ハソレ等ノ資本家階級ニ對シテ如何ナル對策ヲ御持チニナッテ居ルカ、或ハ學國一致ノ下ニ於キマシテ、サウ云フ態度ヲ執ッテ居ル勞働者階級ヲ保護スル爲ニ、厚生省ハ如何ナル具體的ナ對策ヲ御考デアルカ、此點ヲ御聞キシタイト思ヒマス○木戸國務大臣 只今御話ノ點ハ洵ニ御尤もハシテ、厚生省ハ如何ナル具體的ナ對策ガオアリデアルカ、詰リデアルカ、此點ヲ御聞キシタイト思ヒマス○木戸國務大臣 只今モ申上ゲマシタヤウニ、此騰貴ガ如何ナル影響ヲ與ヘテ來ルクト云フコトヲ見マシタ上デ、對策ヲ考ヘル積リデ居リマス、今日勞働者側ニ對スル對策ハ斯ウデアル、又資本家側ニ對シテハスウ云フ策ヲ持ッテ居ルト云フ風ナ具體的ナコトハ、只今申上ゲル程度ニ熟シテ居ラナインデアリマス○水谷委員 私ハ其物價騰貴ガ勞働者階級ニ及ボス點ヲ御尋シテ居ルノデハナシニ、

増稅ノ轉嫁問題ニ關シテ御尋シテ居リマス
ノデ、物價問題ハ昨日モ商工大臣ニ詳シキ
御答辯ヲ得タノデアリマシテ、厚生省トシ
テハ物價問題マデモ御心配ニナル必要ハア
リマセヌカラ、直接増稅轉嫁ダケヲバ能ク
御考へ下サイマシテ、ソレニ十分ノ御對策
ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス、今厚生
大臣ノ御言葉ニ依リマスレバ、サウ云フ形勢
ガ現ハレテカラ對策ヲ講ズルト云フヤウナ
御言葉デアリマシタガ、ソレハ日暮レテ道
遠シノ譬ノ如ク、只今本會議デ我黨ノ川村
サンガ申シマシタヤウニ、準備ナシニ云々
ト云フ「ロイド・ジョージ」ノ言葉ガアッタヤ
ウデアリマシテ、モウサウ云フコトハ經濟
上ノ原則トシテ、社會狀態ノ原則ト致シマシテ、
當然發生スルコトデアリマスルカラ、サウ云
フヤウナ現象ガ現ハレテカラ、ソロリ／＼ト
參ラウト云フヤウナ態度デナシニ、折角
其爲國民ハ犠牲ヲ拂ツテ厚生省ト云フ
モノヲ拂ヘタノデゴザイマスルカラ、ソレ
等ノ點ヲバ能ク御含ミ願ヒマシテ、今カラ
ハッキリシタ對策ヲバ、明日カラ能ク研究
シテ御立テニナランコトヲ私ハ要望スル次
第デゴザイマス

モウ一點更ニ御尋シタイノハ、現下ノ時
局ニ於キマシテ、生產力ノ擴充ト云フコト

ガ大キナ問題ニナッテ居ル、然ラバ其生產力
ノ擴充ト云フコトハ、結局ハ勞働者階級ニ
血ノ犠牲ヲ強制スルコトハ、火ヲ賭ルヨリ
明カナ狀態デゴザイマス、例へバ工場法適
用工場ニ起ツタ工場災害ト云フモノハ——
是ハ內務省ノ統計デゴザイマスルカラ、嘘
偽リハゴザイマセヌ、ソレニ依リマスルト、
昭和二年ヲ一〇〇ト致シマスレバ、死亡災
害者ノ數ハ昭和九年ハ一五七・六ニ增加シ
テ居リマス、更ニ又十年ニハソレヨリ下ッ
テ居リマスケレドモ、ヤハリ昭和二年ノ一
〇〇ニ較ベマシテ一四一・一トナッテ居リマ
ス、更ニ災害者ノ中デ重傷ヲ被リマシタ者
ハ、昭和二年ノ一〇〇ニ對シマシテ、九年
ニハ一二二・一、十年ニハ一二九・八ニ上ッ
テ居ルノデゴザイマス、幸ヒ災害者ノ中デ
輕傷ヲ受ケタ者ハ、昭和二年ノ一〇〇ニ對シ
マシテ昭和九年ハ一一二・八、昭和十年ニ
ハ一一・三デゴザイマス、勿論此昭和九
年、昭和十年ト云フモノハ生產力擴充ガ今
日程叫バレテ居ラナイ其時期デアルニ拘ラ
ズ、此様ナ數字ヲ示シテ居ルノデゴザイマ
スルカラ、生產力擴充ガ叫バレ、更ニ事變
下ニ於キマシテ軍需生產力ヲバ驅進セシメ
ナクテハナラナイ時ニ於キマシテハ、是等ノ
云フヤウナ勞働者階級ニ對スル血ノ犠牲ト
云

云フモノハ、可ナリ莫大ナル數ニ上ツテ居ラ
ウト思フノデゴザイマス、斯ウ云フ點ニ關
バナラヌト思ヒマスガ、此點ニ關シマシテ
厚生大臣ノ御考ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス
ヲ擴充シテ行カナケレバナリマセヌ國家的
ノ必要ガアル、又一面之ヲ無理押ヲ致シマ
スレバ、今ノヤウナ災害其他ノ違反等ガ盛
シニ起ツテ來ルト云フ點ハ、全ク御話ノ通り
三百六十四件ノモノガ九年ニハ六百八十二
件、十年ニハ九百四十一件ニナッテ居リマ
ス、サウシテ實質的違反トシテドウ云フ具
合ノモノガ現レテ居ルカト申シマスレバ、
「保護職工ヲシテ法定時間ヲ超エテ就業セシ
メタルモノ」ガ五千九百五十三件、是ガ最モ
多ク、「法定ノ許可認可ヲ受ケズシテ就業
時間ヲ延長シ、又ハ其届出ヲ怠レルモノ」ガ
六百四十五件、「賃金ヲ通貨ヲ以テ毎月一
回以上支拂ヘズ、又ハ支拂ヲ遷延シタルモ
ノ」ガ三百三十八件ト云フ、何レモ增加ノ狀
態ニナッテ居リマス、是ハ昭和十年第二十回
工場監督年報ニ現レテ居ルノデアリマス、
マシタヤウナ點ヲバ是正シ、救フガ爲ニ
ノ點ニ付テハ十分今後トモ注意ヲシテ行キ
タイト考へテ居リマス

○水谷委員 之ヲ要シマスルニ、以上申シ
マシタヤウナ點ヲバ是正シ、救フガ爲ニ
ハ、勿論監督官廳ニアラレル厚生省ノ態度
ト云フモノモ重大ナル効ヲ爲スノデゴザイ
マスガ、一面又勞働者階級ニ對シテモ、自
分ノ力ナデ或ル程度之ヲ護ルヤウナ立前ヲ

作ツテヤル必要ガアラウト思ヒマス、茲ニ於キマシテ吾々ハ所謂勞働組合或ハ勞働組合法制定ト云フコトガ必要ニナルノデゴザイマス、勿論私等ハ西洋流ノ所謂勞働組合、勞働組合法ヲ作レトハ言ヘナイノデアル、我國ノ國情ニ即シタサウ云フヤウナ法律組織ト云フモノガ必要デゴザイマスガ、之ニ對シテ厚生大臣ハ如何ナル御考ヲ持テ、又今後近キ將來ニ於テ斯ウ云フヤウナ法律ヲ

バ御制定ニナル御意思ガアルカドウカト云フコトヲ御聽キシタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 勞働組合法ノ制定ニ付キ

マシテハ、曾テ社會局時代ニモ一度成案ヲ得タコトモアルノデゴザイマスガ、只今御話ノヤウニ、此問題ハ西洋ノ燒直シデアッテハ我が國情ニ即セヌ點モアリマス、隨ヒマシテ今日厚生省ト致シマシテハ、更ニ考直シテ研究致シテ居ル狀態デゴザイマス、成案ヲ得マスレバ之ヲ提出スルコトハ當然デアリマスルガ、只今ハ研究中デアリマス

○水谷委員 其次ニ御伺致シタイノヘ、是

ハ昨日モ陸軍當局ニ聞キマシタガ、兵役稅ノ問題ニ關聯シタ問題デゴザイマシテ、此度色々ナ財源ヲ考ヘル一ツト致シマシテ、國防稅、兵役稅ト云フモノヲ考ヘル、之ニ關シマシテ陸軍當局ト致シマシテハ、色々御

○水谷委員 最後ニ一點、是ハ希望ノ意味

ニナリマスルガ、今後戰時財政ガ驟進致シ

マシテ、非常ナ金ガ民間ニバラ撒レル、サ

ウ致シマスト都會ニ於キマシテモ、職業或

ハ階級ニ依リマシテ、非常ナ所得ノ凸凹ガ

部分ニ付テハ之ヲ貯蓄サセ、又公債ニ應募

出来ル、又地域的ニ都會ト農村ト云フモノニ凸凹ガ出來マス、勿論之ヲ蔽フ爲ニ増稅ヲヤツテ其凸凹ヲナクスト云フ工合ニ、大藏

度出タキリ其後消息ヲ絶ツテ居ルノデゴザイマスルガ、厚生省ノ方デ、兵役ヲ免除サレタ者ヲ三箇月或ハ六箇月公共事業ノ賦役ニ參加セシメルト云フヤウナコトが出テ居タノデアリマスガ、是ハ兵役稅ト共ニ關聯シタ問題デアリマスルガ、此點ヲモウ一度駄目ヲ押シテ御聞キシタイト思フノデアリマス

○木戸國務大臣 新聞紙上ニハドウ云フ風ニ出テ居リマシタカ、私讀ミマセヌデシタガ、厚生省ニ於テ只今考ヘテ居リマスノハ、徵兵検査ニ合格シテ入營シナイ者ニ對シテ賦役ヲスルト云フ考ハ只今持ツテ居リマセヌ、恐ラクソレハ體力ノ向上トカ、精神的訓練ヲスル爲ニ、團體的ノ訓練ヲスルト云フ計畫ヲ何カ考ヘテ居リマシタノガ新省ハ矯正スル、即チ戰時社會政策ト云フヤウナ言葉デ表ハシテモ宜イト思フノデアリ

増稅ナドニ依ツテ蔽ヒ切レナイ凸凹ヲ厚生税ナ手段方法デ以テ是等ノ凸凹ヲ矯正シナク

テハナラヌ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、

トシテノ木戸サンニ對シテ、兩様ノ意味デ御尋シタイト思ヒマス、今水谷君ノ御質問ニナリマシタ所ノ、今度ノ產業ニ課ル重稅御尋シタイト思ヒマス、厚生大臣トシテノ木戸サント、國務大臣トシテノ木戸サンニ對シテ、兩様ノ意味デアリマスガ、之ヲ勞働者デアルトカ、或トハイカヌト云フ質問ニ對シテ、厚生大臣ハ同意ヲ與ヘラレタ、私モサウデアルト思ヒマスガ、昨日商工大臣ハ、稅ガ上ツタカラトテ、物品ノ販賣價格ヲ直チニ其稅ガ上ツタダケ上ゲサスコトハイケナイト云フヤウナ

意味ノ御答辯ガアツタノデアリマス、大藏大臣ハ、政府トシテハ生產ノ擴充ヲ圖ルニハ

答辯ガアツタノデアリマスガ、前ニ新聞ニ一

出来ル、又地域的ニ都會ト農村ト云フモノニ凸凹ガ出來マス、勿論之ヲ蔽フ爲ニ増稅

ベク其凸凹ヲナクストコトニ付テハ十分努力スル積リデアリマスガ、御話ノヤウナ點ガ

成

アリマシタ時ニハ、十分其對策ニ付テ厚生省ト致シマシテモ努力スル積リデ居リマス、

只今斯クノノ方法ニ依ツテヤルト云フヤ

ウナ域ニハ達シテ居リマセヌ、御話ノ點ハ

十分諒承致シマシテ、善處致シタイト考ヘ

テ居リマス

○水谷委員 増稅ニ關シマシテ厚生大臣ニ御尋シマスル私ノ質問ハ以上ヲ以テ終リト致シマス

○森田委員 水谷君ノ質問ニ關聯シテ、私ハ厚生大臣トシテノ木戸サント、國務大臣トシテノ木戸サンニ對シテ、兩様ノ意味デ御尋シタイト思ヒマス、今水谷君ノ御質問ニナリマシタ所ノ、今度ノ產業ニ課ル重稅御尋シタイト思ヒマス、厚生大臣トシテノ木戸サント、國務大臣トシテノ木戸サンニ對シテ、兩様ノ意味デアリマスガ、之ヲ勞働者デアルトカ、或トハイカヌト云フ質問ニ對シテ、厚生大臣ハ同意ヲ與ヘラレタ、私モサウデアルト思ヒマスガ、昨日商工大臣ハ、稅ガ上ツタカラトテ、物品ノ販賣價格ヲ直チニ其稅ガ上ツタダケ上ゲサスコトハイケナイト云フヤウナ意味ノ御答辯ガアツタノデアリマス、大藏大臣ハ、政府トシテハ生產ノ擴充ヲ圖ルニハ

勿論、此稅金ヲドウシテモ兩院ヲ通過サシテ取ラナケレバイカヌ、稅金ハ是非取ラナケレバナラヌ、併シ賣ル方ハ現在ヨリ決シテ高ク買ッテハイカヌト云ウテ販賣價格ヲ統制スル、下カラハドウシテモ合理的ニ勞働者ヤ月給取ノ給料ヲ値切ッタリ、下ダタリスル譯ニハ行カヌ、一々御尤デスガ、サウスルト生産擴充方出來ズ、產業資本家ガ立ツテ行カヌ、ソコデ政府ガ此間ニ巧イ方法ガアルト御考ニナッテ居ルデアリマセウカ、何處ヘモ轉嫁サセズニ、稅金ヲ取ッテ、事業家ガ立ツテ行ク、是ガ出來レバ結構デアリマスガ、併シ之ニ付テハドノ大臣モドノ大臣モ、自分ノ都合ガ好イ立場カラ仰シヤッテ居ラレマスカラ、ソレヲ一ツノモノニシテ考ヘル時ニ、ソレガ出來ルコトダト木戸國務大臣ハ思ハレルノデセウカ、御意見ヲ拜承シタクト思ヒマス

○木戸國務大臣 只今私ガ水谷サンニ御答致シマシタノハ、勞働者、俸給取ニ對シマシテ轉嫁シナイヤウニ運用シテ行クト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、是ガ生産費ニ如何ニ構成サレルカト云フコトニ付キマシテ、私ノ専門外デアリマスカラ、十分云フ趣旨ニ於テ之ヲ運用致シテ行キマスレバ、轉嫁スルト云フコトガ絶無ト云フ譯ニハ行カヌト思ヒマス、併ナガラ轉嫁サセヌヤウニシテヤッテ行クト云フコトニ依リマシテ、自ラソコニ生産費其他ノモノガ出テ來ルノデハナイカト私ハ考ヘテ居リマス、其點ハハッキリ致シマセヌ、私ハ生産費ノ構成ニ付テハ十分ニ御答ラ致シ兼ネマス、唯私共ト致シマシテハ、只今ノヤウニ成ベク轉嫁サセヌヤウニ運用シテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○森田委員 今水谷サンノ御質問ニ對スル

厚生大臣ノ御答ニ依ルト、勞働者ヤ月給取ニハ轉嫁サセヌト云フコトデ、吾々モ此點ハ肯定致シマス、是ハ時局柄、國家ノ現狀カラ已ムヲ得ナイコトトシテ肯定スルノデアリマスガ、ソコカラ先ハ厚生大臣デナク國務大臣トシテ御尋致シマス、總理大臣ガ居ラレ、バ總理大臣カラ聞ケバ一番宜イノデアリマスガ、御歸リニナッテ能ク御相談ヲ願ヒタイ、總理大臣ハ本會議ニ於ケル私ノ質問

○木戸國務大臣 只今ノ點ハ此處ニ大藏政務次官モオ居デニナッテ居リマスカラ、大藏スガ、未ダ答辯ニナッテ居リマセヌ、ソレガ一ツ、今一ツ昨日商工大臣ハ、此增稅ヲシタカラト云フテ其稅ヲ直チニ物品ノ販賣價格ニ轉嫁サセヌトハッキリ答辯サレタ、物品

ノ販賣ニ轉嫁サセズ、又製造工賃其他ノ方面ニ之ヲ轉嫁サセズト言ハレ、而モ大藏大臣ハ是非之ヲ徵收スルト言ハレル、サウスルト一體ドウスレバ宜イノカ、吾々ニハ分ラヌカラ、是ハドウシテモ政府ノ確タル御方針ヲ承ラナイト得心ガ出來ヌ、生産力擴充ヲヤルノナラバ其何レカニ轉嫁サセテ行カ

ナケレバ出來ヌ、ソレヲシナイデヤレルナラバ生產力擴充デハナイ、ソレナラバ生產力縮小デス、隨テソコニ此政府ノ政策ニ大キナ喰違ヒガアルト思フ、私ノ頭ガ惡イカラサウ思フノカモ知レスガ、政府諸公ノ答ラ、此點ヲ何トカシテヤッテ、ヤハリ生産擴充ガ出來ルヤウニスベキモノデハナイカト

考ヘルノデアリマス、敢テ私ハ議論ヲ吹掛ケルノデモ何デモアリマセヌカラ、木戸國務大臣能ク他ノ御方ト御相談ニナッテ、適當ナ機會ニ適當ナ、吾々ノ得心ノ行クヤウナ答シ

○大矢政府委員 此乗用自動車ニ對シマシテハ、命令要綱ニ書イテアル通リデ、輪距ガ一定ノ基準ヲ超ユルモノダケニ對シテ課稅シヤウト思ッテ居リマス、輪距ト申シマスノハ、前車輪ト後車輪トノ距離ノコトデゴザイマスガ、其輪距ガ二百八十九種程度ヲ超エルモノニ限り課稅スル見込デゴザイマス、此結果ト致シマシテ、豐田、日產等ノ國產自動車ヤ、「フオード」「シボレー」ト云フ大衆車ハ課稅ノ範圍外ニナルノデゴザイマス、尙ホ冷藏庫ナドト比較シテ見レバ、小型ノ自動車デモ當然課稅シテ然ルベキデ

ハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、併シ

御承知ノ通り今我國ニ於テハ國產自動車ノ
製造ヲ大イニ獎勵シヨウトシテ居ル際デゴ
ザイマスカラ、此情勢ニ鑑ミマシテ、國產
車ノ課稅ハ物品稅トシテハ避ケタイ、斯ウ
存ズル次第デゴザイマス

○東條委員 國產獎勵ダト云フコトデアリマ
スケレドモ、國產品ヨリハ當分ノ内ハ舶來品
ノ方ガ數多ク賣買サレルダラウト思ヒマス、
ソレカラ輪距デ決メレバ「シボレー」「ブォー
ド」ハ掛ラナイノダト云フコトデアリマ
スガ、寧ロサウ云フ窮屈ナコトデ決メルヨ
リハ、自動車ノ設計モ年々變ツテ行クノデ
アリマスカラ、價格デアリマストカ、或ハ
又用途デアリマストカ、サウ云フ點ヲ標準
ニシテ決メタ方ガハッキリ目的ニ合致スル
ノデヤナイカト思ヒマスガ、ドウ云フ譯デ
輪距ダケヲ標準ニサレタモノカ、其理由ヲ
伺ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 此第二種ノ物品ニ付キマ
シテハ、總テ價格デ區切ヲ付ケルコトハ止
メテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ用途
ニ付キマシテモ考ヘテ居リマシテ「バス」ト
カ病院車等ハ課稅外ニ置ク積リデゴザイマス
○東條委員 サウ云フ意味デヤナインデス、
營業用ノモノハ免稅スルトカ云フ風ニ、同
じ乗用車等デモ自家用ノモノニハ課稅スル

ガ、營業用ノモノニハ課稅シナイト云フコ
トニ依ツテ決メラレタ方ガハッキリスルノデ
ヤナイカ、詰リ輪距ダケヲ標準ニサレマス
ト、比較的小型デ贅澤ナモノモアリマス、
ズット大キナ型デサウ安イモノハアリマスマ
イケレドモ、營業用ニ使フモノニハ課稅シ
ナイト云フヤウナコトニサレタ方ガ觀念ガ
ハッキリスルノデハアリマセヌカ
○大矢政府委員 大體此標準デ行キマス
ト、營業用ノハ免稅ニナル見込デゴザイマス、
ソレカラ國產車モ先程申上ゲタ通り大體免
稅ニナル見込デアリマス、外國カラ入ツテ來
ル高級車ニ對シテ課稅ニナリ、一般ニ輸入
自動車ハ關稅ガ相當高イノガ掛ツテ居リマ
スガ、其上ニ物品稅ガ掛ルノデアリマスカ
ラ、乘用自動車ノ中ニ於キマシテモ、或ル程
度以上ノ高級車ニ對シテ課稅シタイト云フ
所ガ狙ヒ所デゴザイマシテ、結果ニ於テハ御
示シノ營業用ノ自動車ト云フノハ大體免稅
ニナル見込デゴザイマス

○東條委員 數カラ言ヘバ大シタコトデハ
モ、「學術研究用ニ供スルモノ」「其ノ他命
令ヲ以テ定ムル用途ニ供スルモノ」ト云フ
其免除ノ場合デアリマス、是ハ一應御尤ナ
リマス

○東條委員 ソレカラ臨時租稅措置法ノ方
ノ田畠地租ノ輕減デアリマス、一方ノ營業
収益稅ノ方ノ輕減ト、一寸考ヘマスト權衡ガ
取レナイヤウニ思ヒマス、是ハ自作農所得
ニ限ラレテ居リマスルガ、今ノ自作デナク、
自分ノ所有地ヲ小作サセテ居リマスモノデ

澤ナ高價ナモノデ課稅ヲ免レルモノガアル
ト云フコトニナリマスガ、サウデナク營業
ヤナイカ、詰リ輪距ダケヲ標準ニサレマス
ト風ニハッキリ御決メニナッテ、唯輪距ノ寸
法バカリデ決メルト云フコトハ却テ免稅ヲ
スルモノニ對スル觀念ヲハッキリサセナイ、
サウシテ今言ツタヤウニ當然課稅シテモ宜
スルモノニ對スル觀念ヲハッキリサセナイ、
法バカリデ決メルト云フコトハ却テ免稅ヲ
スルモノニ對スル觀念ヲハッキリサセナイ、
或ハ甚シキニ至ツテハ友人、親類、縁者ニマ
デ及ボストカ云フヤウナ實例ガヨクアル
ノデ、問題ヲ起スノデアリマス、此免除ノ
範圍ヲモウ少シ狹メテ置クコトガ却テ宜イ
デヤナイカト思ヒマスガ、如何デスカ
○大矢政府委員 是ハ命令デ相當詳細ナ規
定ヲ設ケマシテ、今ノ仰セノヤウナ事ヲ防
止致シタク、稅務署ノ承認ヲ受ケテ、何日
マデニ何處々ニ持ツテ行クト言ツタナラバ
其コトヲ届出ルト云フコトニシマシテ、相
當取締ル考デゴザイマス、唯之ヲ餘リ度ヲ
過スト、一面ニ於テ煩瑣デアルト云フノデ、
折角免稅ノ規定ヲ設ケナガラ、却テ煩瑣ノ
手續ノ爲ニ此規定ノ適用ヲ受ケルコトヲ止
メテシマフモノガ得出來ルト云フ虞モアリ
マシテ、其寬嚴宜シキヲ得タイト存ジテ居
リマス

○東條委員 ソレカラ臨時租稅措置法ノ方
ノ田畠地租ノ輕減デアリマス、一方ノ營業
収益稅ノ方ノ輕減ト、一寸考ヘマスト權衡ガ
取レナイヤウニ思ヒマス、是ハ自作農所得
ニ限ラレテ居リマスルガ、今ノ自作デナク、
自分ノ所有地ヲ小作サセテ居リマスモノデ

モ、必シモ大地主バカリトハ限ラナイ、家

族ノ効キ手ノ少イ關係上、僅カノモノヲ自

分ガ作ツテ、僅カノモノヲ又小作ヲサセテ居

ルト云フヤウナモノモアリマセウガ、一方

ハ純益ガ六千圓以下ノモノヲ輕減スルコト

ニナツテ居ル、又法人ノ方デアルト資本金額

ガ二十万圓以下トアル、田畠地租ノ方ノ關

係ニモ何カ適當ナ標準ヲ設ケテ、營業収益

稅ノ方ト權衡ノ取レルヤウナ工夫ヲ何カ御

考ニナラナカツタノデスカ

○大矢政府委員 此臨時租稅措置法デ田畠

ノ地租及ビ營業収益稅ノ輕減ヲ圖ッテ居ル

ノデゴザイマスルガ、是ハ狙ヒ所ハ事變下

ニ於テ色々政府ノ政策モアリマセウシ、或

ハ又事變ノ直接間接ノ影響ヲ受ケテ、収益

ノ減少シタモノニ對シテ特別ノ考慮ヲ拂ハ

ウ、斯ウ云フ趣旨カラ出テ來テ居ルノデゴ

ザイマスルガ、之ヲ小作ニ付シタ田畠、即チ

純粹ノ資產所得其モノニ迄モ擴張スルト云

フノハ如何デアリマセウカ、實際ニ於キマ

シテモ此事變ノ影響ヲ受ケテ小作所得ガ著

シク減少スルト云フ場合ハ、先ヅ少イノデ

ハナカラウカ、斯ウ存ジタ次第デアリマス

○東條委員 相當ナ大キナ面積ノ土地ヲ所有致シテ居リマシテ、其小作料デ生活ラシテ居ルト云フヤウナ人ハ、是ハ別デアリマス

ス、効キ手モ少イ、或ハ中ニハ其家ニ出征者モアルト云フヤウナモノモアリマセウシ、

ホンノ僅カナ面積ヲ自分で作り、僅カナ面積ハ他人ニ作ラシテ居ルト云フモノモ實際ニアル、之ヲ其土地ノ面積トカ、或ハ總收

入ノ金額トカ云フヤウナモノヲ標準ニ致シ

マシテ、自作、小作ニ拘ラズ、田畠カラ上

テ來ル直接或ハ間接ノ收入ニ依ツテ生活ヲ

致シマスルモノデ、營業収益稅ノ場合ニ於

ケルヤウナ、假ニ六千圓ト致シマスカ、四

千圓ト致シマスカ、五千圓ガ適當カ知ラヌ

ガ、或ル收入ノ範圍内ノモノデ減收ヲ生ジ

タ場合ニハ、或ル程度ノ輕減ヲシテヤルト

云フコトニナリマスルト、農業ヲヤッテ居リ

マスル者、或ハ商賣ヲヤッテ居リマスル者ノ

權衡ガ取レテ行クノデヤナイカト思フノデ

アリマス

○大矢政府委員 此田畠自作所得ノ減少ス

ルモノニ對シテ免稅スルト云フ趣旨ハ、自

作シテ居ル者カ、或ハ家族ノ者ガ出征ヲス

ル、或ハ使用人ガ出征スルト云フ場合モア

リマセウ、ソレカラ又農村ニ於テ馬匹ヲ微

發サレタ、隨テサウ云フ方面カラモ十分ニ

ト云フヤウナ場合モアリマセウ、斯ノ如ク

變下ニ於テ影響ヲ受ケテ収益ノ減少シテ居ルノガ多イノデゴザイマスカラ、是等ニ對シマシテ一定以上収益ノ減少シタ場合ニ輕減シヨウ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス、之ヲ

モ、サウスレバ獨リ田畠ノ小作バカリデハナ

タ、市街地ニ於ケル宅地ニ付テモ、或ハ家屋ノ

貸付ニ付テモ同ジヤウナ事ガ起ルノデハナ

モ、サウスレバ、獨リ田畠ノ小作バカリデハナ

タ、市街地ニ於ケル宅地ニ付テモ、或ハ家屋ノ

貸付ニ付テモ同ジヤウナ事ガ起ルノデハナ

シテモ、貸付先ノ者ガ出征シタガ爲ニ利息ガ

入ッテ來ナイ、元本迄モ免除シテヤラナケレバ

ナラスト云フヤウナ場合モ起ツテ來ルカモ知

レマセヌ、此ヤウニ考ヘマスト、資產利得

全部ニ瓦ツテ考ヘテ見ル必要モ起ツテ來ルノ

デハナカラウカト存ジマシテ、此度ハ比較

的사變ノ影響ヲ強度ニ受ケテ居ル者ニ對シ

マシテ、此程度ノ負擔緩和ヲ圖ラウト云フ

趣旨ヲ以チマシテ、最モ其範圍ノ廣イ、而

モ影響ノ多ク出テ居ル營業収益稅ノ中小ノ

營業者ト、ソレカラ田畠自作農者ニ限ック

譯デゴザイマス

報告サセテ徵稅ヲスルヨリハ、印紙ノ貼用シテナイモノハ脫稅品ダト云フコトニハッ

キリシタ方ガ脫稅ガ少ヤウニ考ヘマスガ、如何デスカ

○大矢政府委員 第二種ノ物品稅ニ付テハ、此前ニモ御質問ガアリマシテ御答申シタ通

リ、最短六十日、最長九十日ノ事實上ノ徵收猶豫ノ期間ガアルノデゴザイマス、ソレガ印紙ヲ貼用スルコトニナルトサウ云フコ

トガナイ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテモ、

營業者ノ負擔ガ過重ニナルト云フ點ガ一ツ

ゴザイマス、ソレカラ化粧品ノ如キハ非常ニ大小様々ノ種類ガゴザイマシテ、中ニハ

極ク小サナ小瓶ニ入ツテ居ルモノモアリマス、斯ウ云フモノニ對シテ一々印紙ヲ貼用

スルト云フノハ第一美觀ヲ殺ギ、又手數ガ非常ニ掛カルト云フノデ、營業者ノ方カラ

モ、此際ハ化粧品ニ對シテ課稅セラレルノハ已ムヲ得ナイケンドモ、印紙貼用ハ絶對

ニ避ケテ貰ヒタイト云フ陳情ガ出テ居ルノデゴザイマシテ、ソレ等ヲ緩和致シマシテ、

印紙貼用ハ避ケタ次第デゴザイマス

○東條委員 飛ビノ致シマスガ、化粧品

ニ對シマシテ、吾々素人ガ考ヘマスト印紙

「ストック」ガアル場合ハソレニ課稅スルコ

トニナツテ居ルヤウデアリマスガ、一律一體ニ

三千圓ト云フ標準ヲ決メラレタコトハ少シ
不合理デヤナイカト云フヤウナ考ガ致シマ
ス、例ヘバ假ニ何カ商賣ヲヤツテ居ッテ、一
ツモ品物ヲ店ニ置カナイト云フ商賣ハナイ
譯デアリマス、所ガ自動車ノ如キハ無論一
臺デモ三千圓ドコロデハナイ、三千圓ノ數
倍スルモノニナリマセウ、先程ノ標準カラ
申シマスレバ、品物ニ依リマシテハ、三千
圓一本デ之ニ對スル課稅ヲ律シテ行カウト
云フコトハ、詰リ見越賣買ヲ止メル、サウ
シテ脫稅スルコトヲ止メルト云フ御趣旨ダ
ラウト思ヒマスガ、少シソコニ無理ガアル
ノデヤナイカト思ハレマス、ソレカラ三千
圓以下ノモノハ宜イガ、三千圓以上アツタラ
バ、全部ニ課ケルコトニナリマスト、是亦
少シ無理ガアルヤウニ考ヘラレルノデアリ
マスガ、此點ドウ云フヤウナ理由デ御定メ
ニナツカ、伺ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 是ハ前ニモ御質問ガアッ

テ御答シテ置イタ苦デゴザイマスルガ、大
體中小ノ小賣營業者ノ所ニアルモノハ、何
處マデモ追駆ケテ行ツテ課稅ハシナイト云
フ積リデ、各品目毎ニ各場所毎ニ見テ、三
千圓ニ達シナイ場合ニハ課稅ヲシナイト云
フ風ニシテ居リマス、此物品ノ種目ノ中ニ
ハ色々種類ガコザイマシテ、一律的ニ三千

圓ニスルノガ權衡上如何カト御感ジニナル
ノモ一應御尤デゴザイマスケレドモ、仔細
臺デモ三千圓ドコロデハナイ、三千圓ノ數
倍スルモノニナリマセウ、先程ノ標準カラ
申シマスレバ、品物ニ依リマシテハ、三千
圓一本デ之ニ對スル課稅ヲ律シテ行カウト
云フコトハ、詰リ見越賣買ヲ止メル、サウ
シテ脫稅スルコトヲ止メルト云フ御趣旨ダ
ラウト思ヒマスガ、少シソコニ無理ガアル
ノデヤナイカト思ハレマス、ソレカラ三千
圓以下ノモノハ宜イガ、三千圓以上アツタラ
バ、全部ニ課ケルコトニナリマスト、是亦
少シ無理ガアルヤウニ考ヘラレルノデアリ
マスガ、此點ドウ云フヤウナ理由デ御定メ
ニナツカ、伺ヒタイト思ヒマス

○東條委員 ドウモ三千圓ト云フノデ、三

千圓以上アレバ全部ニ課ケルト云フコトニ
ナリマスト、例ヘバ此處ニ三千百圓アタリ
ノ商品ガアツタストルト、其百圓ヲ何處カヘ
隠スカ、投ゲテシマフカ、サウデナケレバ
元ヘ戻スカシタ方ガ大變得ダ、斯ウ云フコ
トニナリマス、三千圓アレバ一割トスレバ三
百圓稅金ヲ課ケラレル、サウスルト之ヲ極端

ニ言ヘバ百圓ヤ百五十圓餘計アツタ場合ニハ
ソレヲ他人ニ只デ吳レテモ投ゲテモナク
中ニハ、課稅ニナルノハ時ニハゴザイマス、
ソレカラ三千圓ニ達シナイ場合ニハ免稅ニ
ナルガ、三千圓以上ニナレバ全部ニ對シテ
課稅ニナルノハ、是モ均衡ヲ得ナイデハナ
イカト云フ御話デゴザイマスルガ、理論カ
ラ言ヘバ現在品全部ニ對シテ課稅シテ宜シ
イ譯デ、唯小サイモノ迄モ追駆ケテ課稅ス
ルト云フヤウナ苛察ナコトハ致サナイト云
フ趣旨デ、三千圓デ限ツタノデゴザイマシ
テ、此恩典ニ浴スルノハ中小ノ營業者デゴ
ザイマスカラ、其點ニ於テ無理ガナインデ
ガアルデヤナイカト思フノデアリマス、ソ
レカラ先程モ一寸申上ゲタノデスガ、自動
車ナドハ一臺アツモ課ケラレル、サウスル
ト自動車ヲ販賣シテ居ル店ガ一臺ノ自動車
ヲ置イテ居ル、是ハ過渡期ニ於ケル稅金ヲ
免レル爲ニ「ストック」シテ居ルノダトハ見
ルコトハ無理ダト云フ風ニ考ヘラレマスガ、
ヤハリ其品物ニ依ツテ、多少此標準ニ對シテ
加減ヲスルコトガ必要デヤナイカト思ハレ
マス、此稅金ヲ見越シテ「ストック」シテ居
ル、詰リ見越買入ヲシタト云フヤウナ意味
課稅ニナラナイガ、三十石ニナレバ課稅ニ
ナル、非常ニ不合理ダト云フ御話ガアリマ
シテ、其際ニモ申上ゲテ置キマシタガ、理
論上ハ正ニ仰セノ通リデアルケレドモ、ソ
レハ本法施行マデニハ相當ノ時日モアルノ
デアリマスカラ、其邊ノ所ハ調整ガ取レル
デハナカラウカ、又一合トカ一升トカ一斗
位ヲ右ニシ左ニシテモ、ソレガ脱稅ノ爲ダ
トマデハ見ナクテモ宜カラウデハナイカ、
バナラヌト云フコトニナリマスガ、ドウモ

モ取ラレルト云フコトニナルトカシナモ
ノデヤナイカト思ヒマスガ、其點如何デス
シテシマッタ方ガ得ダト云フコトニナル、
三千圓以上アツタナラバ其以上アツタモノニハ
課稅スルノダト云フコトニスレバ、ソンナ
無理ノコトヲ考ヘル必要ハナクナルノデア
リマスガ、此三千圓ト云フ制限ガ適當カ適
當デナリカト云フコトハ別トシテ、ドウモ
三千圓以上アツタラ全部カラ取ル、三千圓以
下ノモノハ取ラナイト云フ立前ガ少シ無理
ガアルデヤナイカト思フノデアリマス、ソ
レカラ先程モ一寸申上ゲタノデスガ、自動
車ナドハ一臺アツモ課ケラレル、サウスル
ト自動車ヲ販賣シテ居ル店ガ一臺ノ自動車
ヲ置イテ居ル、是ハ過渡期ニ於ケル稅金ヲ
免レル爲ニ「ストック」シテ居ルノダトハ見
ルコトハ無理ダト云フ風ニ考ヘラレマスガ、
ヤハリ其品物ニ依ツテ、多少此標準ニ對シテ
加減ヲスルコトガ必要デヤナイカト思ハレ
マス、此稅金ヲ見越シテ「ストック」シテ居
ル、詰リ見越買入ヲシタト云フヤウナ意味
課稅サレルノガ厭ダツタ、自動車屋ハ自
分ノ所ニ一臺モナイヤウニシテ置カナケレ
タツタ一臺扱ツテ居ル商人、タツタ一箇アツテ
斯ウ存ジテ居ル次第デゴザイマス、自動車

ニ付テハ御話ノ通り全ク一臺デモ課稅ニナルノデゴザスルガ、是ハ一臺デモ五六千圓以上ト云フ相當ノ金額ニナルノデゴザスカラ、之ニ對シテ別ナ免稅點ヲ設ケル必要ハナイデハナカラウカ、斯ウ存ジテ居ル次第デアリマス

○東條委員 時間モ大分經過シマシタカラ、細カイコトバカリ伺フノデ恐縮デスカラ是位ニシテ置キタイト思ヒマスガ、砂糖ニ付キマシテハ和蘭色相標本ノ何號トカラ、普通商品トシテ素人ノ呼ンデ居リマス名前ガソレノドレニ當ッテドウ云フ風ニナルト云フコトヲ、詰リ普通取引致シテ居リマス名稱ト、此法案ニアリマスモノト對照シテハツキリ分ルヤウナモノヲ知ラシテ戴キタイ、ソレカラ現在ドレガドレ位ノ相場ガシテ居ルト云フヤウナコトモ御願致シタイ、是ハ砂糖ニ關スル私ノ知識ノ無イコトヲ甚ダ愧ヅル譯デアリマスガ、素人ニ分ルヤウニ御示シラ願ヒタイト思ヒマスソレカラ是モ諸君カラ度々御話ガ出テ居ルノデアリマスガ、私共考ヘマスノニ、法人ト云フモノハモウ帳簿モハツキリシテ居ルシ、其結果ラ多數ノ人ニ公表スルカラ、一錢一厘モ脫稅ノ爲ニ胡麻化ヲシテ居ナ

イ、絶對ニ帳簿ヲ信用スルト云フ立前ニナッテ居リマシテ、個人ト云フ者ハモウアラン限りノ手段ヲ講ジテ脱稅ヲスルコトバカリ居リマス、ソレガマア色々意見ノ岐レル本ニナツテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、今日デハ法人ダカラト云シテ、絶對ニ脱稅ナドシナイト保證モ付カヌノデアリマスシ、個人ト雖モ相當ナ課稅デアリマスナラバ、必シモ脱稅バカリ企テルモノデハナイノデアリマスカラ、何カ御研究ニナリマシテ、個人ノ營業デアリマシテモ、詰リ斯ウ云フ風ナ組織ノ帳簿ニシテ、斯ウ云フ風ナ經理ヲシテ行クモノナラバ、法人ト同ジヤウニ之ヲ認メテ行クト云フヤウナ、準則ノヤウナモノデモ御作リニナツテ、サウシテソレニ依ラシメテ行カレル方ガ宜イデハナイカ、私共ノ友人連中デモ能ク言フノデスガ、ドウモ税務署ノ人ガ何處マデモ疑フト云フ見方デ以テヤラレルノデ、非常ニ不愉快ダ、二重ノ帳面ナンカ捨ヘテ僅カバカリノ脱稅ヲ圖ルナント云フ、ソンナ疑ヒヲ持タレタクナイカラ、實際ニ損シタモノハ損シタモノ、倒レタモノハ倒レタモノト云フヤウナコトモ能ク見テ吳レルナラバ、一錢一厘ダッテ隠ス氣ニハナラナイノダト云フコトヲ始

考ヘテ居ルモノダト云フ風ナ立前ニ出來テ居リマス、ソレガマア色々意見ノ岐レル本ニナツテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、今日シテ居レバ、ソレニ依ツテ申告ヲ認メテ行ク、サウシテ時々検査スル、法人ト同ジヤウニチヤント分ルヤウニ、サウ云フ方法デモサレテハ如何デアルカ、此頃ハ大分商業學校出ノ子供ヤ何カデ店デ働イテ居ル者必シモ脱稅バカリ企テルモノデハナイノデアリマスカラ、何カ御研究ニナリマシテ、學校出ノ子供ヤ何カデ店デ働イテ居ル者必シモ脱稅バカリ企テルモノデハナイノデアリマスカラ、何カ御研究ニナリマシテ、個人ノ營業デアリマシテモ、詰リ斯ウ云フ風ナ組織ノ帳簿ニシテ、斯ウ云フ風ナ經理ヲシテ行クモノナラバ、法人ト同ジヤウニ之ヲ認メテ行クト云フヤウナ、準則ノヤウナモノデモ御作リニナツテ、サウシテソレニ依ラシメテ行カレル方ガ宜イデハナイカ、私共ノ友人連中デモ能ク言フノデスガ、ドウモ税務署ノ人ガ何處マデモ疑フト云フ見方デ以テヤラレルノデ、非常ニ不愉快ダ、二重ノ帳面ナンカ捨ヘテ僅カバカリノ脱稅ヲ圖ルナント云フ、ソンナ疑ヒヲ持タレタクナイカラ、實際ニ損シタモノハ損シタモノ、倒レタモノハ倒レタモノト云フヤウナコトモ能ク見テ吳レルナラバ、一錢一厘ダッテ隠ス氣ニハナラナイノダト云フコトヲ始

イテ居リマシテ、個人ト云フ者ハモウアランヲ绝对ニ信賴スルケレドモ、各稅務署トノ關係ガウルサクナクテ大變宜イト云フコトニナル譯デ、隨テ商店ノ子供モ喜ンデ商業學校ニ入ルヤウニナル、又程度ノ低イ商業學校ヲ出タ者デモ殆ド簿記ハ覺エテ居リ、簿記ヲ使フコトガ出來ルヤウニ法ナツテ居ルノデアリマスカラ、今ノヤウニ法人ニ對シテハ絶對ニ信賴スルケレドモ、個人ニ對シテハ絶對ニ信賴ハ出來ナイト云フ立前デナク——マア本省ハ今ソンナ事ヲ考ヘテ居ルナント云フコトハ、議會ノ際デウノサイカラ言ハレマスマイケレドモ、各稅務署ノ前線へ行キマスト、毎日々是デブツノモアルヤウデゴザイマス、唯大體ノ傾向ト致シマシテ、株式會社殊ニ大組織ノ株式會社等ニ於キマシテハ、其組織ノ上カラ致シマシテ、自ラ計算ライ、加減ニシテ置ク譯ニハ行カナイト云フヤウナ點セゴザイマ

スル事項ハ資料ニシテ御手許ニ後デ差上げシテ居レバ、ソレニ依ツテ申告ヲ認メテ行カ相當ナスウ云フ帳簿組織ニシテチヤントク、サウシテ時々検査スル、法人ト同ジヤウニチヤント分ルヤウニ、サウ云フ方法デモサレテハ如何デアルカ、此頃ハ大分商業學校出ノ子供ヤ何カデ店デ働イテ居ル者必シモ脱稅バカリ企テルモノデハナイノデアリマスカラ、何カ御研究ニナリマシテ、個人ノ營業デアリマシテモ、詰リ斯ウ云フ風ナ組織ノ帳簿ニシテ、斯ウ云フ風ナ經理ヲシテ行クモノナラバ、法人ト同ジヤウニ之ヲ認メテ行クト云フヤウナ、準則ノヤウナモノデモ御作リニナツテ、サウシテソレニ依ラシメテ行カレル方ガ宜イデハナイカ、私共ノ友人連中デモ能ク言フノデスガ、ドウモ税務署ノ人ガ何處マデモ疑フト云フ見方デ以テヤラレルノデ、非常ニ不愉快ダ、二重ノ帳面ナンカ捨ヘテ僅カバカリノ脱稅ヲ圖ルナント云フ、ソンナ疑ヒヲ持タレタクナイカラ、實際ニ損シタモノハ損シタモノ、倒レタモノハ倒レタモノト云フヤウナコトモ能ク見テ吳レルナラバ、一錢一厘ダッテ隠ス氣ニハナラナイノダト云フコトヲ始

タ方ノ部下ノ前線ノ人モ、實ニ辛イグラウト思フ、デスカラ何カサウ云フモノヲ一つ御考ニナル譯ニハ行キマセスカ

○大矢政府委員 砂糖ノ種別、價格等ニ關スル事項ハ資料ニシテ御手許ニ後デ差上げシテ居レバ、ソレニ依ツテ申告ヲ認メテ行カ相當ナスウ云フ帳簿組織ニシテチヤントク、サウシテ時々検査スル、法人ト同ジヤウニチヤント分ルヤウニ、サウ云フ方法デモサレテハ如何デアルカ、此頃ハ大分商業學校出ノ子供ヤ何カデ店デ働イテ居ル者必シモ脱稅バカリ企テルモノデハナイノデアリマスカラ、何カ御研究ニナリマシテ、個人ノ營業デアリマシテモ、詰リ斯ウ云フ風ナ組織ノ帳簿ニシテ、斯ウ云フ風ナ經理ヲシテ行クモノナラバ、法人ト同ジヤウニ之ヲ認メテ行クト云フヤウナ、準則ノヤウナモノデモ御作リニナツテ、サウシテソレニ依ラシメテ行カレル方ガ宜イデハナイカ、私共ノ友人連中デモ能ク言フノデスガ、ドウモ税務署ノ人ガ何處マデモ疑フト云フ見方デ以テヤラレルノデ、非常ニ不愉快ダ、二重ノ帳面ナンカ捨ヘテ僅カバカリノ脱稅ヲ圖ルナント云フ、ソンナ疑ヒヲ持タレタクナイカラ、實際ニ損シタモノハ損シタモノ、倒レタモノハ倒レタモノト云フヤウナコトモ能ク見テ吳レルナラバ、一錢一厘ダッテ隠ス氣ニハナラナイノダト云フコトヲ始

シテ、實際上カラ申シマシテ、サウ云フ風ニシテ計算ノ正確ニナッテ居ル場合ガ比較的多イノデゴザイマスカラ、隨テ御示シノ通リ法人ハ比較的其計算ハ是認シテ居リマスガ、個人ノ場合ニ帳簿組織モ不完全デアルト云フ場合ガ多イノデゴザイマスカラシテ、隨テ其計算ガ否認セラレルト云フコトガ多カラウト存ジマス、私共出來ルダケ誠實ナル申告ハ之ヲ尊重シテ行キタイト云フ趣旨ヲ以チマシテ、常ニ地方ノ實際ノ衝ニ當ル者ニ對シマシテモ、始終注意ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、ドウシテモ課稅上ノコトハ利害關係ニ及ボス所ガ大キイモノデゴザイマスカラ、逋稅鬭爭ト言ヒマセウカ、是ハ單リ我國バカリデハナク、亞米利加ニ於テモ佛蘭西ニ於テモ始終大キナ問題ニナッテ、議會デ論議サレテ居リ、脫稅防止ノ規定モ頻繁ニ制定セラレテ居ルト云フヤウナ狀態デゴザイマシテ、私ハ我國ニ於テハ寧ロ實際ハ、是等米國、佛國等ニ比ベマシテ、比較的課稅ハ圓滿ニ確實ニ行ッテ居ルノデハナカラウカト存ジテ居ル次第デゴザイマス、併シ確カニ仰セノヤウナ點モアルノデゴザイマスカラ、今後共十分ニ注意致シマシテ、苛酷ニ瓦ラザルヤウニ、又不均衡ヲ來スコトノナイヤウニヤッテ行キ

シテ、實際上カラ申シマシテ、サウ云フ風ニシテ計算ノ正確ニナッテ居ル場合ガ比較的多イノデゴザイマスカラ、隨テ御示シノ通リ法人ハ比較的其計算ハ是認シテ居リマスガ、個人ノ場合ニ帳簿組織モ不完全デアルト云フ場合ガ多イノデゴザイマスカラシテ、隨テ其計算ガ否認セラレルト云フコトガ多カラウト存ジマス、私共出來ルダケ誠實ナル申告ハ之ヲ尊重シテ行キタイト云フ趣旨ヲ以チマシテ、常ニ地方ノ實際ノ衝ニ當ル者ニ對シマシテモ、始終注意ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、ドウシテモ課稅上ノコトハ利害關係ニ及ボス所ガ大キイモノデゴザイマスカラ、逋稅鬭爭ト言ヒマセウカ、是ハ單リ我國バカリデハナク、亞米利加ニ於テモ佛蘭西ニ於テモ始終大キナ問題ニナッテ、議會デ論議サレテ居リ、脫稅防止ノ規定モ頻繁ニ制定セラレテ居ルト云フヤウナ狀態デゴザイマシテ、私ハ我國ニ於テハ寧ロ實際ハ、是等米國、佛國等ニ比ベマシテ、比較的課稅ハ圓滿ニ確實ニ行ッテ居ルノデハナカラウカト存ジテ居ル次第デゴザイマス、併シ確カニ仰セノヤウナ點モアルノデゴザイマスカラ、今後共十分ニ注意致シマシテ、苛酷ニ瓦ラザルヤウニ、又不均衡ヲ來スコトノナイヤウニヤッテ行キ

タイト存ジテ居リマス

○高橋委員長 只今東條君カラ御請求ニ

ナッタ砂糖ニ關スルコトニ付キマシテハ、次

ノ委員會ニ於テ太田政府委員ヨリ相當詳細ニ又分り易ク御説明ガアル筈デス、尙ホ政

府ノ方ニ御願シテ置キマスガ、東條君ノ御

請求ニナッタ表等ヲ御不シニナル場合ハ、過

去數年間ニ於ケル課稅ノ數量、價格等ヲ御

示シ下サルト尙ホ明カニナルト思ヒマスカラ、ソレヲ要求シテ置キマス

○岡本委員 議事進行ニ付テ——當初請求

シマシタ資料デスガ、餘程御出シヲ願ヒマ

シタケレドモ、能ク調ベマストマダ出ナイモノガ澤山アリマス、出ナイガ爲ニマダ質

シマシタ資料デスガ、餘程御出シヲ願ヒマ

シタケレドモ、能ク調ベマストマダ出ナイ

モノガ澤山アリマス、出ナイガ爲ニマダ質

シマシタ資料デスガ、餘程御出シヲ願ヒマ

シタケレドモ、能ク調ベマストマダ出ナイ

ウゾ成ベク早ク御提出ヲ願ツテ置キマス タイト存ジテ居リマス

○太田政府委員 成ベク御趣意ニ副フヤウ

ナガゴザイマセウカラ、出來ナイナラバ出

來ナイ事情ヲ申上ゲマシテ、此次ニ御報告

ニ致シマス、サウシテ出來ルノト出來ナイ

ノガゴザイマセウカラ、出來ナイナラバ出

來ナイ事情ヲ申上ゲマシテ、此次ニ御報告

ルト云フ意味ノ答辯ガアッタ、其點ハ吾々モサウデアラウト思フノデアリマス、サウスルトヤハリ其人ハ假ニ十二年度ニ於テ二万圓ノ決定ヲ受ケテ居ツテ納メタ、併シ實績ハハ法人ニシタノデアルカラ、假ニ四万圓ノ實績ガ舉レバ、四万圓ニ對シテ取ツテシマフ、サウシテ前ノ前年度分ノ一万圓ノ追徵ヲシテ行ケバ——今マデニハサウ云フコトハ無イガ、サウスルト取モ直サズ個人ヲ法同ヒタイト思ヒマスガ、ソレハ御見エニナッタ時ノ都合デ——又請求致シマシタ資料ヲ頂戴シテカラ御聞キシタイコトガ二三アリマスケレドモ、是等モ保留シテ置キマス

○高橋委員長 承知致シマシタ——森田君 頂戴シテカラ御聞キシタイコトガ二三アリマスケレドモ、是等モ保留シテ置キマス人ニシタ人ハ、少クトモ十三年度ニ於テソレダケノ稅ガダブルコトハ、是ハ肯定セラハ無イガ、サウスルト取モ直サズ個人ヲ法レマスカ、二重ニナルコトハ御肯定ニナルト思ヒマスガ、ドウデスカ

○高橋委員長 承知致シマシタ——森田君

タ質問ガ残シテ居ルサウデアリマスカラ、此

モリ先程ノ愛野君ノ御質疑ニ對スル關聯シ

マスケレドモ、是等モ保留シテ置キマス

レマスカ、二重ニナルコトハ御肯定ニナルト思ヒマスガ、ドウデスカ

○大矢政府委員 法人ハ十三年度ナラバ十

三年度ノ終ツタ後ニ、十三年の實績ニ對シテ

課稅ヲ受ケマス、ソレカラ個人ノ方ハ十二

年分ノ追加決定デアリマシテ、十三年分ノ

實績ニ對シテハ課稅ヲ受ケマセヌ、其意味

デ二重ノ課稅ニハナラヌト存ジマス

○森田委員 二重ノ課稅ニナリマセヌカ、

私ハ二重ノ課稅ニナルト思ヒマス、昭和十二

年度ニ二万圓ノ決定金額ガアッテ、實績ハ

三万圓ト假定スル、所ガ十三年度ニハ法人

デアルカラ、四方圓アラウト五万圓アラ

ウト、其有ツタダケノ實績ニ依ツテ取ル、サ

ウシテ前年度ノ一万圓ヲ遡ツテ取ルカラ、ドウシテモ是ハダブリハシマセヌカ、若シ個人ガ繼續シテ居レバ、ヤハリ前年度ノ實績ニ依ツテ取ルカラ、十三年度ノ實績ハ翌年ニ繰越シテ行クガ、之ヲ遡及シテ行クナラバ——法人ハ實績ニ依ツテ其年ノモノハ有ルダケハ納メル、前ノ年ノ一万圓ヲ遡及サレタグケガ二重ニナルト私ハ思フガ、アナタハナラスト仰シヤルノハ間違ヒデハアリマセヌカ

○大矢政府委員 ソレハ個人ハ昭和十二年分ニ、當初決定ノ二万圓デハマダ足ラナイカラ三万圓トシテ決定スル、十二年分ニ付テハ一萬圓脱漏ガアルカラ前ノ二万圓ニ一万圓ダケ加ヘテ決定スル、斯ウ云フ譯デアリマス、法人ノ方ハ十二年ニハ何等關係ナク、十三年分ノ實績ニ應ジテ課稅ヲ受ケマス、重複ノ課稅ハ起ラナイコトト存ジマス

○森田委員 十三年ノ分ハ實績ニ依ツテ、六箇月ニセヨ、一年ニセヨ、其實際ノ成績ニ依ツテ納メルノデアルカラ、是ハ政府ノ方ニモ納稅者ノ方ニモ一文ノ損モ得モ無イ、然ルニ十二年度ノ分ニハ、二万圓デ決定シテ居ツタモノヲ實績ヲ調べテ貰ッタナラバ三万圓アルト云フコトニナツタカラ、一万圓分ハ追徵シテ取ラレルカラ、十三年度ニ於テハ、

其年度ノ分全額ヲ納メ、前年度ノ一万圓逋ニナツタ分ヲモ納メテ行タカラ、其人ハド

度ノ實績ニ依ツテ取ラレルカラ是ハ二重ニ納メナイデモ宜イ、個人ガズット年限ヲ逐

度ノ實績ニ依ツテ取ラレルカラ、ソレ行ケバ逐ウテ行ク爲ニ、此人ハ納メナ

イデモ濟ム、若シ個人デ行ケバ十三年度ニ

四万圓儲カレバ、是ハ實績ニ依ツテ翌年度ニ納メレバ宜イ……

○高橋委員長 一寸森田君ニ申上ゲマス、

アナタノ御質問ト政府委員ノ答辯トノ喰違ヒハ、私モ能ク分ラナイノデスガ、此席カラ聽イテ居ルト、アナタノ儲ケルト言ハレルノハ、十三年度ノ儲ケノヤウニ聽取レル

ノデス、サウデハナクテ個人ガ若シ營業ヲ

十二年カラ十三年ニ繼續シテ居ツタナラバ、

十三年度ノ課稅ハ十二年度ノ實績ニ依ルノ

デアル、ソレデ三万圓アルナラバ、三万圓ト

云フノハ十三年度デ納メルノデアル、ソレカラ十三年度ノモノハ十四年ニ納メルノデ

アル、所ガ今度ハ組織ガ違ツテ會社ニナリ

計算ヲスルノデアル、サウスルト十三年度

ルト其人ハ十三年度ナラバ十三年度ノ實績ニ依ツテ納メル、サウスルト十二年度ノ一万

圓ノ脱漏ヲ取ラレル分ハ二重ニナリハセヌ

デアツタモノガ、課稅サレナクナル、ソコデ

一万圓ノ脱漏ガアルカラ之ヲ押ヘルノダ、

續額ト兩方納メレナケレバナラヌ、若シ個人ガ繼續シテ居レバ、十三年度ノ實績額ハ

十四年度ニ納メレバ宜イ、ダカラ其間ニ一

ラバ、別問題デアリマスガ、ソレダケノ間

題デハナイカト思ヒマス、違ヒマスカ

聽取ツタ、ソレガ無理ダト云フコトデアルナ

スウ云フヤウナ意味ニ私共ハ政府ノ答辯ヲ

繼承シテ行ツテ個人デヤツテ居レバ、其前年

度ノ實績ニ依ツテ取ラレルカラ是ハ二重ニ

ナニモ私ハ是ハ二重ニナルト思フ、若シ

個人ガ繼續シテ居レバ、十三年度ノ實績額ハ

二繰越シテ行クガ、之ヲ遡及シテ見タラ、ドウモ前年

ノ決定ガ低カツタ、實ハアレハ二万圓デ決定

シナケレバナラナカツタ云フノデ、十一年

分ヲ十二年ニ於テ追加決定ヲスル、サウス

カ、其年十三年ニハ、其脱漏額ト自分ノ實績額ト兩方納メレナケレバナラヌ、若シ個人ガ繼續シテ居レバ、十三年度ノ實績額ハ

十四年度ニ納メレバ宜イ、ダカラ其間ニ一

ラバ、別問題デアリマスガ、ソレダケノ間

題デハナイカト思ヒマス、違ヒマスカ

アル

カ、認メヌカト云フコトヲ私ハ問ウタノデ

アル

ルトドウナルカト云フト、十二年ノ決定ヲ受ケル外ニ、十一年分ノ追加決定ヲ一万圓受ケルノデゴザイマス、ソレト同ジヤウニ之ヲ見ヨウ、今申上ゲタノハ決シテ十二年ニ二度ノ課税ヲスルノデハナクシテ、十一年分ニ取り足リナカッタ分ヲ十二年ニ徵收スルノデス、ソレト同ジヤウナ意味ニ見ヨウ、先程委員長ガ申サレタ通り、サウ見ルコトガ無理ダト仰セラレ、バ是ハ又問題ガ別デアリマスケレドモ、斯ウ云フ規定ハ十三年分ニ於テ重複課税ニナルト云フ御趣旨ハ、私ハサウヘナラスト申上ゲナケレバナラヌノデアリマス

○森田委員 時間ガ遅レ居ルカラ又ノ機會デ宜シイガ、兎モ角モ今ノ主税局長ノ御答辯デハ私ハ承服致シマセヌ、何ト言ハレテモ、昭和十二年ノ分トシテ御取リニナルダケハ、個人ガ繼續シテ居レバ取ラヌノダ、法人ニシタバカリデ、其實績ノ全額ト、前年度ノ逋脱分トヲ課税ヲ受ケナケレバナラヌカラ、ナラヌデヤナイカ、斯ウ問ウテ居ルカラ、然リト御答ニナリサベスレバ宜イノデアリマス、ソコラ四ノ五ノ言ハレルカラ分ラヌ……

○大矢政府委員 今度ハ簡単ニ申上ゲマス、今マデノ規定ナラバ、前年ノ實績ニ依ツテ其年分ノ課税ヲ受ケルノデアリマス、所ガ度ニ決定ヲ受ケタ、十二年度ノ實績ハ三万圓アツトスル、十三年度デハ前年ノ實績ノ三万圓ニスレバ宜イ、今度四万圓アレバ十四年度ノ時ニ其實績ニ依レバ宜イ、ソレヲ法人ニシタ爲ニソレハ取ルノダ、個人デアルナラ取ラヌデセウ、個人ガ二万圓十二年ニ決定ヲ受ケタ、十二年ノ實績ハ三万圓アツトスル、其場合ニ個人ハ其年分トシテ決定ヲスル、其場合ニ個人ハ其年分トシテ決定ヲ受ケタヨリモ其年ノ實績ガ利益ガ著シクアレル場合ニ、現行法ノ儘ニ置ケバドウモ不權衡ニナルカラ、特ニ斯ウ云フ規定ヲ設ケタノガ無理

レバ、アナタハ二年分ト仰シヤルガ、私ハニカドウカト云フ御議論ハアルカモ知レマセヌケレドモ、是ハ他トノ權衡上斯ウ云フ規定ヲ特ニ設ケル必要ガアルト、斯ウ認メテ提案致シタノデアリマス

○高橋委員長 森田君ニ申上ゲマス、後デ懇談サレ、バ分ルグラウト思ヒマス、森田サンノ言ハレル趣旨モコチラデ分ツテ居リ聲）是デ分ラナケレバ已ムヲ得ヌデス、又押シ合フカ押シ合ヌカハ別トシテ、分ル筈デス、個人ヲ法人ニサヘシナカッタナラバ、ソレハ其儘毎年繰越シテ行ク、法人ニシタバカリデ、其實績ノ全額ト、前年度ノ逋脱分トヲ課税ヲ受ケナケレバナラヌカラ、ナラヌデヤナイカ、斯ウ問ウテ居ルカラ、然リト御答ニナリサベスレバ宜イノデアリマス、ソコラ四ノ五ノ言ハレルカラ分ラヌ……（笑聲）マソンナコトデ宜イダラウト思ヒマス、何レ又ユックリ一ツ御懇談アランコトヲ希望致シマス

○中村委員 一寸話が出マシタカラ、今ノ反対ノ場合ヲ一寸簡単ニ聽イテ見タイ、只スルト申シマシタノハ、十一年度分ヲ決定スル場合ニハ、十年ノ實績ニ基イテ決定スルノデゴザイマス、十年ノ實績ガ二万圓アツタニ拘ラズ、調査ノ間違デ一万圓トシテ十一年ニ於テ決定シタ場合ニ、後カラ見テソレガ間違デアツタナラバ、モウ一万圓追加決定スルト云フコトデゴザイマシテ、十一年ニ一万圓ノ決定ヲ受ケタガ、十一年終了シテ見タラ二万圓ノ純益ガアツタカラモウ一

万圓追加シテ取ル、斯ウ云フコトへ致シテ居リマセヌ、ソレハ翌年分、十二年分ノ課税ヲスル場合ニ二万圓ト見テ決定スル、一年順綠リニナッテ行キマスカラ、前ニ申上ガタ脱漏ガアル場合ト少シ違フノデアリマス、ソレカラ事變下ニ於テ利益ガ著シク減少シタ、或ハ缺損ヲシタト云フモノニ對シテハドウスルカ、斯ウ云フコトデゴザイマスガ、是ハ營業収益税ノ課税ヘ總テ前年ノ實績ニ依ルト云フ理論ヲ貫キマスレバ、本年ニ於テ缺損ヲスレバ翌年課税ヲ受ケナイダケノコトデ、ソレデ當然宜イ譯デゴザイマスケレドモ、其理論ヲ貫イテ行キマスレバ、實際ニ於テ無理ガ掛カル場合ガアリマスルノデ、此年ニ於テ純益ノ決定ヲ受ケタガ、一年經ッテ見テ其純益ガ半分以下ニ減ツテ居ルト云フ場合ニハ減損更訂ノ申請ト云フコトヲ致シマシテ、私ハ前年ニ是ダケノ決定ヲ受ケタガ、實際ハ三分ノ一ノ純益シカナカッタノダ、或ハ缺損ダト云フ場合ニ、翌年ノ一月末マデニ其申請ヲスレバ、其決定ヲ變ヘ場合ニハソレヲ戻ス、斯ウ云フ制度ニナッテマシテ、サウシテ若シモ餘計徵收シテ居リマス、之ヲ減損更訂ト申シテ居リマス

○中村委員

私ハ其減損更訂ト云フ専門語

ハ知ラナカッタノデスガ、此減損更訂ノ手續ガ

○高橋委員長

諸君ニ申上ゲマス、増稅諸

翌年ノ一月マデノ間ニ出來ル、是ハ非常ニ結構ダト思ヒマスガ、往々ニシテ私ハサウ云フヤウナ實情ニアル當業者ト、ソレカラ徵稅ノ立場ニ立ツ徵稅機關ノ末梢トハ意見ノヲ異ニスル場合ガ相當アルト思フノデアリマス、是等ニ付テハ現時ノ時局ニ鑑ミマシテ、殊ニ東京、大阪、神戸ト云フヤウナ大都市ニ於ケル中小商工業者ニハ、可ナリ大キナ打撃ヲ受ケテ居ル者ガアルノデアリマスカラ、是等ニ付テハ、其營業ノ種目等ニ付テ十分當局ニ於テ監督ナリ指導ヲ徹底セラレマシテ、遺憾ノ點ノナイヤウニ、減損更訂ノ手續ヲ履践セシムルヤウニ、一ツ御配慮アランコトヲ切望シテ置キマス

○大矢政府委員 御趣旨ノ次第拜承致シマシタ、十分其趣旨ノ徹底ニ努メル積リデアリマス、殊ニ此度ハ臨時租稅措置法ニ於キマシテ、此事變前ノ三年ノ平均利益ニ比べテ或ル一定限度以上ノ利益ノ減少ガアッタモノニ對シマシテハ、特別ノ減免規定モ設ケテ居ル次第アリマスカラ、普通ノ年ト提案致シマシタ法律ノ趣旨ノ徹底ニハ全力ヲ盡シテ當ル積リデゴザイマス

午後六時十四分散會

案ガ付託セラレマシテカラ一日モ缺カサズ皆様ノ御精勵ヲ願ツタノデアリマスガ、明日ハ日曜デアリマスカラ、諸案ノ検討モ必要

ト思ヒマスカラ一日休ミマシテ、明後日月曜日ハ午前十時カラ開會致シタイト思ヒマス、委員會ハ當委員室デ開ク積リデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、委員會ハ當委員室デ開ク積リデアリマスカラ都合ニ依ツテハ、議事ノ進行ノ程度ニ依リマシテ、昨日併託セラレマシタ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案、即チ支那事變ニ關スル件外二件デアリマス、是等債發行ニ關スル件外二件デアリマス、是等ノ質疑應答モ願ヒタイト思ヒマスカラ、豫メ御用意ヲ希望致シマス、別ニ御發言ガナケレバ是デ散會致シマス